

デイジー  
ピクチャープラス  
プライム



本書では、デイジーピクチャープラス プライムを使用した様々な活用事例をご紹介します。

授業での作品制作や校務の資料作りなど活用事例を操作手順ごとに豊富な画面写真で解説しております。本書を有効にご利用いただくことで、学習指導要領に基づいた内容の授業案を考えることができます。

Copyright ©2009, Ichikawa Soft Laboratory Co., Ltd. All rights reserved.

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について、株式会社市川ソフトラボラトリーから文書による許諾を受けずに、無断で複製・複写・転載・引用することは禁じられています。本書に記載されている商品名は一般に各社の商標です。本書内で解説しているプログラムおよび画面は開発中の為、製品と仕様が異なる場合があります。

落丁、乱丁はお取替えいたします。その場合、お手数ですが市川ソフトラボラトリー 教育事業部までご連絡ください。

## 第1章 指導要領引用

<b>ストップモーションアニメを作ろう</b>	<b>4</b>	<b>暑中お見舞いを作ろう</b>	<b>39</b>
～GIFアニメーションに挑戦してみよう～		写真をファイルから取り込もう	40
カメラから写真を取り込もう	5	写真を加工しよう ～スタンプを押そう～	40
テンプレートを決めよう	5	加工した写真を保存しよう	41
写真を選択しよう	6	テンプレートを決めよう	42
キャンバスに写真を配置して大きさを変えよう	7	写真を差し替えよう	42
2フレーム目の写真を登録しよう	7	文字を入力しよう	43
2フレーム目の写真を差し替えよう	8	印刷をしよう	46
フレームの表示時間を設定しよう	9	保存をしよう	46
再生回数を設定して動きを確認しよう	10		
作品を保存しよう	10		
<b>植物の観察日記を作ろう</b>	<b>12</b>		
～静止画から動画を生成しよう～			
カメラから写真を取り込もう	13		
テンプレートを決めよう	13		
写真を選択しよう	14		
キャンバスに写真を配置して大きさを変えよう	15		
写真に文字を入力しよう	15		
文字をテロップにしよう	17		
写真を差し替えよう	17		
フレームの表示時間を設定しよう	19		
再生して動きを確認しよう	20		
作品を保存しよう	20		
Windows Media Playerで再生しよう	21		
<b>加工した写真でカレンダーを作ろう</b>	<b>22</b>		
写真をファイルから取り込もう	23		
写真を加工しよう！ ～文字を入力しよう～	23		
写真にフレームとスタンプをつけよう	26		
加工した写真を保存しよう	27		
テンプレートを決めよう	27		
写真を選択しよう	28		
写真の大きさを変えよう	29		
行事予定を入れよう	29		
印刷をしよう	30		
保存をしよう	30		
<b>学校紹介パンフレットを作ろう</b>	<b>31</b>		
カメラから写真を取り込もう	32		
テンプレートを決めよう	32		
写真を選択しよう	33		
手書きレイアウトに合わせて写真を配置しよう	34		
写真の大きさと形を変えよう	34		
文字を入力しよう	35		
印刷をしよう	38		
保存をしよう	38		



## 第2章 授業活用事例案

自己紹介名刺を作ろう	47	作品と自分を合成しよう	82
写真をファイルから取り込もう	48	写真をファイルから取り込もう	83
テンプレートを決めよう	48	合成する写真を用意しよう	83
写真を差し替えよう	49	写真の大きさを整えよう	83
文字を入力しよう	49	背景に作品を合成しよう	84
印刷をしよう	51	合成した被写体を移動しよう	86
保存をしよう	52	合成した被写体を拡張しよう	86
ホームページに掲載する写真を加工しよう	53	合成した被写体の角度を変えよう	87
写真をファイルから取り込もう	54	合成した写真に新たな写真を合成しよう	87
暗い写真を明るくしよう	54	被写体と背景をなじませよう	88
写真の形を変えてみよう	55	保存をしよう	89
写真のファイル容量を小さくしよう	57		
保存をしよう	57		
思い出のミニ卒業アルバムを作ろう	58		
写真をファイルから取り込もう	59		
テンプレートを決めよう	59		
表紙を選択しよう	60		
写真を順番通り挿入しよう	60		
表紙を編集して文字を入力しよう	61		
文字の大きさを変えて配置しよう	62		
本体を編集してみよう	62		
写真の大きさ、形を変えよう	63		
文字を入力しよう	63		
次のページへ進もう	65		
印刷プレビューで作品を確認して印刷しよう	65		
保存をしよう	66		
豆本を組み立てよう	66		
学校近辺の川を調査して発表しよう	67		
カメラから写真を取り込もう	68		
加工する写真を選択しよう	68		
暗い写真を明るくしよう	69		
写真に調査結果のコメントを入れよう ~新規入力方法~	69		
写真に調査結果のコメントを入れよう ~文章の追加方法~	71		
保存をしよう	72		
作成した資料でスライドショーをしよう	72		
絵を描いてみよう	74		
白紙を用意しよう	75		
ペンの色を選択して絵を描いてみよう	75		
色を作ろう	75		
領域選択を使って [円] を描こう	76		
粒に影を作ろう	78		
粒に質感を出そう	79		
枝の部分を描こう	79		
印刷をしよう	80		
保存をしよう	81		



## 第3章 校務活用案～写真加工編～

<b>写真を一括で自動補正</b>	90
エクスプローラから写真を開こう	91
選択した画像を自動補正しよう	91
<b>写真を一括で解像度変換(リサイズ)</b>	92
フォルダから写真を取り込もう	93
解像度を設定しよう	93
<b>写真の不要部分の削除</b>	94
写真をファイルから取り込もう	95
写真の日付を削除しよう	95
保存をしよう	95
<b>傾いた写真の修正</b>	96
写真をファイルから取り込もう	97
画像を回転させて正しい位置にしよう	97
余分な部分を切り取ろう	97
保存をしよう	97
<b>トリミングで写真の形を変えよう</b>	98
写真をファイルから取り込もう	99
型を選択して範囲を指定しよう	99
切り抜きをしよう	99
保存をしよう	99
<b>スキャナから資料を取り込み教材を作ろう</b>	100
教材をスキャナで読み取ろう	101
角度を整えよう	101
余分な部分を切り取ろう	102
取り込んだ画像のゴミを削除しよう	102
保存をしよう	103
<b>2次元バーコード(QRコード)の作成</b>	104
QRコード設定画面を起動しよう	105
QRコードに掲載する情報を入力しよう	105
学級通信やプリントにQRコードを貼り付ける場合	106
<b>画面キャプチャーを撮って加工しよう</b>	107
画面キャプチャーを撮ろう	108
デジピクチャープラス プライムを起動しよう	108
データを貼り付けよう	108
不要な部分を切り取ろう	109
保存をしよう	109
<b>白地図を作ろう</b>	110
地図をスキャナで読み取ろう	111
フィルタ(効果)をかけよう	111
保存をしよう	111



## 第4章 校務活用案～制作物編～

学級通信・おたより用の写真作成	112
写真をファイルから取り込もう	113
暗い写真を明るくしよう	113
写真を切り抜こう	114
フィルタ（効果）をかけよう	115
保存をしよう	115
校内、教室用掲示物の作成	116
写真をファイルから取り込もう	117
テンプレートを決めよう	117
写真を選択しよう	117
写真の大きさを変えよう	118
写真の形を変えよう	118
文字を入力しよう	119
印刷をしよう	120
保存をしよう	120
修学旅行の写真をインデックス掲示	121
カメラから写真を取り込もう	122
取り込んだ写真を一括で自動補正しよう	122
テンプレートを選択しよう	123
画像を取り込もう	124
印刷をしよう	124
ホームページ、ブログ掲載用の写真作成	125
写真をファイルから取り込もう	126
暗い写真を明るくしよう	126
写真のファイル容量を小さくしよう	127
顔の部分をぼかしてみよう	127
保存をしよう	128
ホームページのアイコンを作ろう	129
白紙を用意しよう	130
テンプレートを決めよう	130
文字を入力しよう	131
文字の色をグラデーションにしよう	132
キャンバスに文字を配置して大きさを変えよう	133
2フレーム目を作ろう	134
フレームの表示時間を設定しよう	134
再生回数を設定して動きを確認しよう	135
作品を保存しよう	136
校務用名刺の作成	137
写真をファイルから取り込もう	138
テンプレートを決めよう	138
写真を差し替えよう	138
文字を入力しよう	139
文字の大きさと配置を調節しよう	140
QRコードを作成しよう	140
印刷をしよう	141
保存をしよう	141

被写体の背景を透明にして利活用しよう	142
～透過GIFの作成方法～	
カメラから写真を取り込もう	143
写真のファイル容量を小さくしよう	143
加工した写真を保存しよう	143
白紙を用意しよう	144
合成する写真を用意しよう	144
写真の大きさを整えよう	145
背景に写真を合成しよう	145
合成した被写体を移動しよう	146
合成した被写体を拡大縮小しよう	146
合成した被写体の角度を変えよう	147
保存をしよう	147
その他の活用事例のご紹介	148
体育祭・文化祭のプログラムポスターを作ろう	148
年賀状・暑中お見舞い作成	148
卒業アルバムCDを作成	148

## 第5章 付録 校務活用案～知識編～

保存形式一覧表	149
用途別解像度一覧表	149
デジタル画像の仕組み	150
画素とは	150
DPIとは	150
解像度変換とは	151
その他 学校活用例	151
補正の種類	152
ペンの種類	154
金属ペンの種類	155
フィルタの種類	156
さいころの作り方	158
豆本の作り方	159

## 第1章

### 4 ストップモーションアニメを作ろう ～GIFアニメーションに挑戦してみよう～

# ストップモーション アニメを作ろう

## ～GIFアニメーションに挑戦してみよう～

被写体を少しずつ動かしてアニメーションを制作することができます。カメラを固定し、被写体を動かしながらシャッターを押します。たくさんのコマを撮影するほど滑らかなアニメーションを作成することができます。

#### ● 事前準備する資料

- デジタルカメラ、三脚
- 粘土、粘土板、砂
- アニメーションの構成図

このセクションでは、[コマ]を[フレーム]と呼んでいます。

#### サンプル素材について

このタイトルで使用するアニメーションの素材は下記の2種類の方法で取得できます。

- インストールCD-ROM内の[sample]フォルダ  
(操作方法はマニュアルの126ページをご覧ください)
- 市川ソフトラボラトリーのホームページ  
[画像の学習.com]からダウンロード



## ▶ カメラから写真を取り込もう

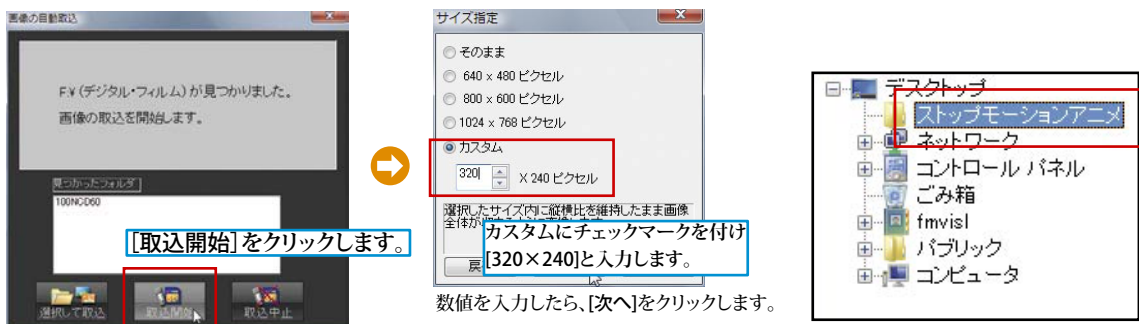
1 デジタルカメラをパソコンに接続して、ツールバーの[カメラ]をクリックします。



2 [画像の自動取込] ウィンドウが表示されます。

3 [サイズ指定] ウィンドウが表示されます。ご利用の用途によって画像のサイズを一括で指定します。

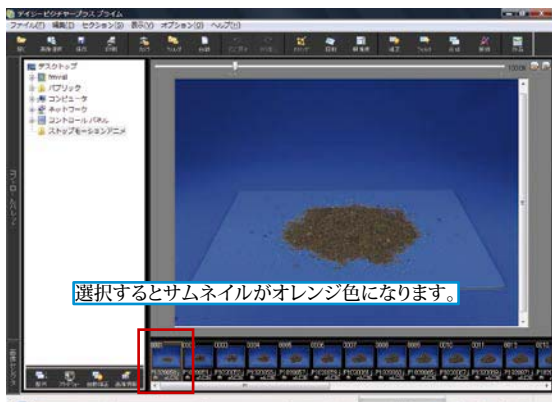
4 [保存フォルダの指定] ウィンドウが表示されます。画像を保存するフォルダを選択し[次へ]をクリックすると、[自動取込中] ウィンドウが表示されます。



### カスタムとは

写真の解像度を任意の数値に設定することができます。数値の入力は長辺のみの入力になります。写真の比率は指定したサイズ内に縦横比を維持したまま写真全体が収まるように変換します。

## ▶ テンプレートを決めよう



1 [画像セレクタ] から写真を1枚選択します。

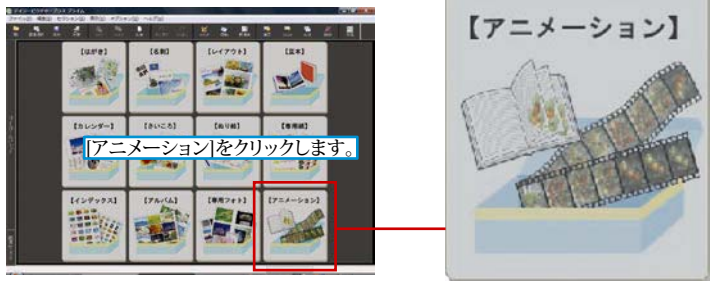


2 ツールバーの[作品]をクリックします。

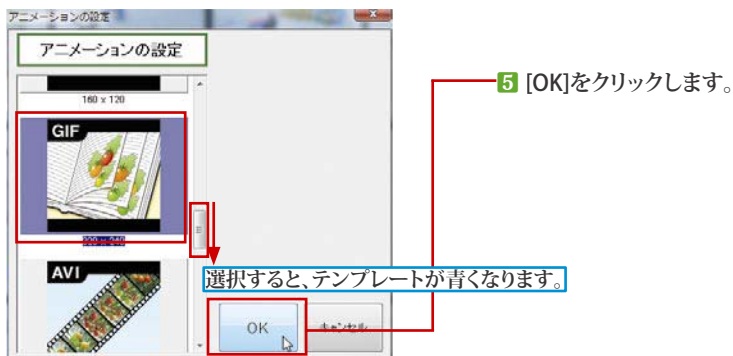
# 第1章

## 6 ストップモーションアニメを作ろう ～GIFアニメーションに挑戦してみよう～

3 [作品セクション]画面が表示されます。



4 [アニメーションの設定] ウィンドウが表示されるので、アニメーションの画面サイズを選択します。




### ▶ 写真を選択しよう

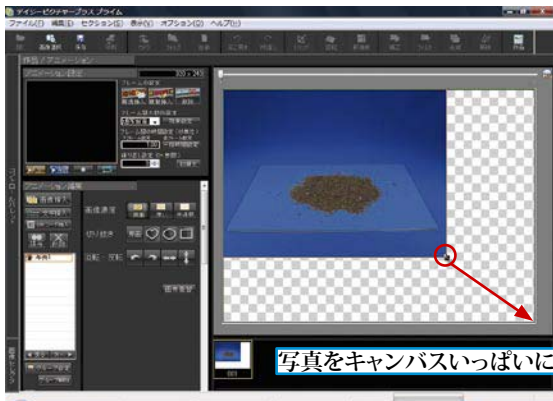
1 [選択]ウィンドウが表示されるので、アニメーションの1フレーム目にする写真を選択します。



## ▶ キャンバスに写真を配置して大きさを変えよう

1 選択した写真上にマウスのカーソルを合わせると、カーソルがに変わります。


2 写真の左上角をキャンバスの左上角に合わせます。



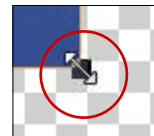
写真をキャンバスいっぱいに拡大します。

[画像セレクト]に[001]という黄色い枠で囲われたフレームが作成されています。最初の1フレーム目は写真を取り込んだと同時に作成され、キャンバスの写真や文字を動かすと、フレームのサムネイル画像も運動して動きます。

補足

3 写真の四隅に表示されているにカーソルを合わせると、カーソルが矢印に変わります。

写真の内側に向かってドラッグすると、写真が縮小され、逆に外側に向かってドラッグすると写真が拡大されます。

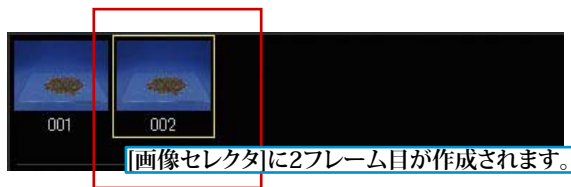
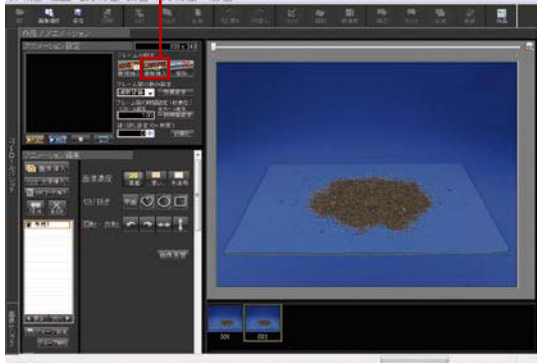


写真の比率によっては、写真の一部が削られる可能性があります。

補足

## ▶ 2フレーム目の写真を登録しよう

1 [複製挿入]をクリックします。



[画像セレクト]に2フレーム目が作成されます。

補足

2フレーム目以降は、前にあるフレームを複製(コピー)して作成されます。

1フレーム目を修正する場合は、[画像セレクト]の1フレーム目をクリックします。クリックすると、フレームのサムネイルが黄色い枠で囲われ、キャンバスに1フレーム目が表示されます。

# 第1章

## 8 ストップモーションアニメを作ろう ～GIFアニメーションに挑戦してみよう～

### ▶ 2フレーム目の写真を差し替えよう



1 [画像差替]をクリックします。

2 [選択]ウィンドウが表示されるので、2フレーム目に登録する写真を選択します。



3 選択したら[OK]をクリックします。

4 キャンバスの写真が差し替わります。

写真の大きさは1フレーム目に設定した写真と同じ大ききで配置されるので、ズレることなく2フレーム目の写真を配置することができます。



完成はこのようになります。



#### まとめ

3フレーム目以降もP.7～P.8と同様の操作で登録します。

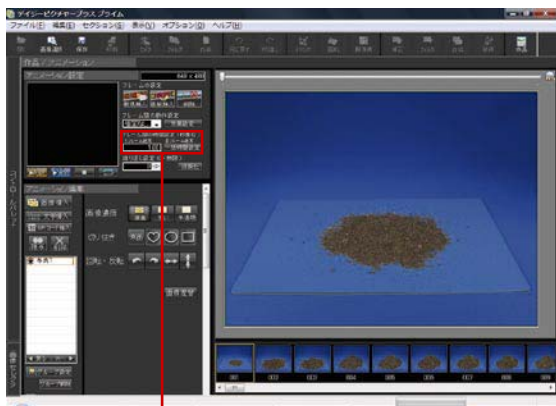
#### 最後の1フレームを登録する場合

最後の1フレームを作成したら、[複製挿入]は押さずにそのままにします。  
[複製挿入]をクリックすると、次のフレームが作成されてしまいます。

フレームを削除する場合は、削除したいフレームをサムネイルから選択します。  
サムネイルが黄色い枠で囲われていることを確認したら、[削除]をクリックします。

▶ **フレームの表示時間を設定しよう** 方法が2通りあるので、用途に合った方法で設定してください。

## ● フレームの表示時間を設定しよう



フレーム間の時間設定 (秒単位)  
1 フレーム数宛 全フレーム数宛  
0.3 一括時間設定

1 表示時間を変えるフレームを選択します。



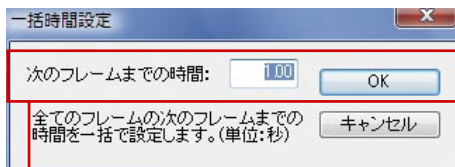
2 [フレーム間の時間設定(秒単位)]を設定します。  
[1フレーム設定]の初期値は1.00(1秒)となっています。  
数値を入力します。

上記の方法で、全てのフレーム間の表示時間を設定します。

## ● フレームの表示時間を一括で設定しよう

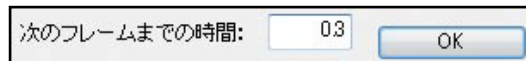
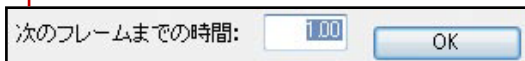
一括時間設定

1 [全フレーム設定]の[一括時間設定]をクリックします。



2 [一括時間設定]ウインドウが表示されます。

3 [次のフレームまでの時間]を設定します。  
初期値は1.00(1秒)となっており、0.01秒間隔で設定できます。



4 秒数を指定したら、[OK]をクリックします。

上記の方法で、全てのフレーム間の表示時間を設定します。

# 第1章

## 10 ストップモーションアニメを作ろう ～GIFアニメーションに挑戦してみよう～

### ▶ 再生回数を設定して動きを確認しよう



1 [繰り返し設定]は初期値は[0]になっています。

[0]=[無限]という設定になっており、ずっと再生し続けます。

回数を指定する場合はエディットコントロールまたはスピンコントロールで回数を指定します。

再生回数は最高999回になっています。

2 再生は[GIF(パラパラ漫画)]と[AVI(映像)]で行うことができます。ストップモーションアニメはパラパラ漫画の動きになりますので、[GIF]を選択します。



3 [GIF]ボタンをクリックすると、左上のプレビュー画面に上記で作成したアニメーションが再生されます。

### ▶ 作品を保存しよう



1 ツールバーの[保存]をクリックします。

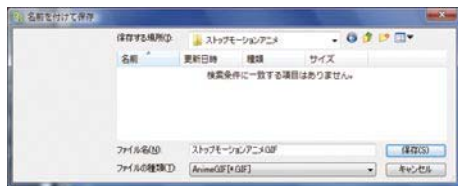
2 [名前を付けて保存]ウインドウが表示されます。

3 [保存する場所]の[▼]をクリックすると、保存先が選択できるので任意の保存先を設定してください。

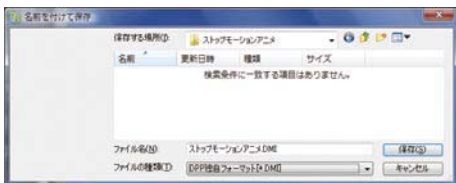
4 [ファイル名]はこの作品の任意のファイル名をつけてください。

5 [ファイルの種類]は場合、[\* .GIF]を選択します。

6 [保存]をクリックするとアニメーションの保存が完了します。



## ● 作業を途中で中断して保存する場合



[DMI]形式で保存を行うと、作業の工程をそのまま保存できます。保存したデータを開いたときに、前回の続きから作業を行うことができます。

- 1 ツールバーの[保存]をクリックします。
- 2 [名前を付けて保存]ウィンドウが表示されます。
- 3 [保存する場所]の[▼]をクリックすると、保存先が選択できるので任意の保存先を設定してください。
- 4 [ファイル名]はこの作品の任意のファイル名をつけてください。
- 5 [ファイルの種類]は、[\* .DMI]を選択します。
- 6 [保存]をクリックするとアニメーションの保存が完了します。

## 第1章

12 植物の観察日記を作ろう ～静止画から動画を生成しよう～

# 植物の観察日記を作ろう

## ～静止画から動画を生成しよう～

定点カメラで植物の生育状態を定期的に撮影し、映像を作成することができます。文字のデータを作成することでテロップのように文字を流すこともでき、教材や発表資料に活用することができます。

### ● 事前準備する資料

- 表紙に活用する背景の画像
- 植物の生育を撮影した写真
- アニメーションの構成図

このセクションでは、[コマ]を[フレーム]と呼んでいます。

### サンプル素材について

植物の育成に活用できるアニメーションの素材は下記の2種類の方法で取得できます。

- インストールCD-ROM内の[sample]フォルダ  
(操作方法はマニュアルの126ページをご覧ください)
- 市川ソフトラボラトリーのホームページ  
[画像の学習.com]からダウンロード

## ▶ カメラから写真を取り込もう

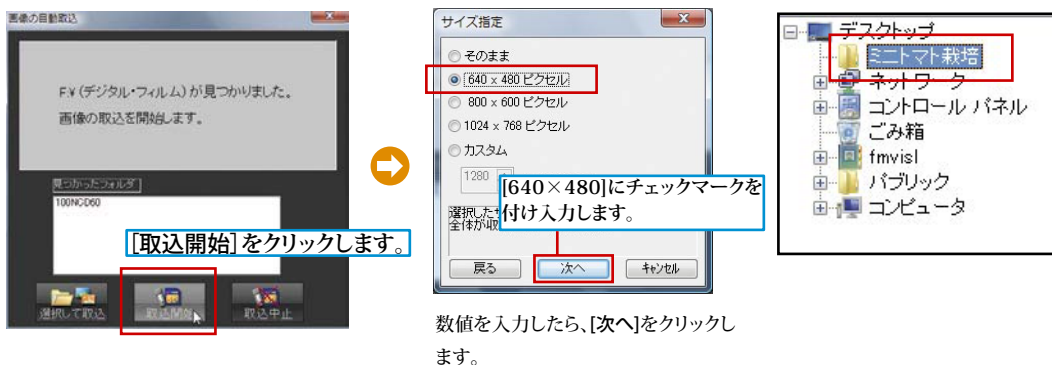
1 デジタルカメラをパソコンに接続して、ツールバーの[カメラ]をクリックします。



2 [画像の自動取込] ウィンドウが表示されます。

3 [サイズ指定] ウィンドウが表示されます。ご利用の用途によって画像のサイズを一括で指定します。

4 [保存フォルダの指定] ウィンドウが表示されます。画像を保存するフォルダを選択し[次へ]をクリックすると、[自動取込中] ウィンドウが表示されます。



## ▶ テンプレートを決めよう



1 [画像セレクト] から写真を1枚選択します。



2 ツールバーの[作品]をクリックします。

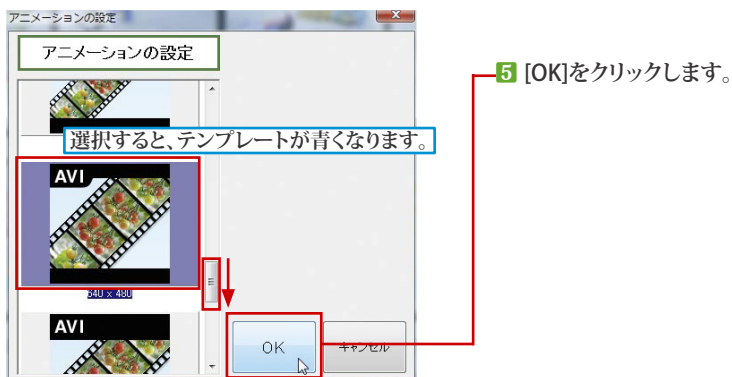
# 第1章

## 14 植物の観察日記を作ろう ～静止画から動画を生成しよう～

3 [作品セクション] 画面が表示されます。

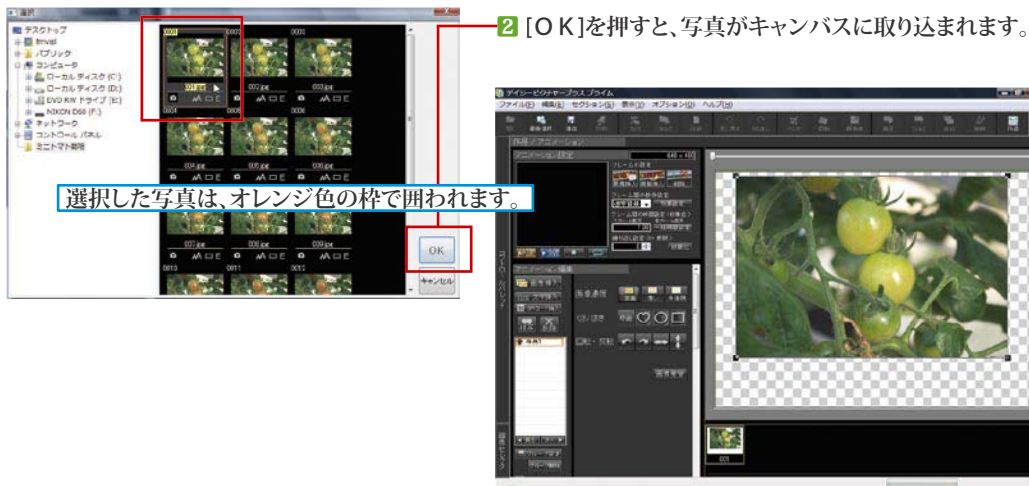


4 [アニメーションの設定] ウィンドウが表示されるので、アニメーションの画面サイズを選択します。




### ▶ 写真を選択しよう

1 [選択]ウィンドウが表示されるので、アニメーションの1フレーム目にする写真を選択します。



## ▶ キャンバスに写真を配置して大きさを変えよう


1 選択した写真上にマウスのカーソルを合わせると、カーソルがに変わります。

2 写真の左上角をキャンバスの左上角に合わせます。



[画像セレクタ]に[001]という黄色い枠で囲われたフレームが作成されています。最初の1フレーム目は写真を取り込んだと同時に作成され、キャンバスの写真や文字を動かすと、フレームのサムネイル画像も連動して動きます。

補足

3 写真の四隅に表示されているにカーソルを合わせると、カーソルが矢印に変わります。

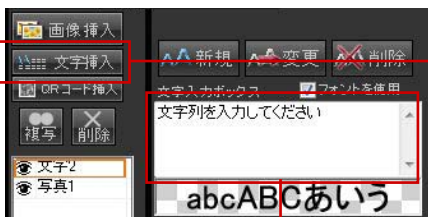
写真の内側に向かってドラッグすると、写真が縮小され、逆に外側に向かってドラッグすると写真が拡大されます。



写真の比率によっては、写真の一部が削られる可能性があります。

補足

## ▶ 写真に文字を入力しよう

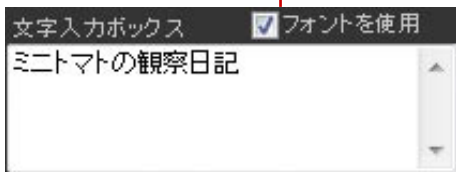


1 コントロールパレットの[文字挿入]をクリックします。



コントロールパレットが文字編集画面に切り替わり、キャンバス左上角に[文字列を入力してください]の文章が表示されます。

資料のタイトルを入力します



2 [文字入力ボックス]の文字をキーボードの[Back Space]キーまたは[Delete]キーですべて削除します。

マウスのカーソルを[文字入力ボックス]に合わせクリックします。カーソルが点滅したのを確認してから文字を入力してください。

文章を画面左上角の[文字入力ボックス]へ入力します。

ローマ字表記になる場合は、1度文字を削除し、キーボードの[半角/全角]キーを押して日本語入力できるようにします。

# 第1章

## 16 植物の観察日記を作ろう ～静止画から動画を生成しよう～

3 「フォント(フォントの種類)」・「行揃え」などの項目をそれぞれ設定します。



フォントはお使いのパソコンによって種類が異なります。



4 文字の色は、黒や赤などの「ノーマル」色と、金属調の「金属タイプ」から選択することができます。



5 スクロールバーを下げると、コントロールパレットの中段に七色のパレットが表示されるので、利用する色の上にカーソルを合わせてクリックをします。

色を選択すると「文字色」の左手の[□]が選択した色に変わります。

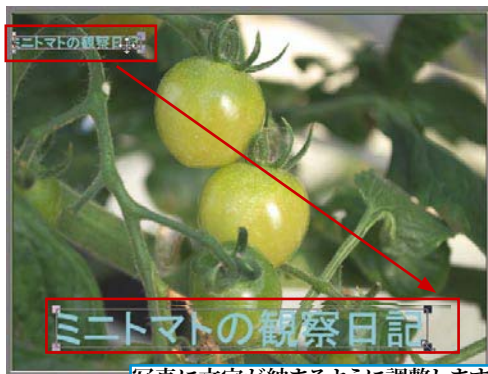


6 すべての設定ができれば、[変更]をクリックします。

作成した文字が、画面右手のキャンバスの写真の左上角に表示されます。

### 文字の位置と大きさを変えよう

1 作成された文字にカーソルを合わせドラッグをすると、文字の位置を移動することができます。



写真に文字が納まるように調整します。

カーソルが矢印から[↔]に変わります。

また、選択されている文字の四隅の[■]にカーソルを合わせドラッグすると、文字の大きさを調整することができます。

補足

[画像セレクト]に[001]という黄色い枠で囲われたフレームが作成されています。最初の1フレーム目は写真を取り込んだと同時に作成され、キャンバスの写真や文字を動かすと、フレームのサムネイル画像も連動して動きます。

## ▶ 文字をテロップにしよう

1 テロップを流す方向を決めます。



2 キャンバスを最大表示にします。

拡大バーを一番右(拡大方向)へスライドします。

3 テロップにする文字をキャンバスの枠線より外に配置します。

4 文字をドラッグして枠外の左側へ移動します。



5 [複製挿入]をクリックし、1フレーム目を登録します。

6 テロップにする文字を中間くらいまで動かします。



7 [複製挿入]をクリックし、2フレーム目を登録します。

8 テロップにする文字を、最終的に配置する場所へ再度動かします。



上記の手順で、それぞれの文字を少し動かしながら登録します。

キャンバスの緑の枠線外はフレームとして登録されないの、ご注意ください。

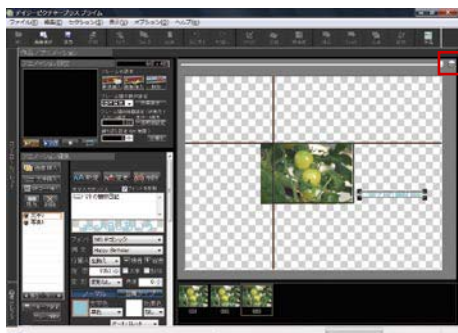
補足

最後のフレームの作成が完了したら、[複製挿入]はクリックしないでください。

補足

## ▶ 写真を差し替えよう

1 [FIT]をクリックして写真をキャンバス全面に表示します。



# 第1章

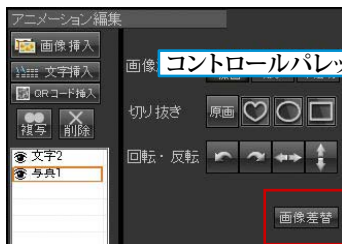
## 18 植物の観察日記を作ろう ～静止画から動画を生成しよう～

2 [複製挿入]をクリックします。

[画像セレクト]に2フレーム目が作成されます。



3 キャンバス上の写真を一度クリックします。



コントロールパレットが画像編集メニューに変わります。

4 [画像差替]をクリックします。

5 [選択]ウィンドウが表示されるので、2フレーム目に登録する写真を選択します。



6 選択したら[OK]をクリックします。

7 キャンバスの写真が差し替わります。

写真の大きさは1フレーム目に設定した写真と同じ大きさに配置されるので、ズれることなく2フレーム目の写真を配置することができます。

選択した写真は、オレンジ色の枠で囲われます。



### まとめ

3フレーム目以降も4～7と同様の操作で登録します。

### 最後の1フレームを登録する場合

キャンバスに最後の1フレームを作成したら、[複製挿入]は押さずにそのままにします。[複製挿入]をクリックすると、次のフレームが作成されてしまいます。

フレームを削除する場合は、削除したいフレームを画像セレクトから選択します。サムネイルが黄色い枠で囲われていることを確認したら、[削除]をクリックします。

完成はこのようになります。

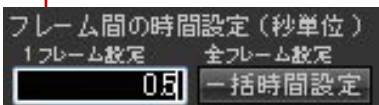


▶ フレームの表示時間を設定しよう 方法が2通りあるので、用途に合った方法で設定してください。

## ● フレームの表示時間を設定しよう



1 表示時間を変えるフレームを選択します。



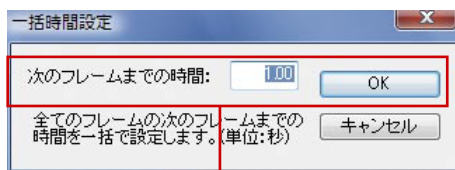
2 [フレーム間の時間設定(秒単位)]を設定します。  
[1フレーム設定]の初期値は1.00(1秒)となっています。  
数値を入力します。

上記の方法で、全てのフレーム間の表示時間を設定します。

## ● フレームの表示時間を一括で設定しよう

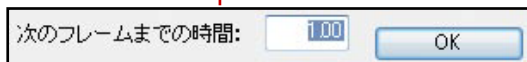
一括時間設定

1 [全フレーム設定]の[一括時間設定]をクリックします。



2 [一括時間設定]ウインドウが表示されます。

3 [次のフレームまでの時間]を設定します。  
初期値は1.00(1秒)となっており、0.01秒間隔で設定できます。



4 秒数を指定したら、[OK]をクリックします。

上記の方法で、全てのフレーム間の表示時間を設定します。

# 第1章

## 20 植物の観察日記を作ろう ～静止画から動画を生成しよう～

### ▶ 再生して動きを確認しよう

1 再生は[GIF(パラパラ漫画)]と[AVI(映像)]で行うことができます。植物の成長を映像にして見るので[AVI]を選択します。

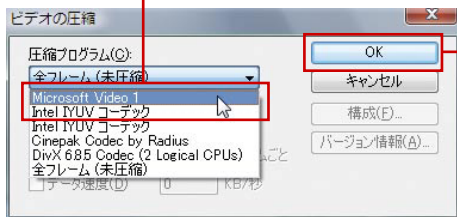


2 [AVI]ボタンをクリックすると、左上のプレビュー画面に上記で作成したアニメーションが再生されます。

### ▶ 作品を保存しよう



- 1 ツールバーの[保存]をクリックします。
- 2 [名前を付けて保存]ウインドウが表示されます。
- 3 [保存する場所]の[▼]をクリックすると、保存先が選択できるので任意の保存先を設定してください。
- 4 [ファイル名]はこの作品の任意のファイル名をつけてください。
- 5 [ファイルの種類]は、[\* .AVI]を選択します。



6 [保存]をクリックすると[ビデオの圧縮]ウインドウが表示されます。圧縮プログラムの初期設定は[全フレーム(未圧縮)]となっているので、任意の圧縮方法を選択します。

#### 圧縮プログラムとは

動画ファイルを圧縮するプログラムは、一般的に「コーデック」と呼ばれています。「コーデック」には、動画ファイルを様々な工夫によって、より少ない情報量に圧縮し、よりスムーズに復元して再生するという機能があります。

・推奨は[Microsoft Video 1]です。

7 [OK]をクリックすると、保存が開始されます。

#### 動画ファイルをより圧縮するには

動画ファイルをより圧縮し、より高画質にするには、マイクロソフト社のコーデック「Windows Media Video 9 VCM」を使用することをお勧めします。Microsoft Corporationのホームページより無償でダウンロードできます。

#### 注意

コーデックで圧縮した動画ファイルの再生には、圧縮した時に使用したコーデックが必要になります。

※ Microsoft Video 1はWindows Vista/XP/2000にインストール済みです。

## 作業を途中で中断して保存する場合



1 ツールバーの[保存]をクリックします。

2 [名前を付けて保存]ウインドウが表示されます。



3 [保存する場所]の[▼]をクリックすると、保存先が選択できるので任意の保存先を設定してください。

4 [ファイル名]はこの作品の任意のファイル名をつけてください。

5 [ファイルの種類]は、[\* .DMI]を選択します。

[DMI]形式で保存を行うと、作業の工程をそのまま保存できます。

保存したデータを開いたときに、前回の続きから作業を行うことができます。

6 [保存]をクリックするとアニメーションの保存が完了します。

## Windows Media Playerで再生しよう



1 保存したデータをダブルクリックして開きます。

作成したデータを映像として見ることができます。



できあがったデータをみんなで確認してみましょう。動きに問題が無ければ完成です。

# 第1章

## 22 加工した写真でカレンダーを作ろう

# 加工した写真で カレンダーを作ろう

写真、文字、予定などを入力できるカレンダーを作成することができます。

複数の写真の掲載や文字の色の変換、学校の行事や個人の予定入力など、個性あふれる様々なカレンダーを作成することができます。



### ● 事前準備する資料

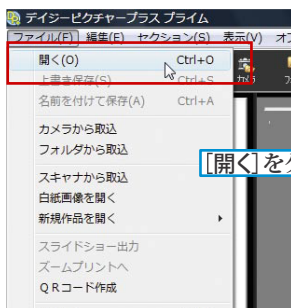
- カレンダーに掲載する写真(ここでは1枚です)
- 学校の行事予定表または生徒個人の予定表
- 授業で作成したカレンダーのイメージ図

カレンダーのイメージを作成すると授業の進行に便利です。



## ▶ 写真をファイルから取り込もう

1 メニューバーの[ファイル(F)]から[開く]を選択します。



2 使用する写真のファイル名をクリックして、[開く]をクリックします。

## ▶ 写真を加工しよう！ ～文字を入力しよう～

1 ツールバーの[装飾]をクリックします。



2 [セクション選択] 画面が表示されます。



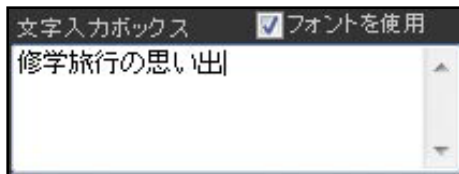
# 第1章

## 24 加工した写真でカレンダーを作ろう

### カレンダーのタイトル文字を入力しよう

- 3 文章を画面左上角の[文字入力ボックス]へ文字を入力します。

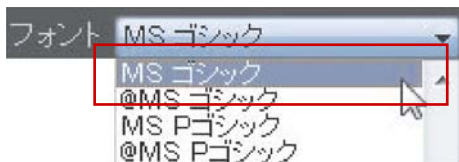
マウスのカーソルを[文字入力ボックス]に合わせクリックします。



カーソルが点滅していることを確認してから文字を入力してください。

ローマ字表記になる場合は、1度文字を削除し、キーボードの[半角/全角]キーを押して日本語入力できるようにします。

- 4 「フォント(フォントの種類)」を設定します。



補足

フォントに[@]のついているタイプは、入力した文字を縦文字にすることができません。

フォントはお使いのパソコンによって種類が異なります。

- 5 コントロールパレットの中段に七色のパレットが表示されているので、利用する色の上にカーソルを合わせてクリックをします。

### 文字に装飾をして縁をつけよう

- 6 効果色を設定します。効果色を設定することで、作成した文字に「背景」・「影」・「縁」をつけることができます。



- 7 [パレット]から使用する色を選択します。



- 8 設定ができれば、[新規]をクリックします。



作成した文字が、画面右手のキャンバスの写真の左上角に表示されます。

色を選択すると「文字色」の左の□が選択した色に変わります。

## 文字の位置と大きさを変えよう

- 9 作成された文字にカーソルを合わせドラッグをすると、文字の位置を移動することができます。



また、選択されている文字の四隅の [□] にカーソルを合わせドラッグすると、文字の大きさを調整することができます。

## 文字を追加しよう

- 10 [文字入力ボックス]に入力されている文字をすべて削除します。

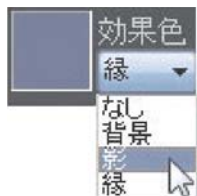
- 11 [文字入力ボックス]に追加の文字を入力します。



- 12 [文字色]左手の [□] をクリックし、[パレット] から文字の色を選択します。

- 13 効果色で [影] をつけます。

- 14 影の色を選択します。



もっと多彩な色を利用する場合は

パレットの上のプルダウンメニューから、パレットの切り替えができるので「色相ボックス」を選択します。

オートパレット

64色のパレットから利用する色のマスをクリックし、色を選択します。

色相ボックス

オーロラのように表示された色相から、利用する色の部分をクリックして色を選択します。明暗バーを調整することにより同じ部分でも異なった色を設定することができます。「黒」にするときは明暗バーのツマミを「暗(1番下)」にします。

- 15 [新規] をクリックすると追加で作成した文字が、画面右手のキャンバスの写真の左上角に表示されます。



作成された文字の位置と大きさを9の操作方法で調整します。

# 第1章

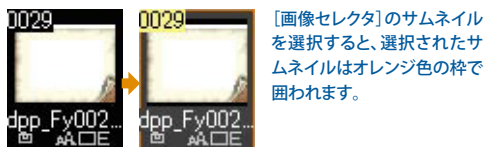
## 26 加工した写真でカレンダーを作ろう

### ▶ 写真にフレームとスタンプをつけよう



- 1 コントロールパレットの[フレーム]をクリックします。
- 2 [画像セクタ]にフレームの素材が表示されるので、使用するフレームのサムネイルをクリックします。

キャンパスの写真に選択したフレームが表示されます。



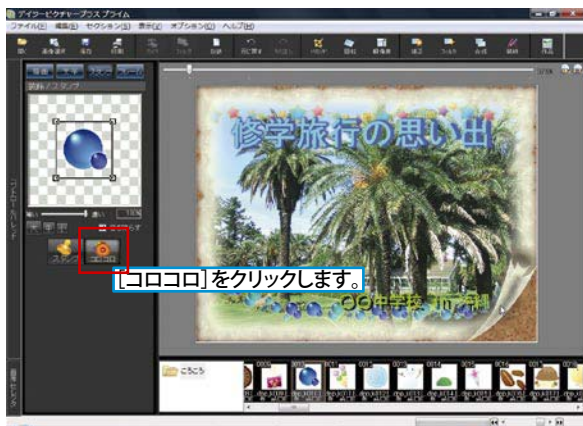
- 3 コントロールパレットの[スタンプ]をクリックします。



確認メッセージが表示されます。前工程で選択したフレームを写真につけるか、つけないかの確認メッセージとなっています。

フレームを写真につけるので、[はい]を選択して確定します。

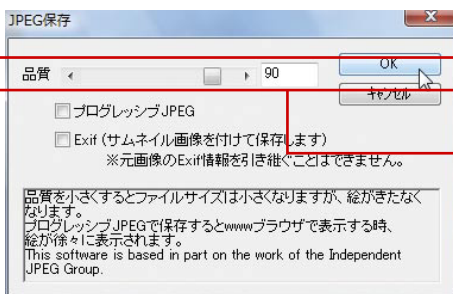
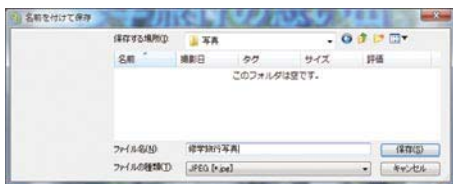
- 4 スタンプセクションが表示されます。



- 5 画像セクタにコロコロスタンプのサムネイルが表示されるので、使用するスタンプをクリックします。
- 6 画面右手のキャンパスの画面上でペンを描くようにドラッグをします。スタンプが表示されます。



## ▶ 加工した写真を保存しよう



- 1 ツールバーの[保存]をクリックします。
- 2 [名前を付けて保存]ウインドウが表示されます。
- 3 [保存する場所]の[▼]をクリックすると、保存先が選択できるので任意の保存先を設定します。
- 4 [ファイル名]はこの作品の任意のファイル名をつけます。
- 5 [ファイルの種類]は[JPEG(\*.jpg)]を選択します。
- 6 [保存]をクリックします。
- 7 [JPEG保存]ウインドウが表示されます。

保存形式についての解説は149ページの「保存形式一覧表」をご覧ください。

品質の数値はそのまま[90]に設定します。[OK]をクリックします。

補足

写真に文字を入力した場合は、品質の数値は[90]以上で保存をしてください。文字入力時は品質の数値を[90]以上に設定しないと、保存後に文字がギザギザになります。

## ▶ テンプレートを決めよう

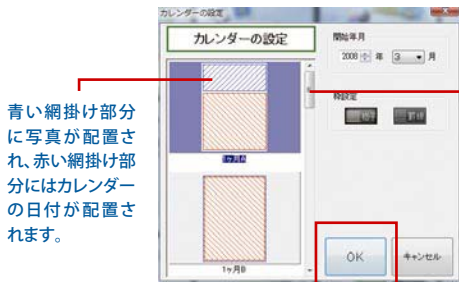


- 1 ツールバーの[作品]をクリックします。
- 2 [作品セクション]画面が表示されます。



# 第1章

## 28 加工した写真でカレンダーを作ろう



青い網掛け部分に写真が配置され、赤い網掛け部分にはカレンダーの日付が配置されます。

**3** テンプレートを選択します。  
作成するカレンダーのフォーマットを選択します。

スクロールバーをドラッグするとフォーマットの種類が表示されるのでクリックして選択します。

**4** 作成するカレンダーの「開始年月」、「枠設定」及びカレンダーの月を設定します。



**開始年月** エディットコントロールまたはスピコンコントロールを使って、作成するカレンダーの開始年月を指定します。

**枠設定** [格子]または[罫線]をクリックして、カレンダーにつける枠線を指定します。

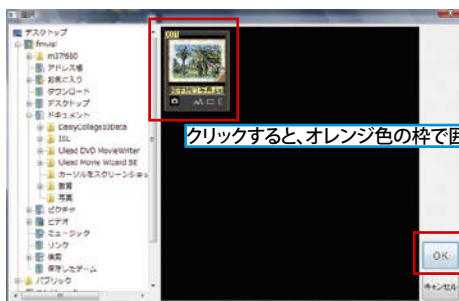
設定が終了したら[OK]をクリックします。

### スピコンコントロール

[▲] ボタン・[▼] ボタンを操作することにより、効果を調節します。

補足

## 写真を選択しよう



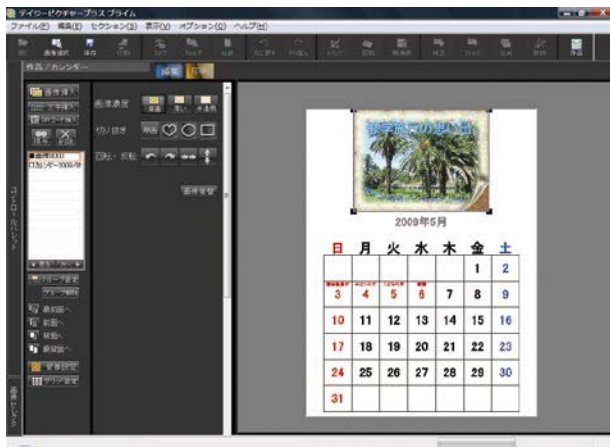
クリックすると、オレンジ色の枠で囲われます。

**1** [選択] ウィンドウが表示されるので、先ほど加工した写真をクリックします。

クリックすると、オレンジ色の枠で囲われます

選択したら[OK]をクリックします。

**2** カレンダーのテンプレートに、**1**で選択した写真が表示されます。



## ▶ 写真の大きさを変えよう

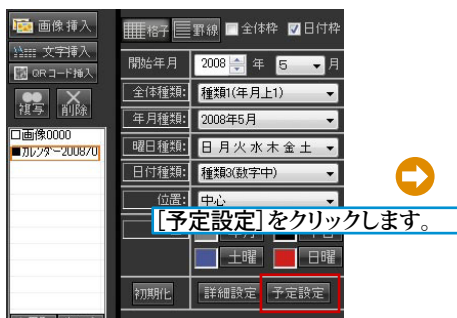


- 1 写真の四隅の[■]が表示されているので、[■]にカーソルを合わせてドラッグをすると、写真の大きさが拡大・縮小します。

## ▶ 行事予定を入れよう

- 1 カレンダーの日付をクリックをします。

- 2 コントロールパレットのメニューが切り替わりカレンダーの詳細を設定できる[編集モード]画面になります。



- 3 予定入力をする日付をクリックすると、日付に青いラインが表示されます。



[スケジュール]ウインドウが表示されます。

青いラインの真ん中辺りで、ダブルクリックをします。



- 4 カーソルが点滅し文字が入力できるようになるので、予定を入力します。

入力が終わり[Enter]キーを押すと、青いラインに戻ります。

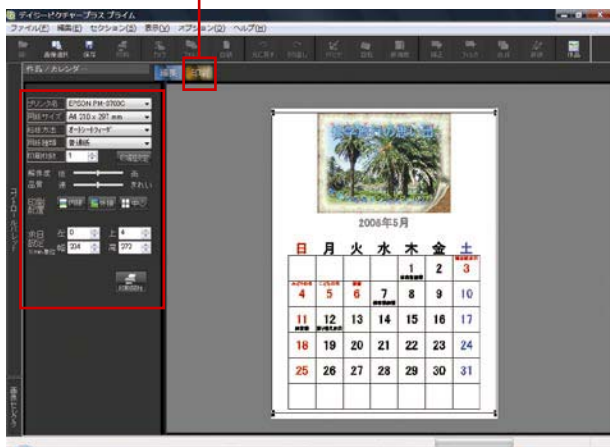
- 3～4を繰り返し、予定を入力します。

- 5 すべての予定入力が終了したら、[スケジュール]ウインドウの右上の[OK]ボタンをクリックします。



## ▶ 印刷をしよう

1 タブの[印刷]をクリックします。



2 印刷画面が表示されます。

3 [プリンタ名]を設定します。[▼]をクリックすると、お使いのパソコンに接続されているプリンタが表示されます。この中から使用するプリンタを選択します。

変更しない場合は、設定をする必要はありません。

4 [用紙サイズ]を設定します。[▼]をクリックし、用紙のサイズを選択します。  
ここでは[A4]サイズに設定します。

5 [給紙方法]、[用紙種類]は任意の設定を行います。

6 用紙の向きは[印刷設定]をクリックし、お使いのプリンタの[プロパティ]から設定をしてください。

プリンタのプロパティの設定につきましては、ご利用のプリンタの取扱説明書をご覧ください。



7 印刷の配置は[内接]をクリックし、用紙に作品がすべて収まるようにしてください。

用紙サイズを変更した場合は、キャンバス上の印刷イメージが変更されます。

8 [印刷開始]をクリックし、[はい]を選択すると印刷が開始されます。

## ▶ 保存をしよう



1 ツールバーの[保存]をクリックします。

2 [名前を付けて保存]ウインドウが表示されます。



3 [保存する場所]の[▼]をクリックすると、保存先が選択できるので任意の保存先を設定してください。

4 [ファイル名]はこの作品の任意のファイル名をつけてください。

5 [ファイルの種類]はカレンダーの拡張子の場合、[\*.\*CLI]で保存できるのでそのままにします。

6 [保存]をクリックするとカレンダーの保存が完了します。

# 学校紹介パンフレットを作ろう

用紙に複数の写真や文字を配置してパンフレットを作成することができます。

写真の大きさや文字の配置などを自在に動かすことができ、イメージ通りのレイアウトを作成することができます。



## ●事前準備する資料

- パンフレットに掲載する写真  
(このパンフレットでは4枚使います)
- 学校紹介用に作成した資料
- 全体のレイアウトの下書き

パンフレットの構成を考え、全体のレイアウトを作成すると授業の進行がスムーズです。

# 第1章

## 32 学校紹介パンフレットを作ろう

### ▶ カメラから写真を取り込もう

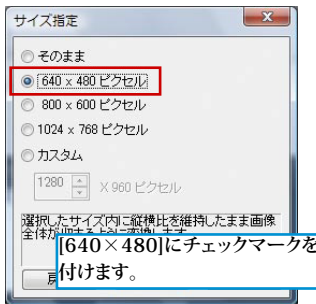
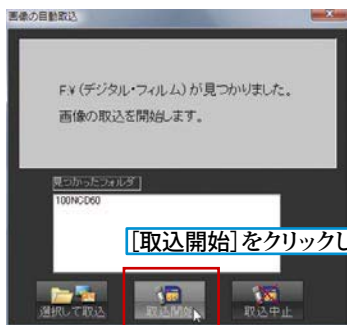
1 デジタルカメラをパソコンに接続して、ツールバーの[カメラ]をクリックします。



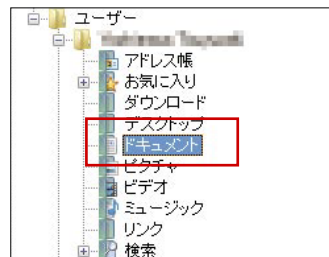
2 [画像の自動取込] ウィンドウが表示されます。

3 [サイズ指定] ウィンドウが表示されます。ご利用の用途によって画像のサイズを一括で指定します。

4 [保存フォルダの指定] ウィンドウが表示されます。画像を保存するフォルダを選択し[次へ]をクリックすると、[自動取込中] ウィンドウが表示されます。



数値を入力したら、[次へ]をクリックします。



#### カスタムとは

写真の解像度を任意の数値に設定することができます。数値の入力は長辺のみの入力になります。写真の比率は指定したサイズ内に縦横比を維持したまま写真全体が収まるように変換します。

### ▶ テンプレートを決めよう



1 [画像セレクト] から写真を1枚選択します。



2 ツールバーの[作品] をクリックします。



2 ツールバーの[作品]をクリックします。



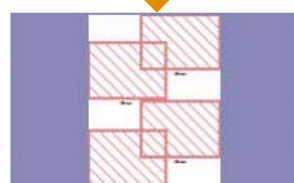
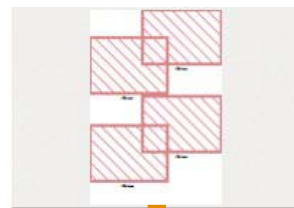
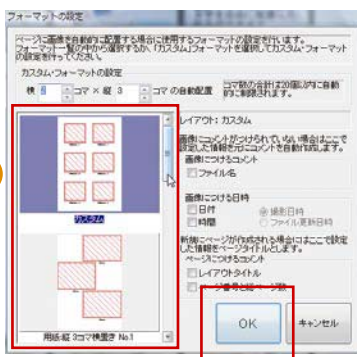
3 [作品セクション]画面が表示されます。



4 [レイアウトの設定]ウインドウが表示されるので、[フォーマットの設定]をクリックします。

5 [フォーマットの設定]ウインドウが表示されます。

ピンク色の網掛けの部分に写真が配置されます。イメージしているレイアウトに近いテンプレートを選択し[OK]をクリックします。



選択すると、テンプレートが青くなります。

6 [フォーマットの設定]ウインドウに戻るので、[OK]をクリックします。

## 写真を選択しよう

1 [選択]画面が表示されるので、4枚の写真を選択します。

複数の写真を選択する場合は[CTRL]+クリックで選択することができます。



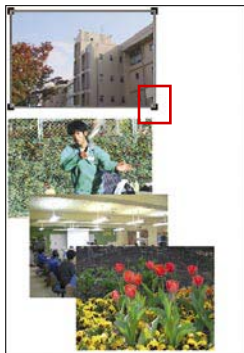
2 [OK]をクリックすると、写真がキャンバスに取り込まれます。



# 第1章

## 34 学校紹介パンフレットを作ろう

### ▶ 手書きレイアウトに合わせて写真を配置しよう



- 1 写真にカーソルを合わせてクリックをし、写真を選択します。
- 2 写真にカーソルを合わせドラッグすると写真が移動できるので、下書きを見ながら写真を配置します。

写真の周りが線で囲われ、四隅に[■]が表示されます。

### ▶ 写真の大きさや形を変えよう



写真の大きさを調整します。

- 1 写真の四隅に表示されている[■]にカーソルを合わせると、カーソルが矢印に変わります。

写真の内側に向かってドラッグをすると、写真が縮小され、逆に外側に向かってドラッグすると写真が拡大されます。



- 2 コントロールパレットの[切り抜き]から楕円の型をクリックします。

選択している写真が楕円形に切り抜かれます。



残りの切り抜きを行う写真も、同様に切り抜きます。

- 1 切り抜きを行う写真にカーソルを合わせ、クリックし選択します。  
(枠で囲われていることを確認します)
- 2 コントロールパレットの[切り抜き]から型を選択します。

## ▶ 文字を入力しよう

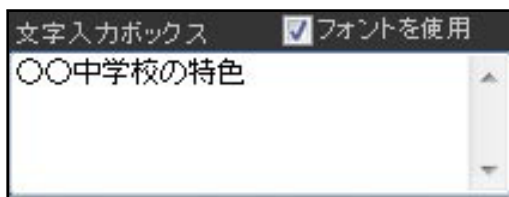
- 1 コントロールパレットの[文字挿入]をクリックします。

コントロールパレットが文字編集画面に切り替わり、キャンバス左上角に[文字列を入力してください]の文章が表示されます。



### パンフレットのタイトルを入力します

- 2 [文字入力ボックス]の文字をキーボードの[Back Space]キーまたは[Delete]キーですべて削除します。文章を画面左上角の[文字入力ボックス]へ文字を入力します。



マウスのカーソルを[文字入力ボックス]に合わせクリックします。カーソルが点滅していることを確認してから文字を入力してください。

ローマ字表記になる場合は、1度文字を削除し、キーボードの[半角/全角]キーを押して日本語入力できるようにします。

- 3 「フォント(フォントの種類)」・「行揃え」などの項目をそれぞれ設定します。

フォントはお使いのパソコンによって種類が異なります。



フォントに[@]のついているタイプは、入力した文字を縦文字にすることができます。

補足

- 4 コントロールパレットの中段に七色のパレットが表示されているので、利用する色の上にカーソルを合わせてクリックをします。



色を選択すると[文字色]の左手の[□]が選択した色に変わります。

### 文字に装飾をして影をつけよう

- 5 効果色を設定します。効果色を設定することで、作成した文字に「背景」・「影」・「縁」をつけることができます。



- 4と同じように色をパレットから選択します。

最初の状態では、「効果色」は「なし」に設定されており効果が適応されていません。プルダウンメニューから効果を選択します。

補足

# 第1章

## 36 学校紹介パンフレットを作ろう

- 6 すべての設定ができたなら、[変更]をクリックします。作成した文字が、画面右手のキャンパスの写真の左上角に表示されます。



### 文字の位置と大きさを変えよう

- 7 作成した文字にカーソルを合わせドラッグをすると、文字の位置を移動することができます。



また、選択されている文字の四隅の[■]にカーソルを合わせドラッグすると、文字の大きさを調整することができます。

### 金属タイプの文字を入力しよう



- 1 [文字挿入]をクリックします。

キャンパスに[文字列を入力してください]と表示されます。  
画面左上角の[文字入力ボックス]の文字をすべて削除します。

必ず文字入力ボックスを一度クリックして、カーソルが点滅していることを確認してから文字の削除を行ってください。



- 2 「フォント(フォントの種類)」を選択します。

- 3 文字色のタイプを[金属タイプ]を選択します。



- 4 [金属パレット]から使用する金属タイプを選択します。



5 [エッジ]のタイプを選択します。



**エッジとは・・・**

文字の線の「縁」のことです。「エッジ幅」を調整されると、文字の線の縁の部分の広がり変化します。

6 コントロールパレットの[変更]をクリックします。

キャンパスの文字が設定した金属タイプの文字に変わります。

文字の位置と大きさを調整します。

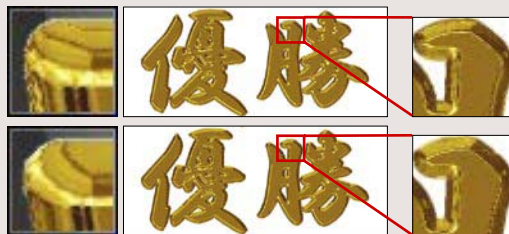
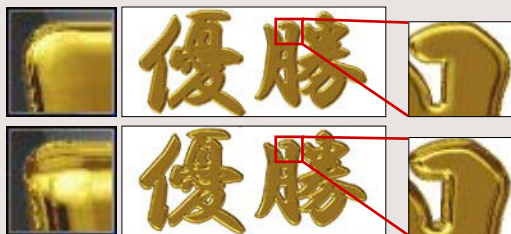
7 文字の選択枠の中にカーソルを合わせると、カーソルが矢印から[↕]に変わります。



ドラッグをすると、文字の位置が移動できます。

また、文字の範囲枠上の四角を左ドラッグすると、文字の大きさを調節することができます。

金属文字の4タイプ



授業風景や特別活動の様子を掲載します。



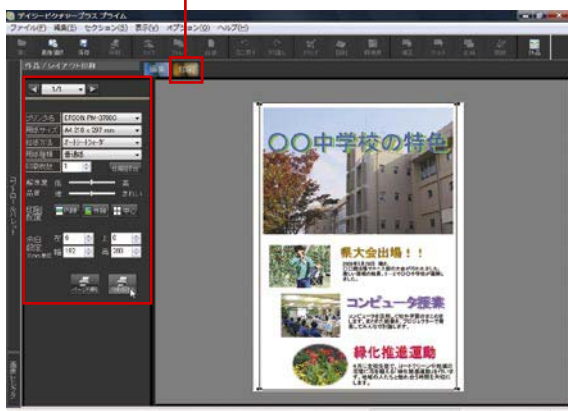
書体を変えたり、文章を改行し体裁を整えると見やすいパンフレットが作成できます。

サブタイトルで[コンピュータ授業]や[緑化推進運動]などを入力し配置します。

写真についての説明文をサブタイトルの下に入力して掲載します。

## ▶ 印刷をしよう

1 タブの[印刷]をクリックします。



用紙サイズを変更した場合は、キャンパス上の印刷イメージが変更されます。

6 用紙の向きは[印刷設定]をクリックし、お使いのプリンタの[プロパティ]から設定をしてください。

プリンタのプロパティの設定につきましては、ご利用のプリンタの取扱説明書をご覧ください。

2 印刷画面が表示されます。

3 [プリンタ名]を設定します。[▼]をクリックすると、お使いのパソコンに接続されているプリンタが表示されます。この中から使用するプリンタを選択します。  
変更しない場合は、設定をする必要はありません。

4 [用紙サイズ]を設定します。[▼]をクリックし、用紙のサイズを選択します。  
ここでは[A4]サイズに設定します。

5 [給紙方法]、[用紙種類]は任意の設定を行います。

横型のパンフレットを作成する場合は・・・

- ① [レイアウトの設定]ウィンドウの[プリンタ用紙で指定]にチェックを付けます。  
プリンタの[プロパティ]で用紙の向きを[横]に設定してください。
- ② [OK]をクリックします。

補足



7 印刷の配置は[内接]をクリックし、用紙に作品がすべて収まるようにしてください。

8 [印刷開始]をクリックし、[はい]を選択すると印刷が開始されます。

## ▶ 保存をしよう



1 ツールバーの[保存]をクリックします。

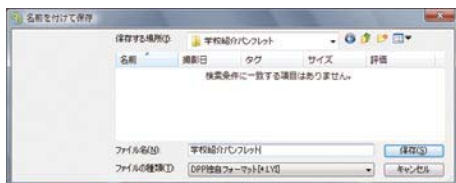
2 [名前を付けて保存]ウインドウが表示されます。

3 [保存する場所]の[▼]をクリックすると、保存先が選択できるので任意の保存先を設定してください。

4 [ファイル名]はこの作品の任意のファイル名をつけてください。

5 [ファイルの種類]はカレンダーの拡張子の場合、[\*.\*LYI]で保存できるのでそのままにします。

6 [保存]をクリックするとパンフレットの保存が完了します。



# 暑中お見舞いを作ろう

テンプレートに合わせて暑中お見舞いや年賀状など様々なはがきを作成することができます。

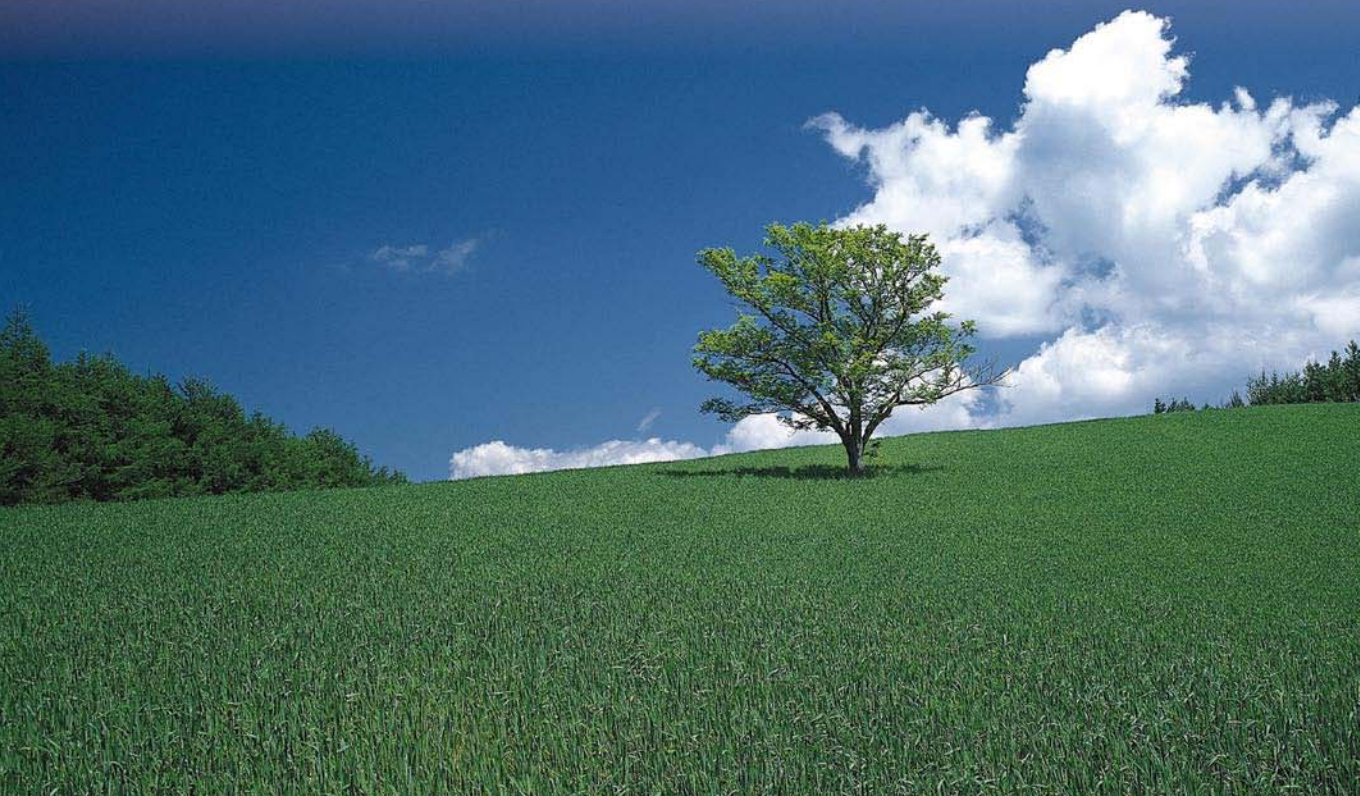
先生や友達に出す暑中お見舞いや年賀状を作成することができます。



## ●事前準備する資料

- 暑中お見舞いに掲載する写真
- 掲載文章を考えてまとめた資料

暑中お見舞いに掲載する項目を考え、イメージをまとめます。

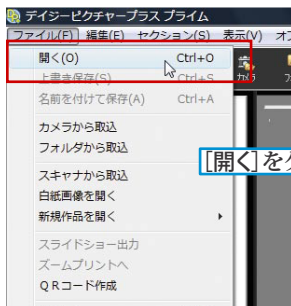


# 第1章

## 40 暑中お見舞いを作ろう

### ▶ 写真をファイルから取り込もう

1 メニューバーの[ファイル(F)]から[開く]を選択します。



2 使用する写真のファイル名をクリックして、[開く]を選択します。

### ▶ 写真を加工しよう！ ～スタンプを押そう～

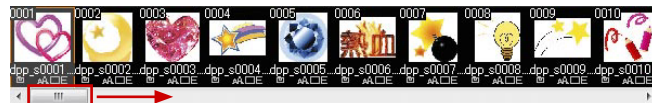
1 ツールバーの[装飾]をクリックします。



2 装飾セクション画面が表示されるので、[スタンプ]をクリックします。



3 スタンプセクションが表示され、収録されているスタンプの種類が[画像セレクト]に表示されます。



スクロールバーを横にスクロールすると他の種類が表示されます。

- 4 [画像セレクタ]から、使用するスタンプのサムネイルを選択すると画面左上角のプレビューに選択したスタンプが表示されます。



プレビューの左右四隅の(□)にカーソルを合わせドラッグすることで、大きさを調節してください。  
プレビューの下の[大]・[中]・[小]のいずれかをクリックし、スタンプの大きさを調節することもできます。

- 5 大きさが調整できたら、画面右手のキャンバスの画面上にカーソルを合わせます。カーソルがスタンプになります。

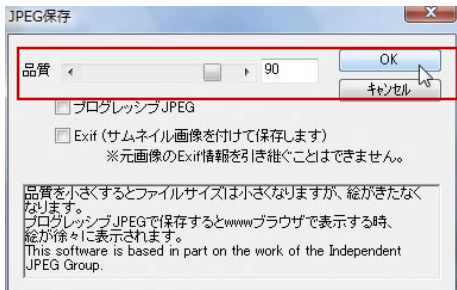


- 6 クリックをするとスタンプが押せます。  
好きな場所にスタンプを押します。

## ▶ 加工した写真を保存しよう



- 1 ツールバーの[保存]をクリックします。
- 2 [名前を付けて保存]ウインドウが表示されます。
- 3 [保存する場所]の[▼]をクリックすると、保存先が選択できるので任意の保存先を設定してください。
- 4 [ファイル名]はこの作品の任意のファイル名をつけてください。
- 5 [ファイルの種類]は[JPEG(\*.jpg)]を選択します。  
保存形式についての解説は149ページの「保存形式一覧表」をご覧ください。
- 6 [保存]をクリックします。



- 7 [JPEG保存]ウインドウが表示されます。  
品質の数値はこのまま[90]に設定します。[OK]をクリックします。

補足

写真に文字を入力した場合は、品質の数値は[90]以上で保存をしてください。  
文字入力時は品質の数値を[90]以上に設定しないと、保存後に文字がギザギザになります。

# 第1章

## 42 暑中お見舞いを作ろう

### ▶ テンプレートを決めよう



1 ツールバーの[作品]をクリックします。



2 【作品セクション】画面が表示されます。



3 テンプレートを選択し、[OK]をクリックします。



### ▶ 写真を差し替えよう



1 画面右手の写真部分をクリックします。

コントロールパレットが切り替わります。



- 2 [画像差替]をクリックします。[選択] ウィンドウが表示されるので、暑中お見舞いに掲載する写真を選択して[OK]をクリックします。



### 写真の大きさが合わない場合



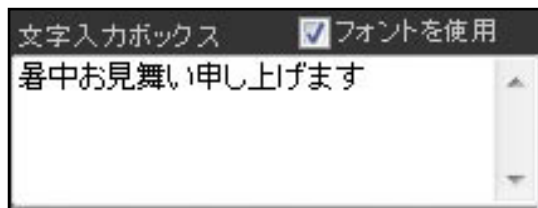
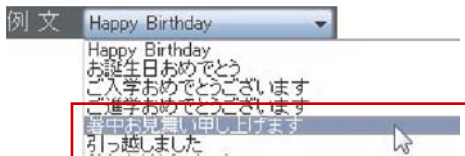
- 1 写真が選択された状態(写真の四隅に[■]が表示されている)を確認します。選択されていなければ、大きさを変える写真をクリックします。
- 2 写真の四隅の[■]にカーソルを合わせます。カーソルが斜めの矢印に変わります。この状態でドラッグすると写真の大きさが変わります。写真にカーソルを合わせ、ドラッグをすると写真の位置を移動できます。

### ▶ 文字を入力しよう

あらかじめテンプレートで文字が配置されているので、その文字を「変更」して入力する方法をご案内します。

#### 裏面の文章を作ろう ～ [例文] を使って文字を入力～

- 1 画面右手の写真から変更する文字(おげんきですか?)をクリックして選択します。
- 2 画面左上角の[文字入力ボックス]の文字をすべて削除します。  
必ず文字入力ボックスを一度クリックして、カーソルが点滅していることを確認してから文字の削除を行ってください。
- 3 [例文]の右手にある[▼]のプルダウンメニューをクリックします。例文が表示されるので、使用する文章を選択します。



# 第1章

## 44 暑中お見舞いを作ろう



4 文章が確定したら、「フォント(フォントの種類)」を設定します。

フォントはお使いのパソコンによって種類が異なります。

5 [ノーマル]をクリックし、文字タイプのモードを変更します。



6 コントロールパレットの中段に七色のパレットが表示されているので、利用する色の上にカーソルを合わせてクリックをします。



色を選択すると[文字色]の左の[□]が選択した色に変わります。

### 文字に縁をつけよう

1 効果色を設定します。

効果色を設定することで、作成した文字に「背景」・「影」・「縁」をつけることができます。



補足

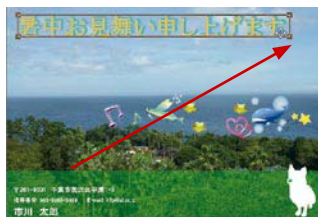
最初の状態では、「効果色」は「なし」に設定されており効果が適応されていません。プルダウンメニューから効果を選択します。

2 [パレット]から使用する色を選択します。

3 すべての設定ができたら、[変更]をクリックします。

作成した文字が、画面右手のキャンバスの写真の左上角に表示されます。

### 文字の位置と大きさを変えよう



1 作成された文字にカーソルを合わせドラッグをすると、文字の位置を移動することができます。

また、選択されている文字の四隅の[■]にカーソルを合わせドラッグすると、文字の大きさを調整することができます。

写真に文字が納まるように調整します。

文字の四隅の[■]にカーソルが合わない場合はコントロールパレットの[倍率]をエディットコントロールで設定します。

エディットコントロール  
半角数字で数値を設定することにより、効果を調節します。  
スピンコントロール  
[▲]ボタン・[▼]ボタンを操作することにより、効果を調節します。

補足

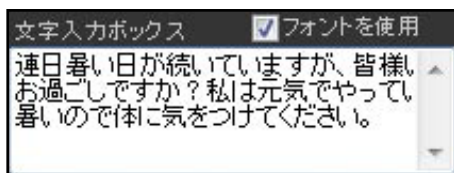
## 裏面の文章を作ろう ～ [例文] を使って文字を入力～



1 [文字挿入]をクリックします。  
画面右手の写真に[文字を入力してください]と表示されます。

2 [文字入力ボックス]に文字を入力します。  
文字入力ボックスの文字を削除します。

マウスのカーソルを[文字入力ボックス]に合わせクリックします。  
カーソルが点滅していることを確認してから文字の削除をしてください。



ローマ字表記になる場合は、1度文字を削除し、キーボードの  
[半角/全角]キーを押して日本語入力できるようにします。



3 [変更]をクリックすると作成した文字が、画面右手のキャンバスの写真の左上角に表示されるので、ドラッグして移動します。

## 補足

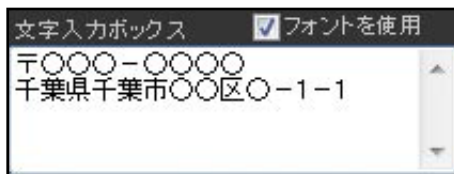
文字や設定内容を変更する場合は、内容を再設定してから、[変更]をクリックします。

## 住所を入力しよう



1 画面右手から変更する文字(住所)をクリックして選択します。

2 画面左上角の[文字入力ボックス]の文字をすべて削除します。  
そして、入力する文字を[文字入力ボックス]へ入力します。



3 設定ができれば、[変更]をクリックします。



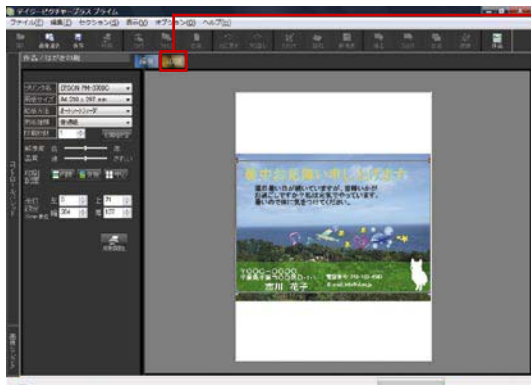
4 入力された文字の大きさ・配置を調整します。

その他、電話番号やE-mail、名前などは上記の方法で入力します。  
新しい文字を掲載する場合は、[文字挿入]をクリックし2～4の作業を繰り返します。

# 第1章

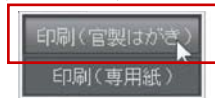
## 46 暑中お見舞いを作ろう

### ▶ 印刷をしよう



1 タブの [印刷] をクリックし、[印刷(官製はがき)]ます。

2 印刷の画面が表示されます。



3 [プリンタ名] を設定します。[▼] をクリックすると、お使いのパソコンに接続されているプリンタが表示されます。この中から使用するプリンタを選択します。

変更しない場合は、設定をする必要はありません。

4 [用紙サイズ] を設定します。[▼] をクリックし、用紙のサイズを選択します。

用紙サイズを変更した場合は、キャンバス上の印刷イメージが変更されます。

5 用紙の向きは [印刷設定] をクリックし、お使いのプリンタの [プロパティ] から設定をしてください。ここでは横向きで印刷を行うので、設定を変更します。

プリンタのプロパティの設定につきましては、ご利用のプリンタの取扱説明書をご覧ください。



6 印刷の配置は [内接] をクリックし、用紙に作品がすべて収まるようにしてください。

7 [印刷開始] をクリックし、[はい] を選択すると印刷が開始されます。

### ▶ 保存をしよう



1 ツールバーの [保存] をクリックします。

2 [名前を付けて保存] ウィンドウが表示されます。



3 [保存する場所] の [▼] をクリックすると、保存先が選択できるので任意の保存先を設定してください。

4 [ファイル名] はこの作品の任意のファイル名をつけてください。

5 [ファイルの種類] はそのままです。はがきの拡張子は [\*.PSD] になります。

6 [保存] をクリックすると作品の保存が完了します。

# 自己紹介名刺を作ろう

20種類のテンプレートが搭載されており、様々な名刺を作成することができます。

友達同士で名刺を交換し合い自己紹介をすることができます。

## ● 事前準備する資料

- 名刺に掲載する写真やイラスト
- 名前、学年、クラス、趣味、得意科目、所属部活動などの情報をまとめる

名刺に掲載する項目を考え、イメージをまとめます。

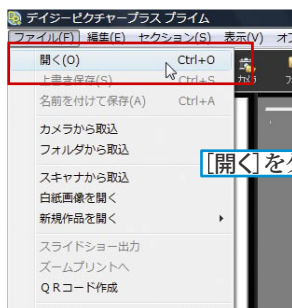


## 第2章

### 48 自己紹介名刺を作ろう

#### ▶ 写真をファイルから取り込もう

1 メニューバーの[ファイル(F)]から[開く]を選択します。



2 使用する写真のファイル名をクリックして、[開く]を選択します。

#### ▶ テンプレートを決めよう

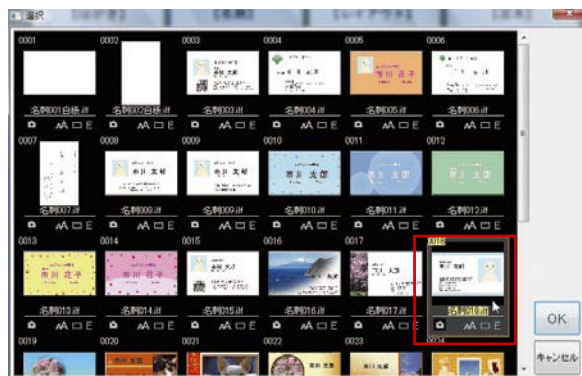


1 ツールバーの[作品]をクリックします。

2 [作品セクション]画面が表示されます。



3 テンプレートを選択し、[OK]をクリックします。

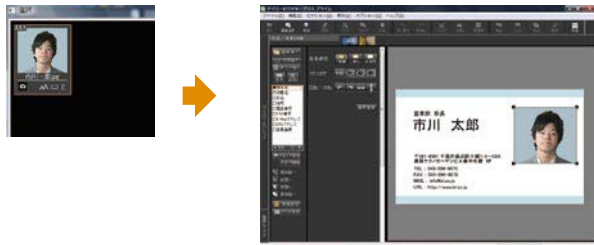


## ▶ 写真を差し替えよう



- 1 [画像差替]をクリックします。[選択]ウインドウが表示されるので、名刺に掲載する写真を選択して[OK]をクリックします。

サムネイルをクリックすると、オレンジ色の枠で囲われます。



この状態でドラッグすると写真の大きさが変わります。

## 写真の大きさが合わない場合

- 1 写真が選択された状態(写真の四隅に[■]が表示されている)を確認します。選択されていない場合は、大きさを変える写真をクリックして選択します。

- 2 写真の四隅の[■]にカーソルを合わせます。カーソルが斜めの矢印に変わります。

写真にカーソルを合わせ、ドラッグをすると写真の位置を移動できます。

## ▶ 文字を入力しよう

あらかじめテンプレートで文字が配置してあるので、その文字を「変更」する入力方法でご案内します。

## 名前を変更します



- 1 画面右手から変更する文字(市川 太郎)をクリックして選択します。

- 2 画面左上角の[文字入力ボックス]の文字をすべて消します。

入力する文字を[文字入力ボックス]へ入力します。



必ず文字入力ボックスを一度クリックして、カーソルが点滅していることを確認してから文字の入力を行ってください。

## 第2章

### 50 自己紹介名刺を作ろう

3 設定ができれば、[変更]をクリックします。



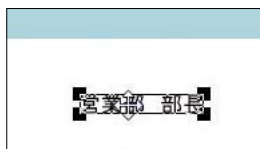
4 文字にカーソルを合わせドラッグをすると、文字の位置が移動できます。

また、選択されている文字の四隅の[■]をドラッグすると、文字の大きさを調整することができます。

文字の四隅の[■]にカーソルが合わない場合はコントロールパレットの[倍率]をエディットコントロールで設定します。

#### クラスを入力します

1 画面右手から変更する文字(営業部 部長)をクリックして選択します。



2 画面左上角の[文字入力ボックス]の文字をすべて削除します。入力する文字を[文字入力ボックス]へ入力します。



3 設定ができれば、[変更]をクリックします。

4 入力された文字の大きさ・配置を調整します。



#### まとめ

上記の方法で、【所属部活動】・【得意科目】など自己紹介名刺に必要な項目を入力します。

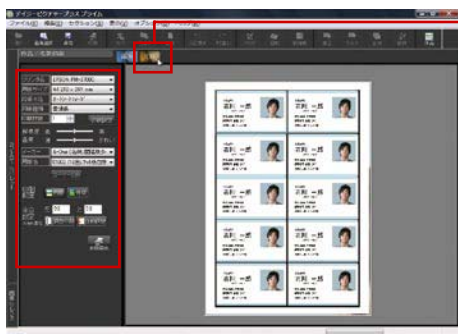
新しい文字を追加する場合は、[文字挿入]をクリックし②～④の工程を行います。

[文字挿入]をクリックすると、画面右手の写真に[文字列を入力してください]と表示されますが、②～③の操作後に[変更]をクリックすると、編集した文字が表示されます。

文字枠を削除する場合は、削除をする文字をクリックして選択し、コントロールパレットの[削除]をクリックします。ウインドウが表示されるので、[はい]をクリックします。



## ▶ 印刷をしよう



1 タブの [印刷] をクリックします。

2 印刷の画面が表示されます。

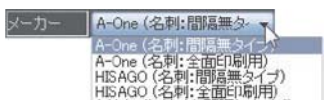
3 [プリンタ名] を設定します。[▼] をクリックすると、お使いのパソコンに接続されているプリンタが表示されます。この中から使用するプリンタを選択します。

4 [用紙サイズ] を設定します。[▼] をクリックし、用紙のサイズを選択します。

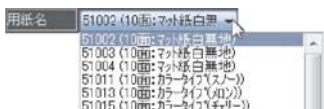
ここでは、設定の変更は必要ありません。

5 [給紙方法]、[用紙種類] は任意の設定を行います。

6 [メーカー] はこれから使用する名刺用紙のメーカーを設定する部分です。[▼] をクリックすると、メーカー名が表示されます。この中から対象のメーカーを選択します。



7 [用紙名] を設定します。6で設定したメーカーの対応している用紙の型番が表示されるので、対象の型番の用紙を選択します。



8 用紙の向きは [印刷設定] ボタンをクリックし、お使いのプリンタの [プロパティ] から設定をしてください。ここでは縦で印刷を行うので、そのままにします。

プリンタのプロパティの設定につきましては、ご利用のプリンタの取扱説明書をご覧ください。



9 印刷の配置は [内接] をクリックし、用紙に作品がすべて収まるようにしてください。

用紙サイズを変更した場合は、キャンパス上の印刷イメージが変更されます。

10 [印刷開始] をクリックし、[はい] を選択すると印刷が開始されます。

補定

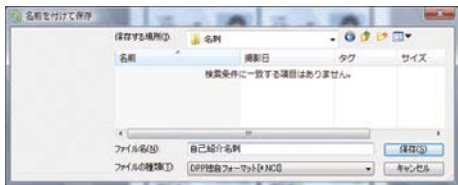
#### 内接とは・・・

設定された用紙に対して、画像が用紙からはみ出さないように、縦または横の辺の内、どちらか長い辺を基準として画像を自動的に配置します。なお、画像と用紙の縦横の比率が異なる場合には、基準とした辺に対してもう一方に余白が発生することがあります。

#### 外接とは・・・

設定された用紙に対して、余白が発生しないように、縦または横の辺の内、どちらか短い辺を基準として画像を自動的に配置します。なお、画像と用紙の縦横の比率が異なる場合には、基準とした辺に対してもう一方は印刷領域を超えて配置するため、一方の画像の端が切れた状態になることがあります。

#### ▶ 保存をしよう



- 1 ツールバーの[保存]をクリックします。
- 2 [名前を付けて保存]ウインドウが表示されます。
- 3 [保存する場所]の[▼]をクリックすると、保存先が選択できるので任意の保存先を設定してください。
- 4 [ファイル名]はこの作品の任意のファイル名をつけてください。ファイル名は[自己紹介名刺]とつけます。
- 5 [ファイルの種類]はそのままです。名刺の拡張子は[\* .NCI]になります。
- 6 [保存]をクリックすると作品の保存が完了します。

補足

名刺の文字が欠けて印刷される場合は・・・  
コントロールパレットの[品質]を[きれい]へスライドさせてください。



# ホームページに掲載する写真を加工しよう

学校のホームページに掲載する写真を作成することができます。調べ学習の結果や学校行事の写真を掲載することで学習内容や学校生活を地域に紹介することができます。

## ● 事前準備する資料

- ホームページに掲載する写真

ホームページに掲載する内容に合った写真の加工イメージを考えます。

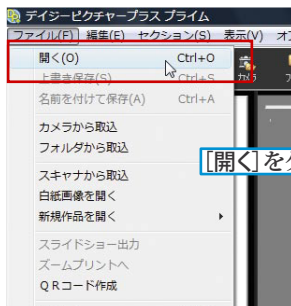


## 第2章

### 54 ホームページに掲載する写真を加工しよう

#### ▶ 写真をファイルから取り込もう

1 メニューバーの[ファイル(F)]から[開く]を選択します。



2 使用する写真のファイル名をクリックして、[開く]を選択します。

#### ▶ 暗い写真を明るくしよう



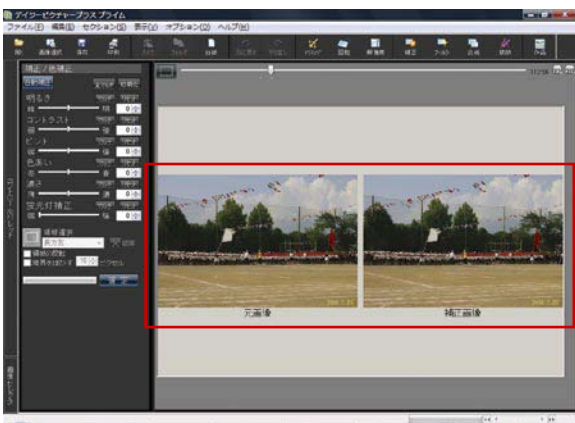
1 ツールバーの[補正]をクリックします。



2 [セクション選択画面]が表示されます。



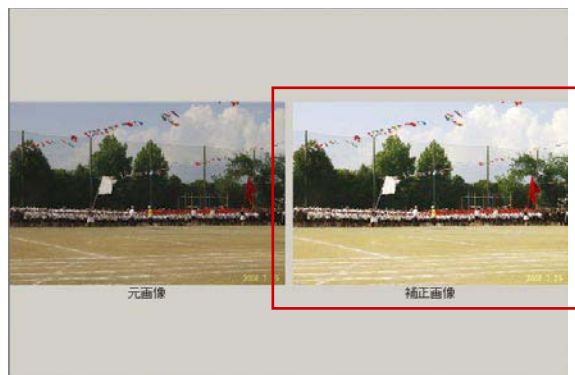
3 画像の総合的な色補正を行う色補正セクションへ移動します。



色補正セクションへ移動した直後は、ここで操作した画像の状態を比較できるように[元画像]と[補正画像]が並んで表示されます。

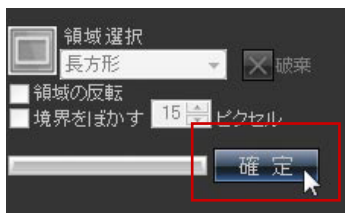


4 [自動補正]をクリックします。



5 [補正画像]に、自動補正を実行した状態が反映されます。

6 [確定]をクリックすると、自動補正を実行します。



設定した補正内容が確定すると「元画像」にその内容が反映され、「元画像」と「補正画像」は同じ状態になります。

## 補正

### 自動補正機能について

[デジピクチャープラス プライム]には、画像の被写体を認識し、画像の色素や明るさなどの傾向から、自動的に被写体が最も美しく見える補正值を算出して、算出した補正值に補正を実行する「IR (Image Recognition) 補正」機能が実装されています。「自動補正」ボタンをクリックすると、その時点で選択されている画像にこの「IR自動補正」機能を反映させます。

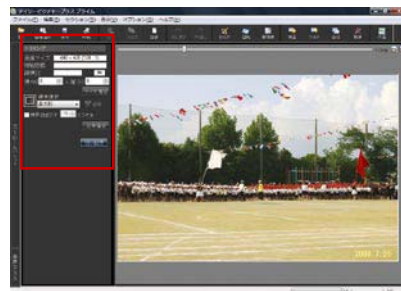
#### ※自動補正の注意点

「自動補正」を選択した際に、「自動補正する必要のない画像のようです。」というメッセージが表示される場合があります。これは選択されている画像が、すでに最適な明るさであることを示しているため、[OK]をクリックします。

## ▶ 写真の形を変えてみよう



1 ツールバーの[トリミング]をクリックします。  
[トリミング]セクション画面に切り替わります。



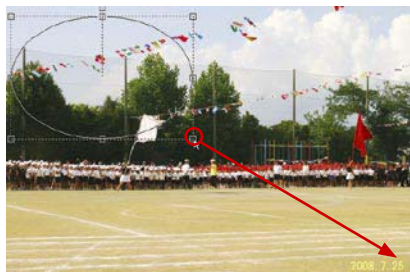
## 第2章

### 56 ホームページに掲載する写真を加工しよう

2 [領域選択] をクリックします。



3 [領域選択] ウィンドウが表示されます。利用する領域選択をクリックして選択します。  
楕円形に切り抜くので [楕円] を選択します。



4 写真の左上から右下に向かってドラッグをすると、灰色の線が表示され、選択した領域選択の型が表示されます。

切り抜きたい範囲が型の中に収まるようにドラッグをします。

マウスのボタンを離すと、灰色の線から緑色の点線に変わり型が確定します。領域選択枠内にカーソルを合わせドラッグをすると型の配置が変更できます。

領域選択枠の位置と大きさの調節方法はマニュアル23ページを参照ください。

5 [境界をぼかす] の左手に表示されている「」をクリックして、チェックマークを付けて有効にします。

6 境界をぼかす際に、エディットコントロールまたはスピンコントロールで、ぼかしの掛ける範囲の幅を設定することができます。



ぼかしの幅は [25] に設定します。

ぼかしの数値は最小は [0] から、最大は [30] までとなっています。



7 [切り抜き] をクリックすると、切り抜きを実行します。

補定

エディットコントロール

半角数字で数値を設定することにより、効果を調節します。

スピンコントロール

[▲] ボタン・[▼] ボタンを操作することにより、効果を調節します。

## ▶ 写真のファイル容量を小さくしよう

- 1 ツールバーの[解像度]をクリックします。

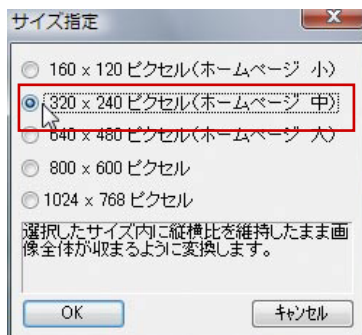
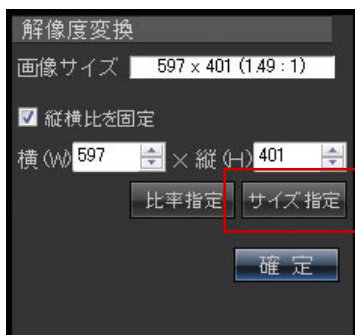


- 2 画像の容量(サイズ)を変更する解像度変換セクションへ移動します。

- 3 [サイズ指定]を選択します。  
[サイズ指定]ウインドウが表示されます。

- 4 ホームページ用の大きさの写真に加工するので、[320×240]に設定します。  
[○]にチェックをつけ、[OK]をクリックします。

画像サイズについては149ページの「用途別解像度一覧表」をご覧ください。



- 5 [確定]をクリックすると、写真の大きさが変換され実寸サイズになって表示されます。

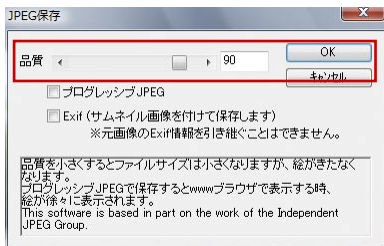
## ▶ 保存をしよう



- 1 ツールバーの[保存]をクリックします。
- 2 [名前を付けて保存]ウインドウが表示されます。
- 3 [保存する場所]の[▼]をクリックすると、保存先が選択できるので任意の保存先を設定してください。
- 4 [ファイル名]はこの作品の任意のファイル名をつけてください。
- 5 [ファイルの種類]は[JPEG(\*.jpg)]を選択します。

保存形式についての解説は149ページの「保存形式一覧表」をご覧ください。

- 6 [保存]をクリックします。
- 7 [JPEG保存]ウインドウが表示されます。  
品質の数値はそのまま[90]に設定します。[OK]をクリックします。



ホームページに掲載する写真のファイル名は、小文字の半角英数字(1バイト)でつけます。ひらがなもしくは漢字で名前をつけるとページが開かないからです。サーバによっては大文字で名前をつけてページを開こうとすると開かない場合があるので小文字の半角英数字で保存するようにしてください。

# 思い出のミニ卒業アルバムを作ろう

複数の写真に装飾を行い1冊のミニアルバムを作成することができます。

学校生活の記録をミニアルバムにすることができます。部活動紹介や学校の特色の紹介、郊外学習のまとめ、1年間のまとめとしても活用できます。

### ● 事前準備する資料

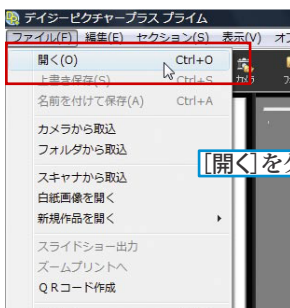
- アルバムに掲載する写真(12枚)  
(写真は必ず1つのフォルダにまとめて保存して用意してください)
- のり、はさみ

アルバムに掲載する写真を用意し、ページのレイアウトを考えます。



## ▶ 写真をファイルから取り込もう

1 メニューバーの[ファイル(F)]から[開く]を選択します。



2 使用する写真のファイル名をクリックして、[開く]を選択します。

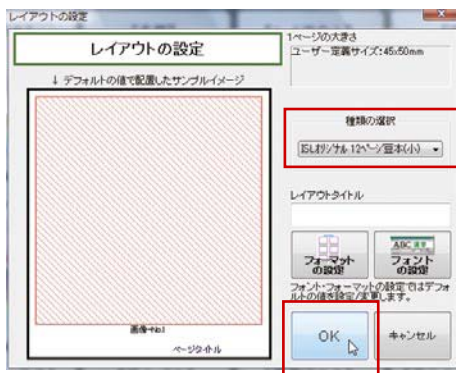
## ▶ テンプレートを決めよう



1 ツールバーの[作品]をクリックします。



2 [作品セクション]画面が表示されます。



3 [レイアウトの設定] ウィンドウが表示されます。  
[種類の選択]の[ISLオリジナル12ページ豆本(小)]を選択します。



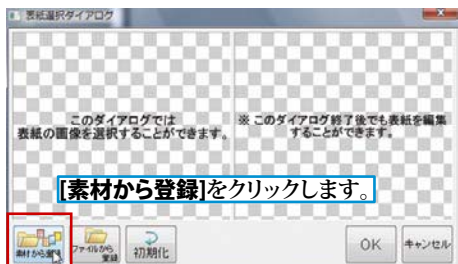
4 [OK]をクリックします。

## 第2章

### 60 思い出のミニ卒業アルバムを作ろう

#### ▶ 表紙を選択しよう

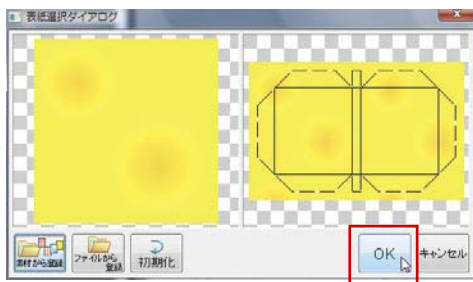
1 [表紙選択ダイアログ] ウィンドウが表示されます。



2 表紙は[素材から登録]と[ファイルから登録]から選択できます。ここでは、デ이지ーピクチャープラス プライムに収録されている素材から表紙を選択します。

3 [選択] ウィンドウが表示されるので、使用する素材を選んでクリックをします。画像が選択されるとサムネイルがオレンジ色の枠で囲われます。

4 [OK] をクリックすると [表紙選択ダイアログ] に、3 で選択した表紙素材が適応された状態で表示されます。



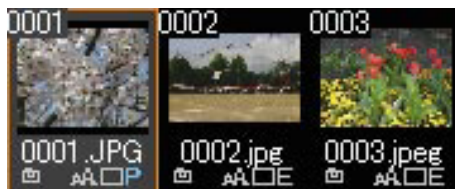
5 [OK] をクリックします。

#### ▶ 写真を順番通り挿入しよう



1 [画像一括ページ登録ダイアログ] ウィンドウが表示されます。

2 [画像セレクタ] に写真のサムネイルが表示されるので、1ページ目に掲載する写真を選択します。選択すると写真がオレンジ色の枠で囲われます。



- 3 写真をドラッグし、[ページ1]と表示されている部分へドラッグ&ドロップをします。



ドラッグ&ドロップとは・・・

マウスの左ボタンを押したまま、目的の場所まで引きずるように移動し、左ボタンを離します。

補足

- 4 2ページ以降も2～3と同じ工程を行い12ページ分の写真を登録します。

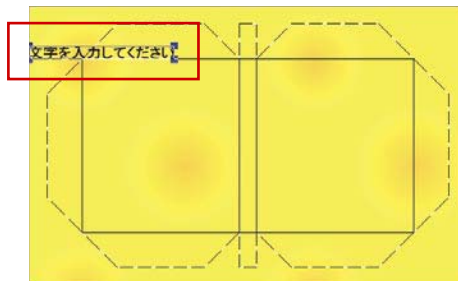
- 5 [OK]をクリックします。

## ▶ 表紙を編集して文字を入力しよう

- 1 コントロールパレットの[文字挿入]をクリックします。



画面右手のキャンバスに「文字を入力してください」と表示されます。



- 2 画面左上角の[文字入力ボックス]に文章を入力します。



[文字入力ボックス]の文字をすべて消します。  
入力する文字を[文字入力ボックス]へ入力します。

必ず文字入力ボックスを一度クリックして、カーソルが点滅していることを確認してから文字の入力を行っています。

- 3 文章を入力したら、「フォント(フォントの種類)」を設定します。



フォントはお使いのパソコンによって種類が異なります。

## 第2章

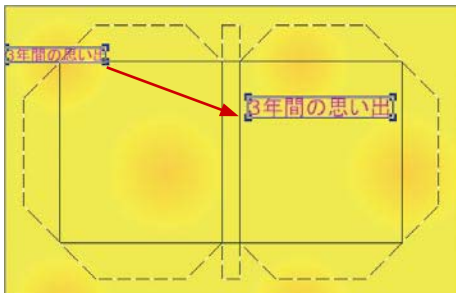
### 62 思い出のミニ卒業アルバムを作ろう

- 4 七色のパレットがコントロールパレットの中段に表示されているので、利用する色の上にカーソルを合わせてクリックをします。



- 5 設定ができれば、[変更] をクリックします。  
作成された文字が、画面右手のキャンバスの画像の左上角に表示されます。

#### ▶ 文字の大きさを変えて配置しよう

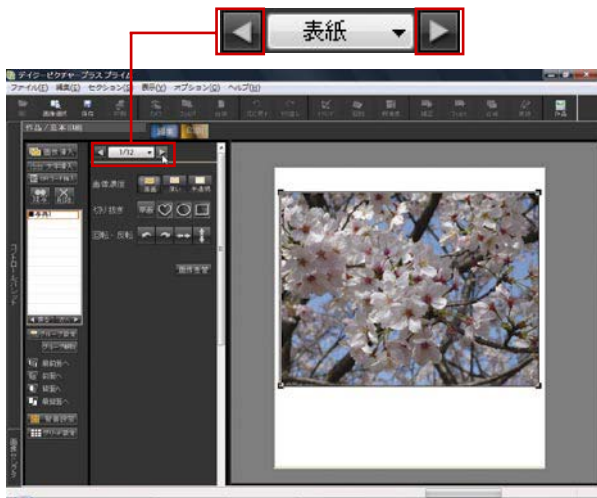


体裁良く配置します。

- 1 文字の四隅に表示されている[■]にカーソルを合わせ、文字の内側に向かってドラッグをすると、文字が縮小されます。逆に、外側に向かってドラッグすると文字が拡大されます。
- 2 文字にカーソルを合わせドラッグすると、文字を移動することができます。

#### ▶ 本体を編集してみよう

- 1 コントロールパレットの上部には左図のようなボタンがあります。  
次のページを編集する場合は[▶]をクリックし、ページを戻す場合は[◀]をクリックします。



豆本の本体の編集ページへ移ります。▶

## ▶ 写真の大きさ、形を変えよう



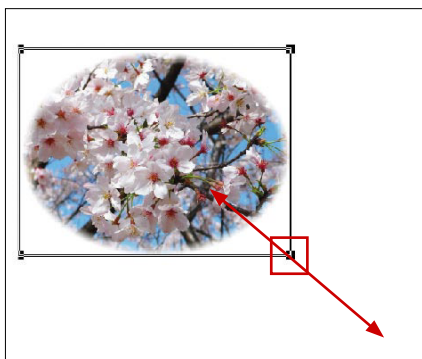
1 豆本の本体の編集画面が表示されます。

2 コントロールパレットの[切り抜き]から楕円形を選択し、写真の形を変えます。

用途に合った型で、写真を切り抜きます。



3 写真の四隅に表示されている[■]にカーソルを合わせ、写真の内側に向かってドラッグをすると、写真が縮小され、外側に向かってドラッグをすると写真が拡大されます。



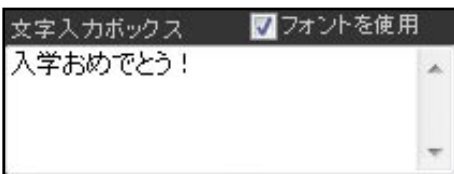
## ▶ 文字を入力しよう

1 コントロールパレットの[文字挿入]をクリックします。



画面右手のキャンバスの左上角に[文字列を入力してください]と表示されます。

2 画面左上角の[文字入力ボックス]に文章を入力します。



[文字入力ボックス]の文字をすべて消します。

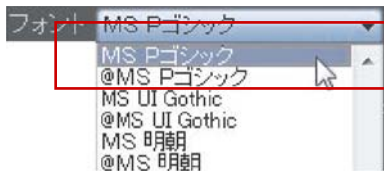
入力する文字を[文字入力ボックス]へ入力します。

必ず文字入力ボックスを一度クリックして、カーソルが点滅していることを確認してから文字の入力を行っています。

## 第2章

### 64 思い出のミニ卒業アルバムを作ろう

- 3 文章を入力したら、「フォント(フォントの種類)」を設定します。



フォントはお使いのパソコンによって種類が異なります。

- 4 七色のパレットがコントロールパレットの中段に表示されているので、利用する色の上にカーソルを合わせてクリックをします。



- 5 効果色を設定します。効果色を設定することで、作成した文字に「背景」・「影」・「縁」を付けることができます。



- 6 すべての設定ができたなら、[変更]をクリックします。

作成された文字が、画面右手のキャンバスの画像の左上角に表示されます。



- 7 文字を移動し、体裁を整えます。

キャンバス上の文字にカーソルを合わせてクリックすると、四隅に[■]が表示されます。

- 8 [■]にカーソルを合わせドラッグすると、文字の大きさを変えることができます。

カーソルを文字の上に合わせドラッグすると、文字の位置を変えることができるので、体裁を整えます。

#### まとめ

文字を追加で入力する場合は1~3の工程を行います。最後に体裁を整えバランスよく仕上げます。

## ▶ 次のページへ進もう



- 1 コントロールパレットの上部に左図のボタンがあります。次のページを編集する場合は[▶]をクリックし、ページを戻す場合は[◀]をクリックします。



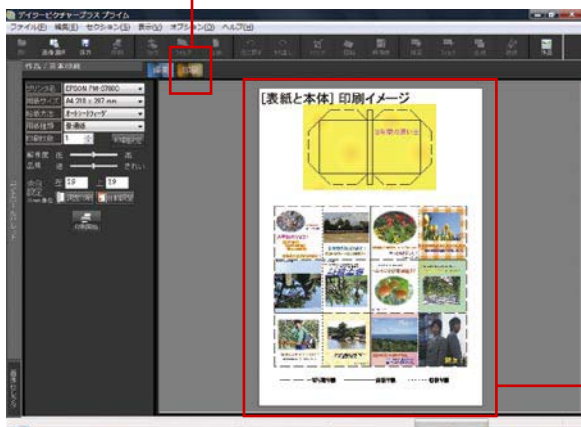
文字を入力する[文字挿入]や写真の形を変える[切り抜き]を行い12ページ分を作成します。

### POINT!

写真を挿入しないで文字だけのページを作ることも可能なので、「ミニ卒業文集」を作成することもできます。

## ▶ 印刷プレビューで作品を確認して印刷をしよう

- 1 タブの[印刷]をクリックします。



- 2 [プリンタ名]を設定します。[▼]をクリックすると、お使いのパソコンに接続されているプリンタが表示されます。この中から使用するプリンタを選択します。  
変更しない場合は、設定をする必要はありません。
- 3 [用紙サイズ]を設定します。[▼]をクリックし、用紙のサイズを選択します。

印刷の画面が表示され、  
豆本の展開図を見る事が  
できます。

- 4 [給紙方法]、[用紙種類]は任意の設定を行います。
- 5 用紙の向きは[印刷設定]をクリックし、お使いのプリンタの[プロパティ]から設定をしてください。
- 6 [印刷開始]をクリックし、[はい]を選択すると印刷が開始されます。

### ▶ 保存をしよう



- 1 ツールバーの [保存] をクリックします。
- 2 [名前を付けて保存] ウィンドウが表示されます。
- 3 [保存する場所] の [▼] をクリックすると、保存先が選択できるので任意の保存先を設定してください。
- 4 [ファイル名] はこの作品の任意のファイル名をつけてください。ファイル名は [ミニ卒業アルバム] とつけます。
- 5 [ファイルの種類] は豆本の拡張子の場合、「\*.BNI」になります。
- 6 [保存] をクリックすると作品の保存が完了します。

### ▶ 豆本を組み立てよう



- 1 [切り取り線] [山折り線] [谷折り線]を確認します。  
 - - - 切り取り線  
 ——— 山折り線  
 ..... 谷折り線
- 2 はさみで切り取り線を切ります。
- 3 山折り線、谷折り線を順番に折ります。  
 (定規を使って折り目をつけてから折るとききれいに折れます)

詳しい組み立て方は159ページをご覧ください。

# 学校近辺の川を調査して 発表しよう



写真に文字の入力やスタンプなど装飾を行い、スライドショーで発表します。

調べ学習で調査してきた結果を写真に文字を挿入して発表することができます。

## ● 事前準備する資料

- 川などの写真
- 川の水質や現状をまとめたレポート

学校近辺の川へ行き水質や現状を調べたり、近所の人と話聞き、結果をまとめます。発表資料のイメージ図を作成します。

写真取込用フォルダと資料保存用フォルダの2つのフォルダを用意します。

保存場所として新しいフォルダを作成する場合には、画像ソリーでフォルダを作成するドライブなどを指定してから[新しいフォルダの作成]をクリックしてください。

補足



## 第2章

### 68 学校近辺の川を調査して発表しよう

#### ▶ カメラから写真を取り込もう

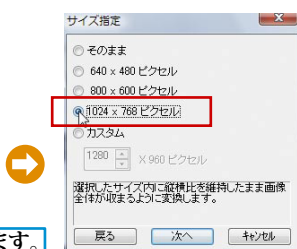
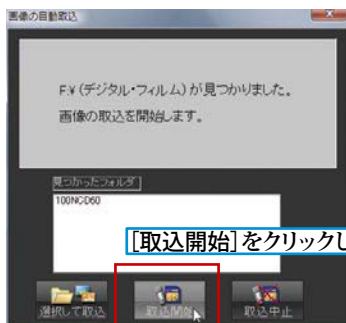
1 デジタルカメラをパソコンに接続して、ツールバーの[カメラ]をクリックします。



2 [画像の自動取込] ウィンドウが表示されます。

3 [サイズ指定] ウィンドウが表示されます。ご利用の用途によって画像のサイズを一括で指定します。

4 [保存フォルダの指定] ウィンドウが表示されます。画像を保存するフォルダを選択し[次へ]をクリックすると、[自動取込中] ウィンドウが表示されます。



[1024x768]にチェックマークを付けます。

数値を入力したら、[次へ]をクリックします。



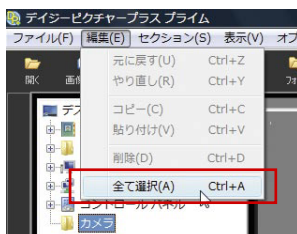
#### カスタムとは

写真の解像度を任意の数値に設定することができます。数値の入力は長辺のみの入力になります。写真の比率は指定したサイズ内に縦横比を維持したまま写真全体が収まるように変換します。

解像度についての解説は149ページの「用途別解像度一覧表」をご覧ください。

#### ▶ 加工する写真を選択しよう

1 ツールバーの[編集]をクリックし、[全て選択(A)]を選択します。

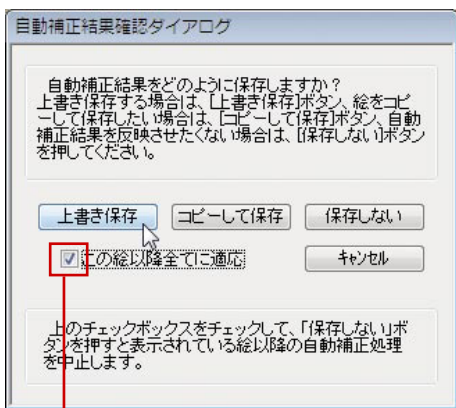


## ▶ 暗い写真を明るくしよう

1 [画像選択] ウィンドウの左下の[自動補正]をクリックします。



2 自動補正の処理が開始され、[自動補正結果確認ダイアログ]が表示されます。



### a. 上書き保存

現在表示されている画像に直接自動補正を実行しています。

### b. コピーして保存

現在表示されている画像のコピー画像を作成し、コピー画像に自動補正を実行します。

### c. 保存しない

現在表示されている画像には処理を実行しないようにします。

### d. キャンセル

自動補正の処理を中止します。

「この絵以降全てに適用」項目の左手に表示されている「□」をクリックして、チェックマークを付けてから、a.~c.までの何れかのボタンをクリックすると、複数の画像を選択している場合、現在表示されている画像以降の全ての画像に選択したボタンの操作を連続して実行します。

3 処理が終了すると、[画像選択] 画面に戻ります。

## ▶ 写真に調査結果のコメントを入れよう ~新規入力方法~

1 画像セレクタからコメントを入力する写真を選択します。



2 ツールバーの[装飾]をクリックします。



3 [セクション選択] 画面が表示されます。



## 【文字】

画像に様々な形状で文字を自由に配置でき、金属調やクリスタル調などの効果で言葉を表現できます



## 第2章

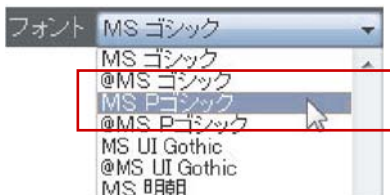
### 70 学校近辺の川を調査して発表しよう

- 4 画面左上角の[文字入力ボックス]へ入力します。



必ず文字入力ボックスを一度クリックして、カーソルが点滅していることを確認してから文字の入力を行ってください。

- 5 「フォント(フォントの種類)」を設定します。

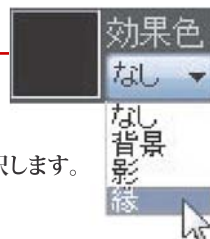


フォントはお使いのパソコンによって種類が異なります。

- 6 七色のパレットがコントロールパレットの中段に表示されているので、利用する色の上にカーソルを合わせてクリックをします。



- 7 効果色を設定します。効果色を設定することで、作成した文字に「背景」・「影」・「縁」をつけることができます。



- 8 パレットから使用する色をクリックして選択します。

- 9 すべての設定ができれば、[新規]をクリックします。

作成された文字が、画面右手のキャンバスの画像の左上角に表示されます。



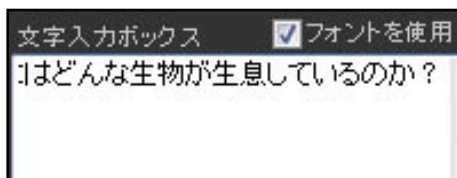
- 10 文字の選択枠の中にカーソルを合わせてドラッグすると、文字の位置が移動できます。

また、文字の四隅の(□)をドラッグすると、文字の大きさを調整することができます。文字の位置と大きさを調整します。



### ▶ 写真に調査結果のコメントを入れよう ～文章の追加方法～

- 1 [文字入力ボックス]の文字をすべて消します。入力する文字を[文字入力ボックス]へ入力します。



必ず文字入力ボックスを一度クリックして、カーソルが点滅していることを確認してから文字の入力を行ってください。

- 2 前工程の7～9の方法で文字設定を行います。

- 3 すべての設定ができれば、[新規]をクリックすると作成された文字が、画面右手のキャンバスの画像の左上角に表示されます。

上記の方法で、写真に対するコメントや調査結果を入力します。

1ページ目は完成です

**水質汚染と生物調査**  
この川にはどんな生物が生息しているのか?  
→釣りを楽しんでいる人に聞いてみた  
ブラックバス、ブルーギルなど  
上流と下流の水質比較  
→パックテストで水分分析をした  
COD(化学的酸素消費量)、NH4(アンモニウムイオン)  
NO2(亜硝酸体窒素)

**水を大切にしよう**  
学校近辺の川を調査  
1年A組8班  
メンバー  
・市川 太郎  
・山田 一郎  
・鈴木 花子  
・池田 陽香  
メンバー  
調査日: 2008年9月10日  
時間: 10:00～12:00

会場の気温から出る蒸気などが川に溶け出しています。そのため、川の水は濁り始めることができます。

**NO2(亜硝酸体窒素)**  
川に油が溜まっており悪臭がして、周りにはコンクリートで固められています。ありませんでした。

原因: 工場排水が流れ出ている  
川の流れが弱い為か、よほどたどろろとあり部分的に富栄養化が起こっていた可能性があります。

**水質調査結果**  
COD: 8mg/L  
NH4: 0.5mg/L  
NO2: 0.12mg/L  
詳しい調査結果の表は資料1-0を見てください

## 第2章

### 72 学校近辺の川を調査して発表しよう

#### ▶ 保存をしよう

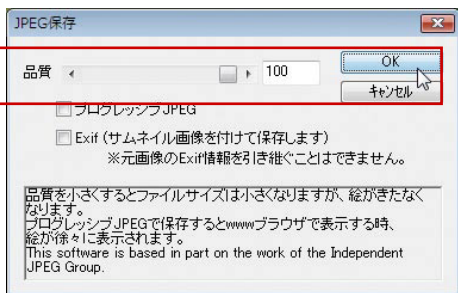


- 1 ツールバーの[保存]をクリックします。
- 2 [名前を付けて保存]のウィンドウが表示されます。
- 3 保存する場所を指定します。



- 4 [ファイル名]に作成した作品のファイルの名前を入力します。作成した資料はスライドショーでファイル名の順番に発表するので、ファイル名の最初に[01]や[02]など番号を振ると並べやすいです。
- 5 作品の保存形式を[ファイルの種類]から選択します。

保存形式についての解説は149ページの「保存形式一覧表」をご覧ください。



- 6 [保存]をクリックします。
- 7 [JPEG保存]ウィンドウが表示されます。品質の数値はスクロールバーをスライドさせて[100]に設定します。

写真に文字を入力した場合は、品質の数値は[90]以上で保存をしてください。文字入力時は品質の数値を[90]以上に設定しないと、保存後に文字がギザギザになります。

補足

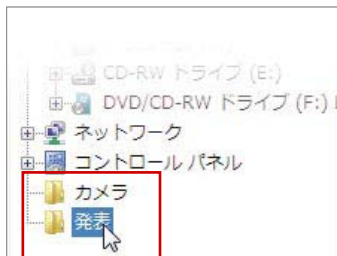
上記操作で、発表に使用する資料を必要枚数を作成して保存します。  
※エクスプローラから[カメラ]フォルダを選択し、加工する写真を選択します。

#### ▶ 作成した資料でスライドショーをしよう

- 1 [画像選択]をクリックします。起動画面に戻ります。



- 2 [エクスプローラ]から[発表]フォルダを選択します。



- 3 画面下段の[画像セレクタ]にフォルダに保存されているデータがサムネイル表示されます。

- 4 [整列]をクリックし、[名前順]をクリックし名前順に並び替えます。



5 [スライドショー]をクリックすると画面全面のスライド表示になります。



6 [スライドショー]をクリックすると画面全面のスライド表示になります。



#### 逆再生

このボタンをクリックする毎に、紙芝居のように、サムネイルに並んでいる順番とは逆に画像が再生されます。

#### 順再生

このボタンをクリックする毎に、紙芝居のように、サムネイルに並んでいる順番通りに画像が再生されます。



#### BGM

音声ファイル「.WAV」を再生することができ、[参照]をクリックすると、音声ファイルを指定することができます。



「.WAV」データは別途で用意ください

#### BGMを聴く

にチェックマークを付けると [自動再生] 時に付加された音声ファイルが再生されます。



[スライドショー] ウィンドウが表示されていないとき・・・

スライド表示されている画面の一部を1度クリックをすると、画面右下に [スライドショー] ウィンドウが表示されます。

# 絵画を描いてみよう

白紙にペンや色鉛筆で絵を描くような感覚で絵が描けます。  
自由に絵を描くことができ、生徒の創造性を十分に引き出した  
作品を作ることができます。

### ●事前準備する資料

特に無し

※被写体を用意または被写体の  
写真などを用意します。



## ▶ 白紙を用意しよう

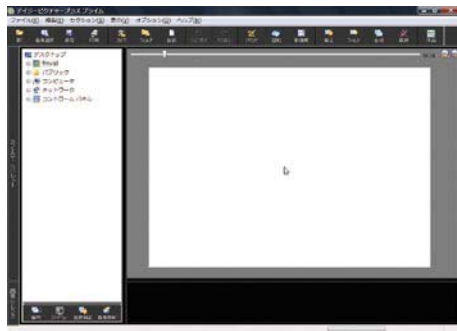
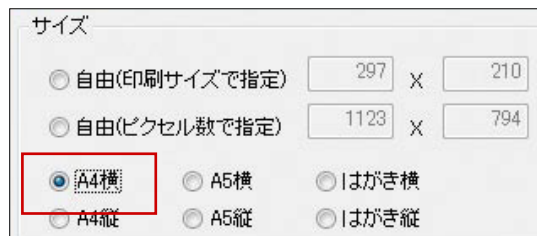
1 ツールバーの[白紙]をクリックします。



2 [サイズ設定] ウィンドウが表示されます。

[A4横]にチェックマークをつけ、[OK] ボタンをクリックします。

3 画面に横向きの白いキャンバスが表示されます。

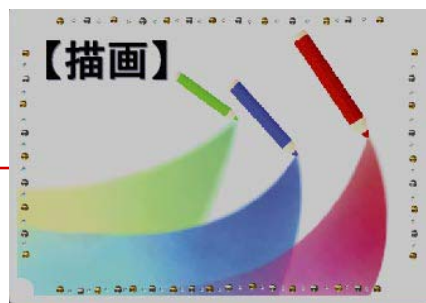


## ▶ ペンの色を選択して絵を描いてみよう

1 ツールバーの[装飾]をクリックします。



2 [セクション選択] 画面が表示されます。



## ▶ 色を作ろう



1 [色相ボックス]を選択します。

## 色相ボックス

オーロラのように表示された色相から、利用する色の部分をマウスで色を選択します。明暗バーを調整することにより同じ部分でも異なった色を設定することができます。「黒」にするときは明暗バーのつまみを「暗(1番下)」にします。



## 第2章

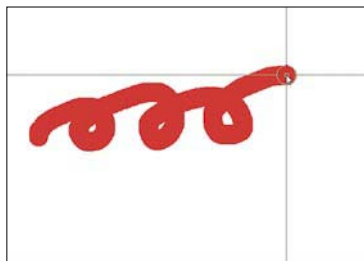
### 76 絵を描いてみよう

2 明暗バーを調整して、紫色を作ります。



「黒」にするときは明暗バーのツマミを「暗(1番下)」にします。

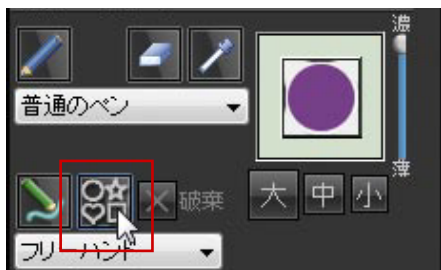
3 色が作れたら、色相ボックスにカーソルを合わせクリックします。[ペンの形状] に選択した色が反映されます。



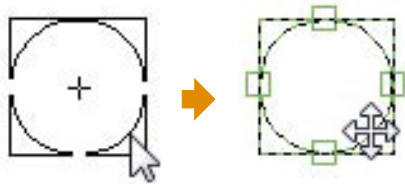
キャンバスにカーソルを合わせ、左ドラッグをすると絵を描くことができます。

描いた絵を消すときは、右ドラッグをすると消しゴムと同様に描いた絵を消すことができます。

### ▶ 領域選択を使って [円] を描こう

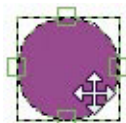


1 [領域選択] をクリックし、[円形] を選択します。

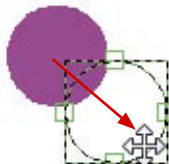


2 キャンバスの中心辺りでドラッグし、ぶどうの粒くらいの大きさの領域を作ります。

3 [塗りつぶし]をクリックすると、領域選択内が塗りつぶされます。



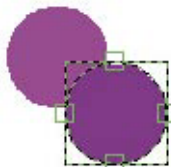
4 領域選択内へカーソルを合わせ、ドラッグをすると[領域]を移動することができるので、3で作成した粒に少しかかるくらいの場所に円の領域を配置します。



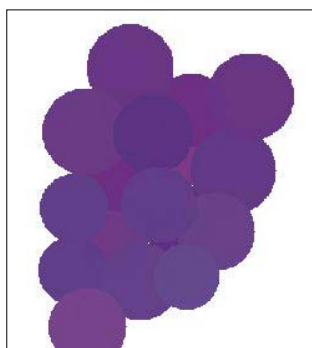
5 パレットから再度、紫色を選択するのですが、先ほどより、若干明るい紫色または暗い紫色を作ります。(粒に光の加減を作るためです)



6 [塗りつぶし]をクリックし、粒を作ります。



7 4～6の工程を繰り返し、ぶどうの形を作ります。



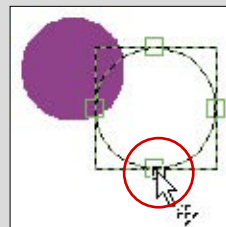
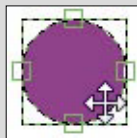
10～15粒ほど作ると形になっていきます。

#### POINT!

円形の領域の大きさを拡大、縮小すると立体的な作品を作ることができます。

#### 【領域範囲の変更方法】

- ① 領域範囲の四隅の [□] にカーソルを合わせます。カーソルの後ろに [↕] の矢印が表示されます。
- ② ドラッグをすると大きさが変わります。



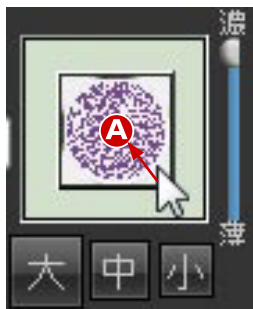
### ▶ 粒に影を作ろう



- 1 [フリーハンド]をクリックします。
- 2 ペンの種類を設定します。[ペン選択]をクリックします。
- 3 [ペン選択]ウインドウが表示されるので、[ブラシペン]を選択します。

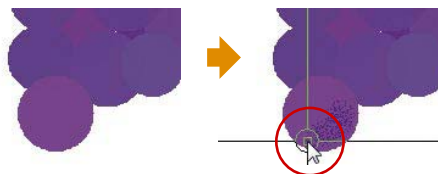


- 4 **A**にカーソルを合わせてドラッグをし、ペンの太さを[円]より小さめに設定します。  
(**A**はペン先の太さを表しています)

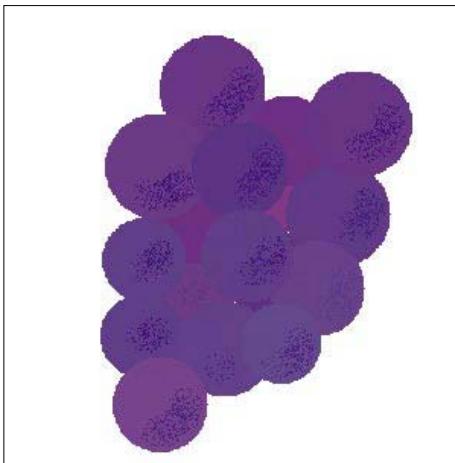


- 5 影の色を作ります。明暗バーを調節して粒の色より濃い紫色を作ります。
- 6 粒の右下に色をつけ影をつけます。

粒の右下周辺をドラッグすると、ブラシでなぞったように描画することができます。



すべての粒に影をつけます。



#### ブラシペンの描画イメージ

絵の具のついた歯ブラシで金網を擦って絵の具を散布させたような効果を出すことができます。

## ▶ 粒に質感を出そう

1 ペンの種類を設定します。[ペン選択]をクリックします。



[やわらかペンV2]を選択します。

2 Aにカーソルを合わせてドラッグをし、ペンの太さを粒より小さめに設定します。

3 色相ボックスから[白]を選択します。明暗バーのつまみを[明]へスライドし、[白]を選択します。

4 粒の左上にカーソルを合わせ、一度クリックします。

[やわらかペン(V2)]の効果で、ぶどうの粒に光が射しているように見えます。



やわらかペン(V2)の描画イメージ  
乾いていない紫色の絵の具の上に、水で溶いた白い絵の具を垂らしたような効果を出します。

## ▶ 枝の部分を描こう

1 ペンの種類を設定します。[ペン選択]をクリックします。

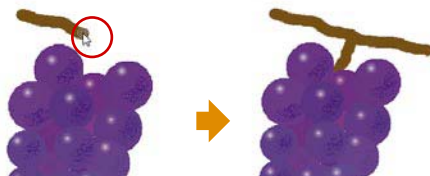


[普通のペン]を選択します。

2 ペンの太さを、イメージしているぶどうの枝の太さに設定します。

3 色相ボックスから明暗バーを調節し枝の色(茶色)を作ります。

4 キャンバスのぶどうの上部(枝がある部分)にカーソルを合わせ、枝を描画します。



## 第2章

### 80 絵を描いてみよう

5 [ペン選択]をクリックします。[ペン選択]ウィンドウが表示されます。

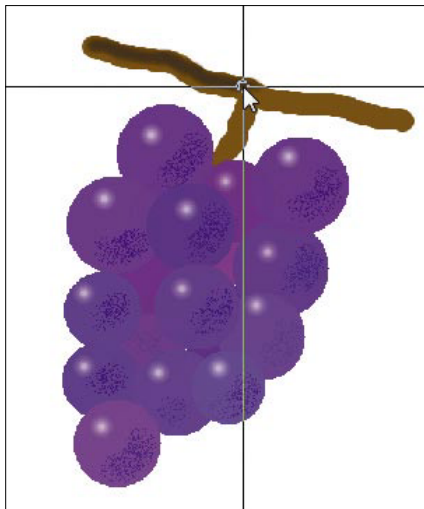


6 ペンの太さを枝より細くします。

[やわらかペン]を選択します。

7 色相ボックスから枝より濃い茶色を作ります。

8 枝の影の部分を描画します。



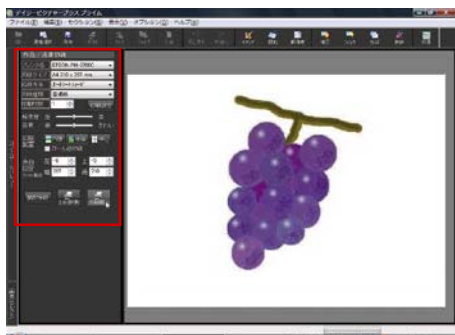
#### やわらかペンの描画イメージ

隈取(くまとり)筆に水で溶いた絵の具を含ませ軽く描画をするような効果を出すことができます。

## ▶ 印刷をしよう

1 ツールバーの[印刷]をクリックします。

2 印刷の画面が表示されます。



3 [プリンタ名]を設定します。[▼]をクリックすると、お使いのパソコンに接続されているプリンタが表示されます。この中から使用するプリンタを選択します。

※変更しない場合は、設定をする必要はありません。

4 [用紙サイズ]を設定します。[▼]をクリックし、用紙のサイズを選択します。

5 [給紙方法]、[用紙種類]は任意の設定を行います。

6 用紙の向きは[印刷設定]ボタンをクリックし、お使いのプリンタの[プロパティ]から設定をしてください。

プリンタのプロパティの設定につきましては、ご利用のプリンタの取扱説明書をご覧ください。

7 印刷の配置は[内接]をクリックし、用紙に作品がすべて収まるようにしてください。

8 [印刷開始]をクリックし、[はい]を選択すると印刷が開始されます。

## ▶ 保存をしよう

1 ツールバーの[保存]をクリックします。



2 [名前を付けて保存]ウインドウが表示されます。



3 [保存する場所]の[▼]をクリックすると、保存先が選択できるので任意の保存先を設定してください。

4 [ファイル名]はこの作品の任意のファイル名をつけてください。

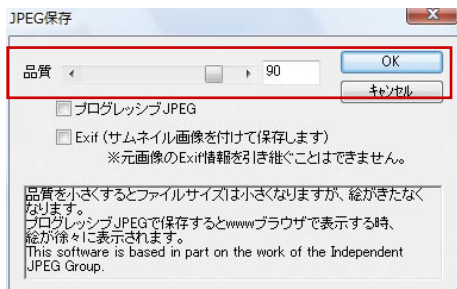
5 作品の保存形式を[ファイルの種類]から選択します。  
[JPEG (\*.jpg)]形式で保存をします。

保存形式についての解説は149ページの「保存形式一覧表」をご覧ください。

6 [保存]をクリックします。

7 [JPEG保存]ウインドウが表示されます。

品質の数値は通常[90]で劣化すること無くに保存できるので、このまま[OK]をクリックします。



写真に文字を入力した場合は、品質の数値は90以上で保存をしてください。  
文字入力時に数値を[90]以上に設定しないと、保存後に文字がガザガザになります。



## 作品例



額縁に入った絵画  
[描画+フレーム+スタンプ]

# 作品と自分を合成しよう

授業で作成したオブジェや木工などの作品を写真に撮り別の写真と合成して、新たな作品を作ることができます。作品を作った生徒の写真も一緒に合成すると、世界で一つの作品を作ることができます。

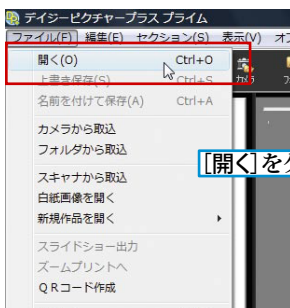
### ● 事前準備する資料

- 作品を撮影した写真
- 生徒の写真
- 背景にする写真



## ▶ 写真をファイルから取り込もう

1 メニューバーの[ファイル(F)]から[開く]を選択します。



2 使用する写真のファイル名をクリックして、[開く]を選択します。

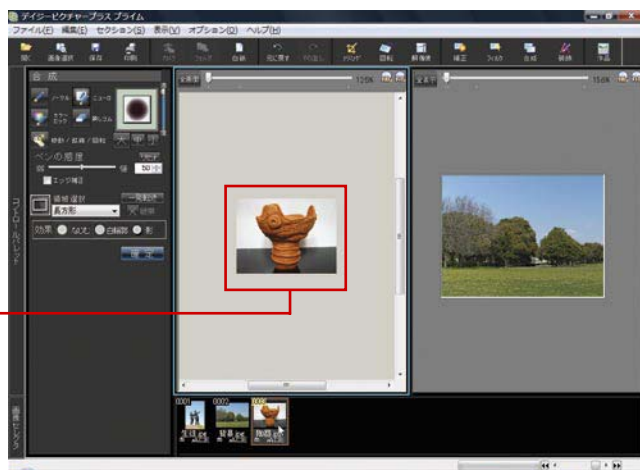
## ▶ 合成する写真を用意しよう

1 ツールバーの[合成]をクリックします。



合成セッション画面が開き、キャンバスに2種類の写真が開きます。

2 [画像セレクト]から合成をする被写体を選択します。

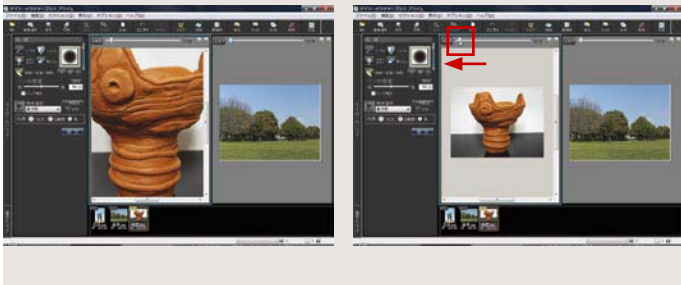


左側のキャンバスに[画像セレクト]から選択した写真が表示されます。

## ▶ 写真の大きさを整えよう

### 左の写真が大きい場合

左のキャンバスの上に[拡張スクロールバー]があります。  
このスクロールバーを左へスライドすると写真が小さく表示されます。



スクロールバーを一番左へスライドさせても、まだ写真が大きい場合は写真の解像度変換を行うと大きさを小さくすることができます。

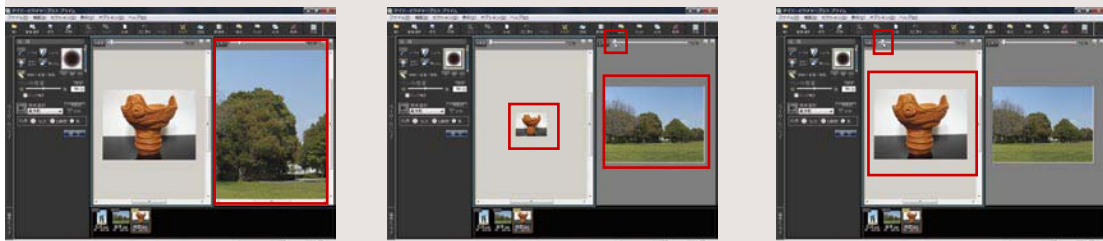
解像度変換についての解説は57ページをご覧ください。

## 右の写真が大きい場合

右のキャンパスの上に[拡張スクロールバー]があります。

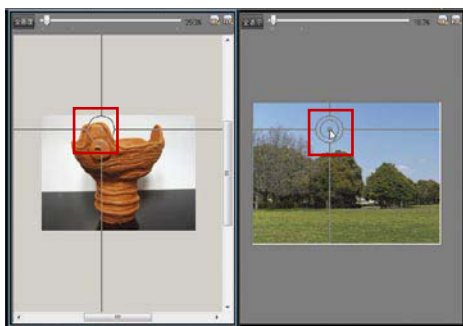
このスクロールバーを左へスライドすると写真が小さく表示されます。

同時に、左のキャンパスの写真も小さくなるので、左のキャンパスの上の[拡張スクロールバー]をスライドさせ、写真の大きさを調整します。



## ▶ 背景に作品を合成しよう

- 1 マウスのカーソルを右の写真(背景)へ合わせます。



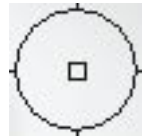
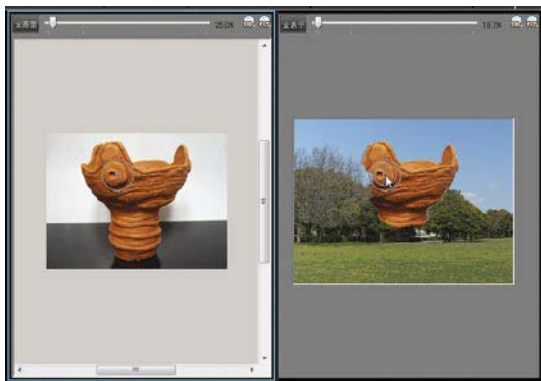
マウスのカーソルを中心に2重の円と縦横の十字線が表示されます。

同時に左の写真(被写体)にも1重の円と縦横の十字線が表示されます。カーソルを動かすとわかりますが、この2つの円は連動して動いています。

## POINT!

合成を行うときはマウスのカーソルは必ず右の写真(背景)に合わせてください。

- 2 左の写真に表示されている円の中心に小さな[□]があります。この[□]をペンの先になります。



[□]を合成する被写体の内側に沿ってドラッグをします。

右の写真に左の写真でドラッグした部分が合成されます。



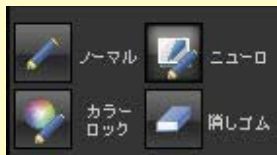
はみ出してしまった場合は、はみ出した部分に右ドラッグを行うと消すことができます。(右ドラッグで消す場合も、マウスのカーソルは右の写真に合わせたままです。)

### POINT!

ペン先が大きすぎてうまく合成できない!  
[コントロールパレット]のペンの大きさを調整します。[大][中][小]ボタンで大きさを変更することができます。  
また、中央のペン先を直接ドラッグすることで、ペンの大きさと形状を手動で調整することができます。

### POINT!

上記で使用しているペンモードは[ニューロ]というペンです。初期値に設定されています。



ノーマルペン・・・ドラッグした部分を全て合成します。

ニューロペン・・・被写体の輪郭をプログラムが自動で認識し、被写体だけをきれいに合成します。

カラーロック・・・被写体の色をプログラムが判別して、その色の部分だけを合成します。

消しゴム・・・合成した被写体画像を消去します。

## ● うまく合成ができない・・・なぜ？

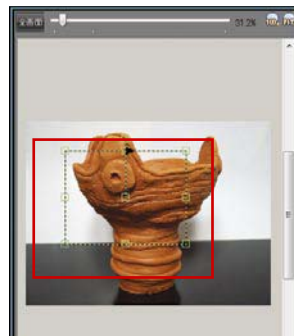
### 原因 1

被写体の写真(左側)を誤ってドラッグしてしまった。

- 1 コントロールパレットの[領域選択]の右手の[破棄]をクリックします。



- 2 左側のキャンバスに表示されていた緑色の点線が消えます。



### 原因 2

被写体の色と背景の色が似ている。

- 1 [ニューロ]の感度を強めます。

感度を強めることによって、境界線の認識が厳しくなり、色の違いをより見分けることができます。



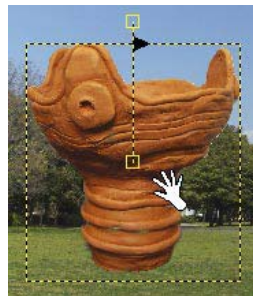
#### ▶ 合成した被写体を移動しよう

- 1 コントロールパレットの[移動/拡縮/回転]をクリックします。



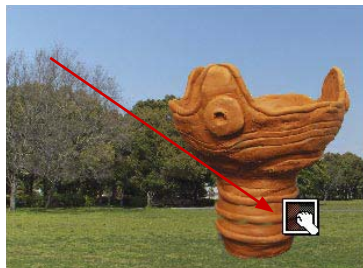
合成した被写体に黄色い点線が表示されます。

- 2 マウスのカーソルを黄色い点線内へ合わせます。



- 3 ドラッグをすると合成した部分を移動することができます。

カーソルが矢印から[手]のマークへ変わります。



同時に左側の写真の位置も移動します。

#### ▶ 合成した被写体を拡縮しよう

- 1 マウスのカーソルを黄色い点線内へ合わせます。

カーソルが矢印から[手]のマークへ変わります。



- 2 右下へ向かって右ドラッグを行うと合成した被写体が拡大されます。



- 3 左上へ向かって右ドラッグを行うと合成した被写体が縮小されます。

## ▶ 合成した被写体の角度を変えよう

1 黄色い点線の上部に、黄色い□が表示されています。

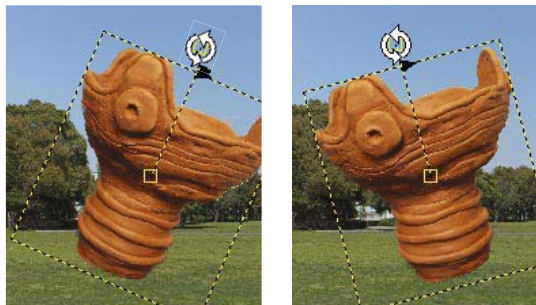
黄色い□にマウスのカーソルを合わせます。



カーソルが矢印から[🌀]へ変わります。

2 右へドラッグを行うと合成した被写体が右へ回転します。

3 左へドラッグを行うと合成した被写体が左へ回転します。



### POINT!

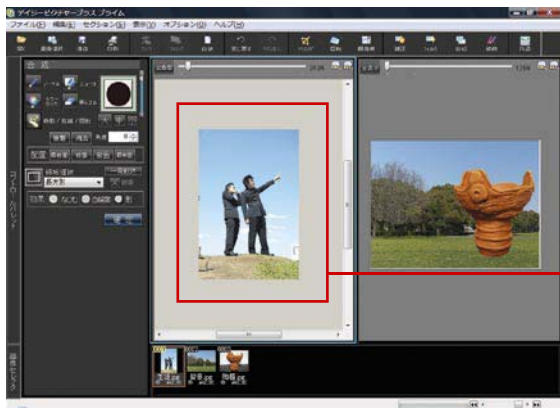


ドラッグ中は画像がモザイク状になりますが、ドラッグしている指を放すと、元の画像の状態に戻ります。

## ▶ 合成した写真に新たな写真を合成しよう

1 [画像セレクト]から次の被写体となる写真を選択します。

左側のキャンバスの写真が画像セレクトから選んだ写真に変わります。



写真が変わります。

## 第2章

### 88 作品と自分を合成しよう

84～87ページの操作で引き続き合成操作を行います。

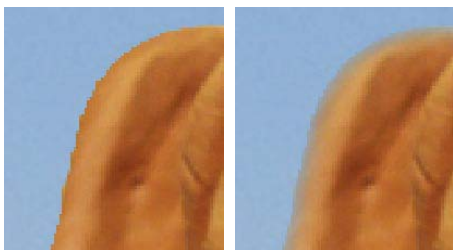


#### ▶ 被写体と背景をなじませよう

- 1 合成した被写体を選択した状態(画像セクタで選択している状態)で、コントロールパレットの[効果]から[なじむ]を選択します。



被写体の周りに、ぼかしが入ります。[なじむ]を再度クリックすると、ぼかしの効果が強くなり、背景の写真と被写体になじんできます。



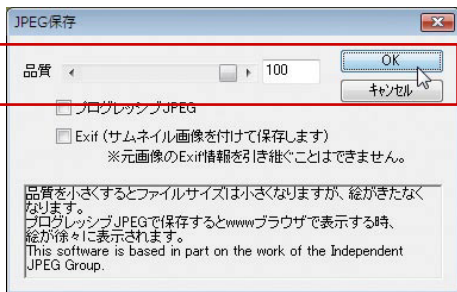
拡大表示すると、効果をはっきりとわかります。

- 2 効果を掛け終わったら、必ず最後に[確定]をクリックしてください。



[確定]操作を行った後では、[効果]をかけることはできませんので、ご注意ください。

## ▶ 保存をしよう



- 1 ツールバーの[保存]をクリックします。
- 2 [名前を付けて保存]のウィンドウが表示されます。
- 3 保存する場所を指定します。
- 4 [ファイル名]に作成した作品のファイルの名前を入力します。
- 5 作品の保存形式を[ファイルの種類]から選択します。

保存形式についての解説は149ページの「保存形式一覧表」をご覧ください。

- 6 [保存]をクリックします。
- 7 [JPEG保存]ウィンドウが表示されます。

品質の数値はスライダーをスライドさせて[100]に設定します。

写真に文字を入力した場合は、品質の数値は[90]以上で保存をしてください。文字入力時は品質の数値を[90]以上に設定しないと、保存後に文字がガザガザになります。

補足

## 作品例



土器が倒れそう  
[合成+回転]



土器からの目覚め  
[合成+フィルタ(レンズフレア)]

# 写真を一括で自動補正

写真を一括で自動補正することができ、修学旅行や学校行事などで撮ったたくさんの写真を一括で適切な明るさや色にすることができます。

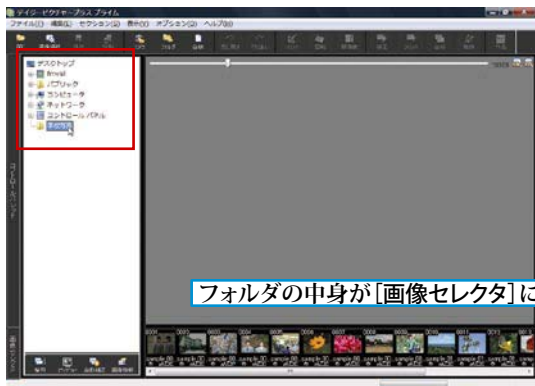
### ●事前準備する資料

- 修学旅行や学校行事などの写真



## ▶ エクスプローラから写真を開いて選択しよう

1 エクスプローラから写真を保存しているフォルダを選択します。



2 ツールバーの [編集] をクリックし、[全て選択 (A)] を選択します。

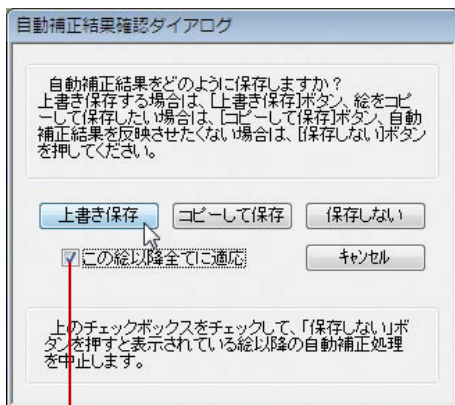


## ▶ 選択した画像を自動補正しよう

1 画面左下の [自動補正] をクリックします。



2 自動補正の処理が開始され、[自動補正結果確認ダイアログ] が表示されます。



- a. 上書き保存  
現在表示されている画像に直接自動補正を実行しています。
- b. コピーして保存  
現在表示されている画像のコピー画像を作成し、コピー画像に自動補正を実行します。
- c. 保存しない  
現在表示されている画像には処理を実行ないようにします。
- d. キャンセル  
自動補正の処理を中止します。

「この絵以降全てに適用」項目の左手に表示されている「」をクリックして、チェックマークを付けてから、a.~c.までの何れかのボタンをクリックすると、複数の画像を選択している場合、現在表示されている画像以降の全ての画像に選択したボタンの操作を連続して実行します。

3 処理が終了すると、[画像選択] 画面に戻ります。

# 写真を一括で解像度変換（リサイズ）

たくさんの写真を取り込む際に一括で解像度変換作業を行い、ファイルサイズを小さくします。



### ● 事前準備する資料

- 修学旅行や学校行事などの写真

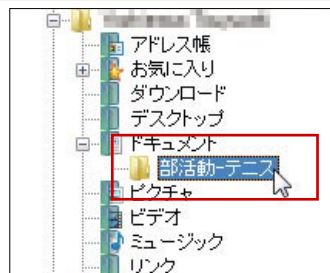
## ▶ フォルダから写真を取り込もう

1 ツールバーの[フォルダ]をクリックします。



2 [取込フォルダの指定] ウィンドウが表示されます。

3 [次へ]をクリックします。



## ▶ 解像度を設定しよう

1 [サイズ指定] ウィンドウが表示されます。

- ① そのまま
- ② 640×480 ピクセル
- ③ 800×600 ピクセル
- ④ 1024×728 ピクセル
- ⑤ カスタム



2 任意の解像度の[○]にチェックし[次へ]をクリックします。

3 [保存フォルダの指定]が表示されるので、ウィンドウの中央の画像ツリーより保存先のフォルダを指定します。

4 [次へ]をクリックします。



保存の際に、保存場所として新しいフォルダを作成する場合には、画像ツリーでフォルダを作成するドライブを指定してから、[新しいフォルダの作成]をクリックしてください。

5 取り込みが開始され解像度が変換されます。取り込みが完了すると[取込完了]ウィンドウが表示されるので、[OK]をクリックします。

[画像選択]画面に戻ります。

## 用途別解像度一覧表

ピクセル数	総画素数	授業最適画素数		ホームページ	メール送信	学級通信	写真用紙
160×120	2万画素	○	画質が粗い	小			
320×240	8万画素	○	画質がやや粗い	中			
640×480	30万画素	◎	最適	大	小	小	
800×600	48万画素	◎	最適		中	中	
1024×768	80万画素	◎	最適		大	大	
1280×960	123万画素	○	動作がやや遅い				L版
1600×1200	200万画素	○	動作がやや遅い				2L版
2560×1920	500万画素	×	動作が遅い				A4

## 写真の不要部分の削除

写真撮影時に移ってしまった日付や不要物を部分的に背景をコピーして削除することができます。写真に入った日付を消して、卒業アルバムや授業用の写真として活用することができますようになります。



● 事前準備する資料

- 日付の入っている写真



2008. 4. 20

▶ **写真をファイルから取り込もう** → 取り込み方法は23ページを参照ください。

▶ **写真の日付を削除しよう**

1 ツールバーの[補正]をクリックします。

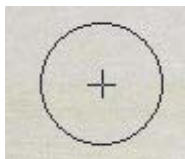
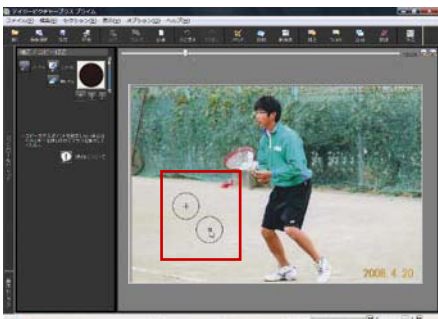


2 [セクション選択画面]が表示されます。

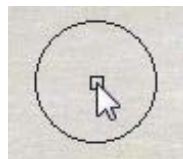


3 [コピー修正]セクションへ移動します。

キャンバス上にカーソルを合わせると、2つの円が表示されます。

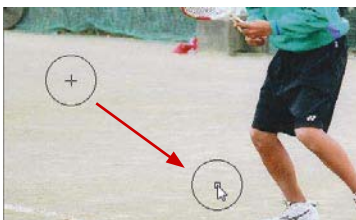


**A コピー元**  
円の中心が「+」になっている円の範囲を読み取ります。



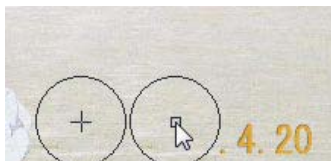
**B コピー先**  
円の中心が四角になっている円の範囲へ、コピー元から読み取った部分をペンでなぞるように写真をコピーします。

4 キーボードの[CTRL]キーを押したままにするとAの位置が固定されます。修正を行う方向に合わせて、Aを固定した状態でドラッグを行い、Bの位置を調整してください。



5 コピー修正を実行します。

[CTRL]キーから指を離して、消去したい部分をドラッグします。



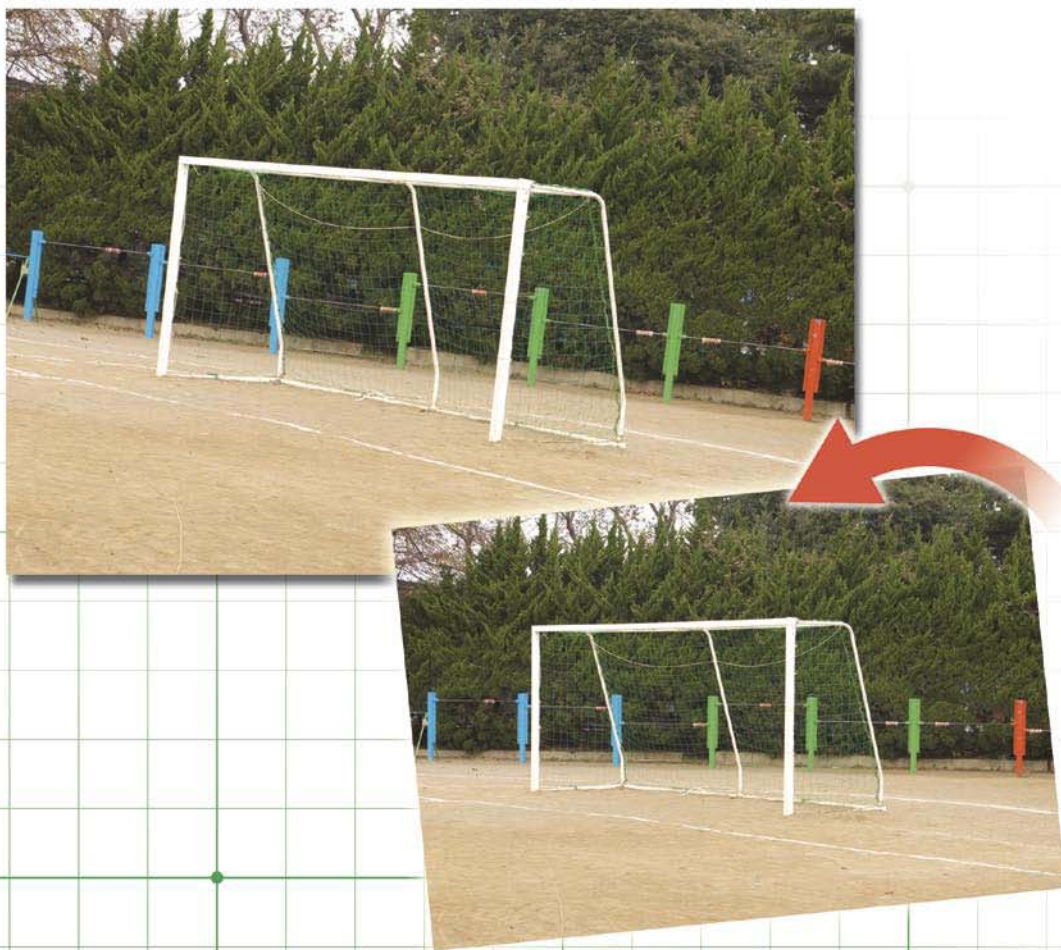
▶ **保存をしよう** → 保存方法は27ページを参照ください。

# 傾いた写真の修正

写真撮影時に傾いて撮ってしまった写真を回転を使用し補正します。スナップ写真や集合写真を撮影するときに、傾いて撮れた写真を補正します。

### ● 事前準備する資料

- 傾いた写真



▶ **写真をファイルから取り込もう** → 取り込み方法は23ページを参照してください。

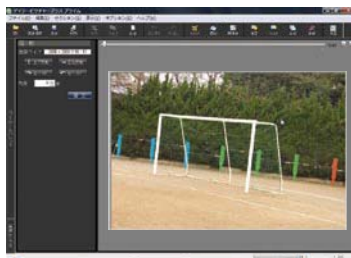
▶ **画像を回転させて正しい位置にしよう**

1 ツールバーの[回転]をクリックします。

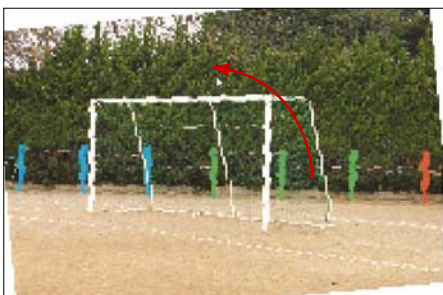


2 回転セクションへ移動します。

キャンバスの写真上にマウスのカーソルを合わせます。



3 写真をドラッグすると角度が変化します。調整したい角度へ調整を行います。



角度を0に戻すには…

画面左手のコントロールパレットの「角度」項目を「0」度にする、回転された写真が元の角度に変化します。



① 設定したい角度が決まっている場合には、この「角度」項目へその角度を入力して、直接数値で角度を指定することもできます。

② 数値は半角英数で入力してください。

4 写真の角度が調節できたら、[確定]をクリックします。

5 確認メッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。

6 調節した角度に写真が固定されます。

POINT!



ドラッグ中は画像がモザイク状になりますが、ドラッグしている指を放すと、元の画像の状態に戻ります。

▶ **余分な部分を切り取ろう**

1 ツールバーの[トリミング]をクリックします。



2 写真の左上から右下に向かってドラッグをすると、灰色の線が表示され選択した領域選択の型が表示されます。

ドラッグを離すと、灰色の線から緑色の点線に変わり型が確定します。領域選択枠内にカーソルを合わせドラッグすると型の配置が変更できます。

写真が型の中に収まり、余白部分が領域選択枠に入らないようにドラッグをします。

領域選択枠の位置と大きさの調節方法はマニュアル23ページを参照ください。

3 [切り抜き]をクリックすると、切り抜きを実行します。

▶ **保存をしよう** → 保存方法は27ページを参照ください。

# トリミングで写真の形を変えよう

写真の形を26種類のテンプレートに合わせて切り取ります。  
学級通信や教材などに掲載する写真の形を変えることができ、  
写真を強調したり用途に合った形に切り抜くことができます。



### ● 事前準備する資料

- 学級通信や教材などに掲載する写真

▶ **写真をファイルから取り込もう** → 取り込み方法は23ページを参照ください。

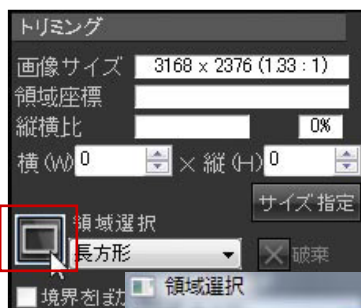
▶ **型を選択して範囲を指定しよう**

1 ツールバーの[トリミング]をクリックします。



2 [領域選択]をクリックします。

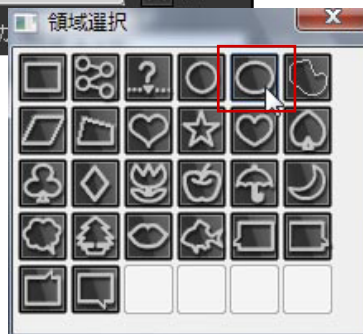
3 [領域選択]ウインドウが表示されます。利用する領域選択をクリックして選択します。楕円形に切り抜くので[楕円]を選択します。



4 写真の左上から右下に向かってドラッグをすると、灰色の線が表示され選択した領域選択の型が表示されます。切り抜きたい範囲が型の中に収まるようにドラッグをします。



ドラッグを離すと、灰色の線から緑色の点線になり型が確定します。領域選択枠内にカーソルを合わせドラッグをすると型の配置が変更できます。

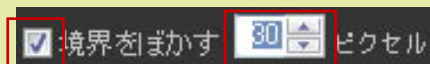


領域選択枠の位置と大きさの調節方法はマニュアルの23ページを参照ください。

### 境界をぼかす場合



- 1 [境界をぼかす]項目の左手に表示されている「□」をクリックして、チェックマークをつけて有効にします。
- 2 境界をぼかす際に、エディットコントロールまたはスピンコントロールで、ぼかしを掛ける範囲の幅を設定することができます。



#### エディットコントロール

半角数字で数値を設定することにより、効果を調節します。

#### スピンコントロール

【▲】ボタン・【▼】ボタンを操作することにより、効果を調節します。

補足

▶ **切り抜きをしよう**

1 [切り抜き]をクリックすると、切り抜きを実行します。

切り抜き

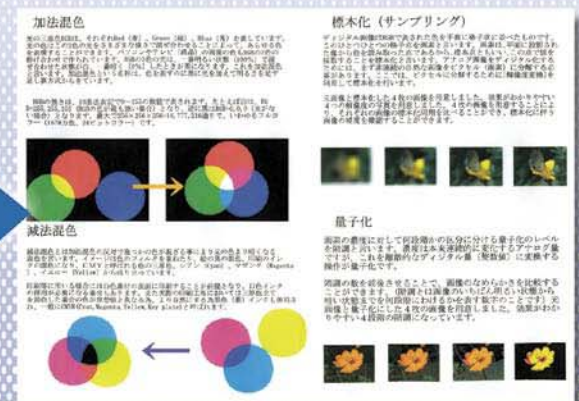
▶ **保存をしよう** → 保存方法は27ページを参照ください。

# スキャナから資料を取り込み教材を作ろう

写真撮影時やスキャナ取り込み時のゴミなどを部分的にコピーし修正します。教科書や資料の読み込み時に入ってしまったゴミや影の部分を修正し見やすい教材を作成することができます。

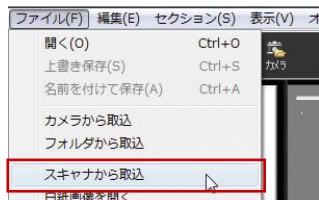
## ●事前準備する資料

- スキャナで読み込む教科書または資料

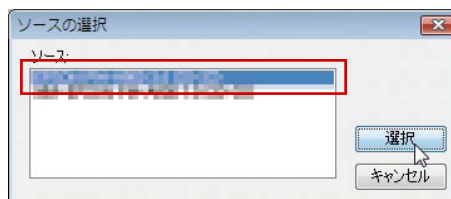


## ▶ 教材をスキャナで読み取ろう

- 1 メニューバーの[ファイル(F)]から[スキャナ]を選択します。

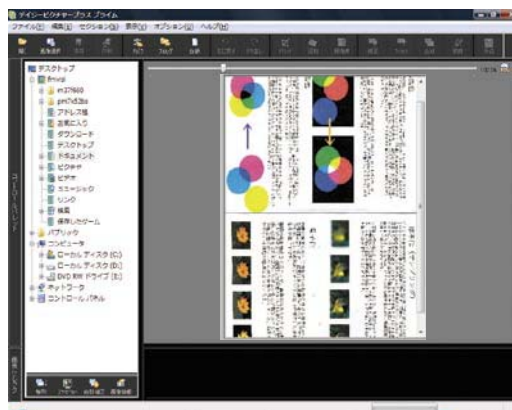


- 2 「ソースの選択」ウインドウが表示されます。設定されている機器付属のドライバをクリックで選択し、「選択」をクリックします。



- 3 機器付属のドライバのウインドウが表示されます。

ご利用機器の取扱説明書をご参考の上、画像の取り込みの操作を行ってください。



## ▶ 角度を整えよう

- 1 ツールバーの[回転]をクリックします。



- 2 画像の回転を行う[回転]セクションへ移動します。キャンバスの写真上にマウスのカーソルを合わせます。

- 3 画像をドラッグすると角度が変化します。調整したい角度へ調整を行います。



## 第3章

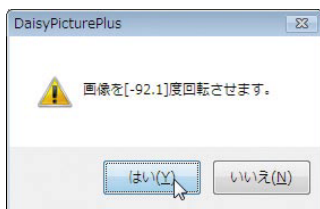
### 102 スキャナから資料を取り込み教材を作ろう

4 画像の角度が調節できましたら、[確定]をクリックします。



5 確認メッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。

6 調節した角度に画像が固定されます。



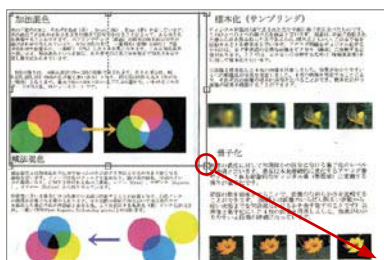
補足

#### 角度を「0」に戻すには・・・

画面左手のコントロールパレットの「角度」項目を「0」度にする、回転された画像が元の角度に変化します。

- ① 設定したい角度が決まっている場合には、この「角度」項目へその角度を入力して、直接数値で角度を指定することもできます。
- ② 数値は半角英数で入力してください。

### ▶ 余分な部分を切り取ろう



1 ツールバーの[トリミング]をクリックします。

2 写真の左上から右下に向かってドラッグをすると、灰色の線が表示され選択した領域選択の型が表示されます。

画像が型の中に収まり余白部分が領域選択枠に入らないようにドラッグをします。

ドラッグを離すと、灰色の線から緑色の点線に変わり型が確定します。領域選択枠内にカーソルを合わせドラッグをすると型の配置が変更できます。

3 [切り抜き]をクリックすると、切抜きを実行します。

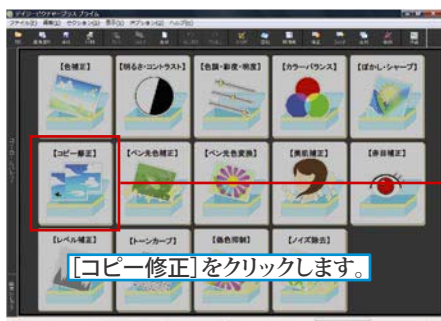


領域選択枠の位置と大きさの調節方法はマニュアル23ページを参照ください。

### ▶ 取り込んだ画像のゴミを削除しよう



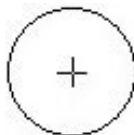
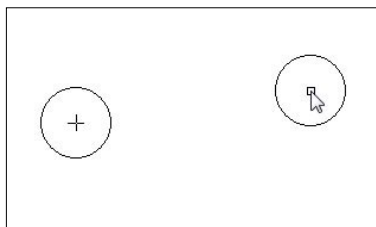
1 ツールバーの[補正]をクリックします。



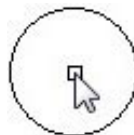
2 [セクション選択画面]が表示されます。



- 3 コピー修正セクションへ移動します。  
キャンバス上にカーソルを合わせると、2つの円が表示されます。



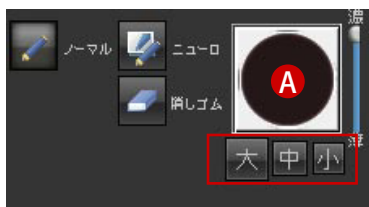
- A コピー元**  
円の中心が「+」になって  
いる円の範囲を読み取り  
ます。



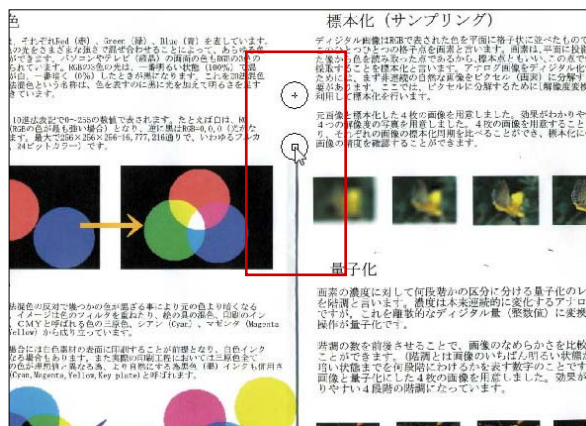
- B コピー先**  
円の中心が四角になって  
いる円の範囲へ、コピー元から読  
み取った部分をペンでなぞるよ  
うに写真をコピーします。

- 4 キーボードの[CTRL]キーを押したままにすると**A**の位置が固定されます。修正を行う方向に合わせて、**A**を固定した状態でドラッグを行い、**B**の位置を調整してください。

- 5 コピー修正を実行します。  
[CTRL]キーから指を離して、消去したい部分をドラッグします。  
**A**の部分を**B**の部分へコピーします。



ペン先が太い場合は**A**の下の[大・中・小]のいずれかを選択して太さを調整します。



▶ **保存をしよう** → 保存方法は27ページを参照ください。

# 2次元バーコード（QRコード）の作成

携帯電話のカメラモードで読み込める2次元バーコード（QRコード）を作成します。  
 学級通信や校内掲示物に2次元バーコード（QRコード）を掲載し学校のホームページ（携帯電話用）やブログを紹介することができます。

● **事前準備する資料**

- 学校ホームページまたはブログなどのURLや電話番号、E-Mailアドレス

注釈や見出しをこのからの学級生活に生かしてほしいと思っています。  
 意図に留意しながら、早く読解正しいリズムが身につきたいと思っています。これまでです。



06年9月

水		木		金		土	
学級 3:40	学級 3:25	学級 3:40	学級 3:40	1 運動開始	2	学級 3:40	学級 3:40
6	7	8	9	プール開始	9	15	16
学級 3:15	学級 2:50	学級 3:40	学級 3:40	15	16	16	16
13	14	15	16	16	16	16	16
学級 3:40	学級 3:30	学級 3:40	学級 3:40	16	16	16	16
20	21	22	23	16	16	16	16
学級 1:40	学級 3:25	学級 3:40	学級 3:40	16	16	16	16
27	28	29	30	16	16	16	16
16	16	16	16	16	16	16	16



**お知らせとお願ひ**

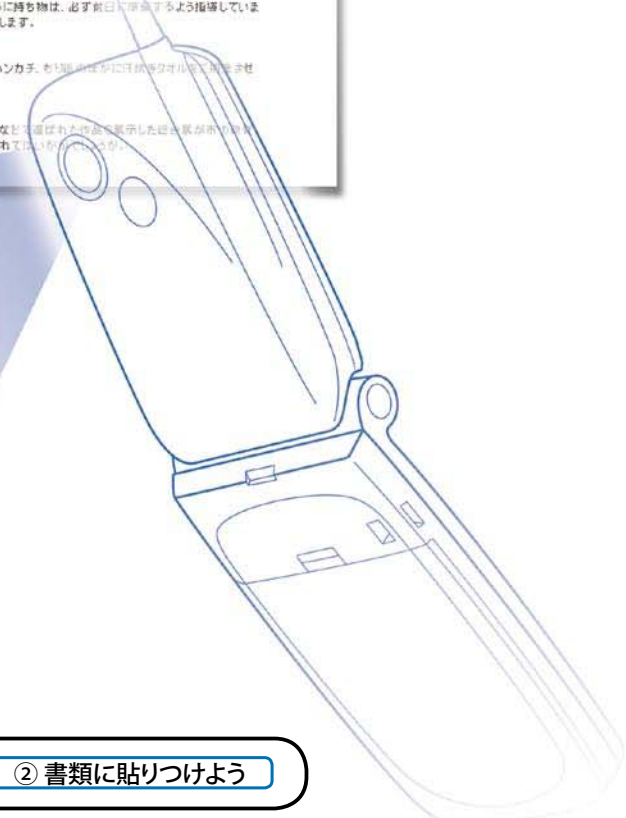
☆ **9月1日教科書配布について**  
 新しい教科書を、9月1日に配布します。【国語（下）・算数（下）・理科（下）】は10月頃からです。使用する際には、連絡帳等でお知らせしますので、記名をしておいて保管してください。ノートは前期の続きを使用します。違いがあったら、各自で同じマス目のものを使用してください。

☆ **避難訓練について**  
 9月1日（金）は、避難訓練があります。（雨天の場合：9月5日）保護者の皆さんへの引渡しは今回は行いません。

☆ **持ち物について**  
 防災頭巾、運動ハーモニカ、道具箱、ゆり、はさみ、色鉛筆等、家庭に持ってきた学用品を準的に持たせてください。足りないものは補充して持たせてください。また給食で使うお弁当はいつも清潔なものが使用できるようにお願いします。  
 日々の学級指等で、学用品の忘れ物がないように持ち物は、必ず前日に確認するよう指導しています。ご家庭でも習慣づけられるようご協力お願いします。

☆ **汗拭きタオルを！**  
 暑い日が続きます。汗をたくさんかかると、ハンカチ、おしぼりなどに汗臭がたまりやすくなります。汗拭きタオルを準備してください。

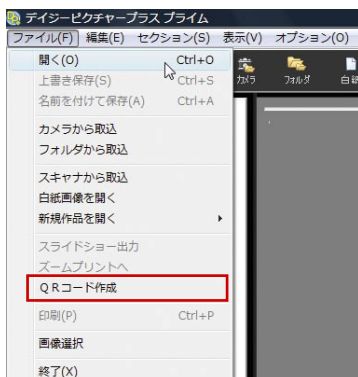
☆ **〇〇直結合庫について**  
 15日（土）から19日（火）まで夏休みの自由研究などを書かれた作品を展示した近況がホリウチ会館で開かれます。是非お父さんと一緒に参観されてください。



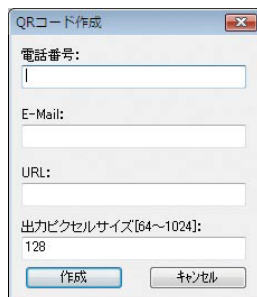
- **操作手順**
- ① **情報を入力しよう**
- ② **書類に貼りつけよう**

## ▶ QRコード設定画面を起動しよう

1 メニューバーの [ファイル(F)] から [QRコード作成] を選択します。

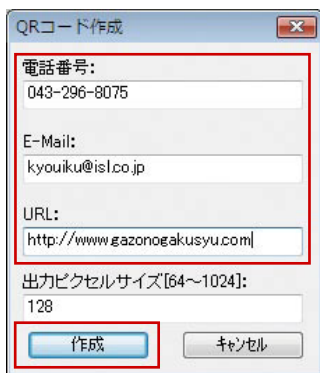


2 [QRコードの設定] ウィンドウが表示されます。



## ▶ QRコードに掲載する情報を入力しよう

1 使用する項目を入力します。[電話番号] [E-Mail] [URL] をそれぞれ入力します。



入力は、半角英数字で行ってください。

すべて入力しなくても、作成することはできます。

2 [作成] をクリックします。

3 [名前を付けて保存] のウィンドウが表示されます。



4 [保存] をクリックします。

5 [ファイル名] に作成した作品のファイルの名前を入力します。

6 作品の保存形式を [ファイルの種類] から選択します。

保存形式についての解説は149ページの「保存形式一覧表」をご覧ください。

7 [保存] をクリックします。

8 [GIF保存] ウィンドウが表示されます。  
QRコードの場合はそのまま [OK] をクリックします。  
保存が完了します。



▶ 学級通信やプリントにQRコードを貼り付ける場合

1 他のアプリケーションソフトを起動します。



2 アプリケーションソフトの画像取り込み機能で、作成したQRコードのデータを取り込みます。



操作方法はお使いのアプリケーションソフトの操作ガイドをご参照ください。

# 画面キャプチャーを撮って加工しよう

ホームページの資料をキャプチャーに撮り、授業の教材を作成することができます。必要な部分を切り抜いて見やすい資料を作ることができます。

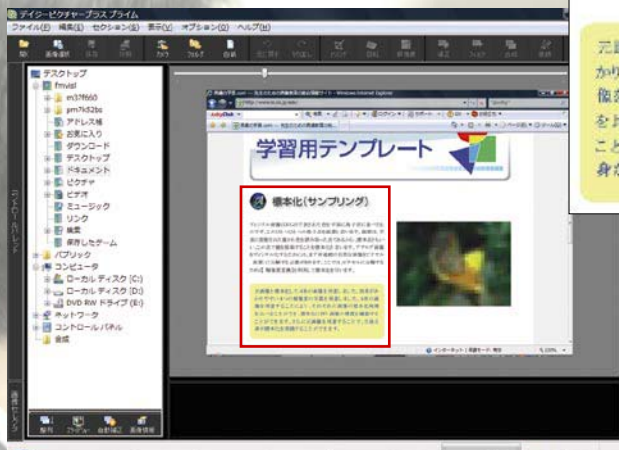
## ●事前準備する資料

- 資料に活用するホームページのURL

## ④ 標本化(サンプリング)

デジタル画像はRGBで表された色を平面上に格子状に並べたものです。このひとつひとつの格子点を画素と言います。画素は、平面上に投影された像から色を読み取った点であるから、標本点ともいい、この点で値を採取することを標本化と言います。アナログ画像をデジタル化するためには、まず非連続の自然な画像をピクセル(画素)に分解する必要があります。ここでは、ピクセルに分解するために【解像度変換】を利用して標本化を行います。

元画像と標本化した4枚の画像を用意しました。効果がわかりやすい4つの解像度の写真を用意しました。4枚の画像を用意することにより、それぞれの画像の標本化同期を比べることができ、標本化に伴う画像の精度を確認することができます。さらに元画像を用意することで、生徒自身が標本化を実践することができます。



## 第3章

### 108 画面キャプチャーを撮って加工しよう

#### ▶ 画面キャプチャを撮ろう

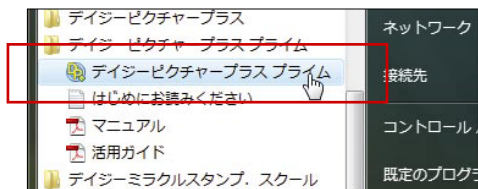
1 利用したいホームページを開き、取り込むページを画面の中央に表示します。



2 キーボードの[PrintScreen]キーを押します。

キーボードの種類によっては表記が違います。  
[Prt Sc][PrintScre]など

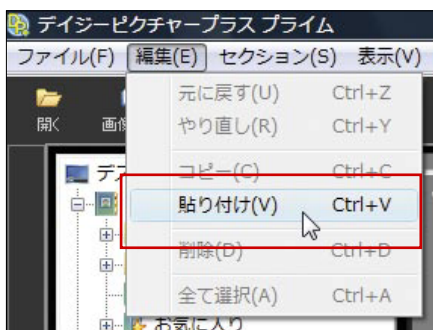
#### ▶ デイジーピクチャープラス プライムを起動しよう



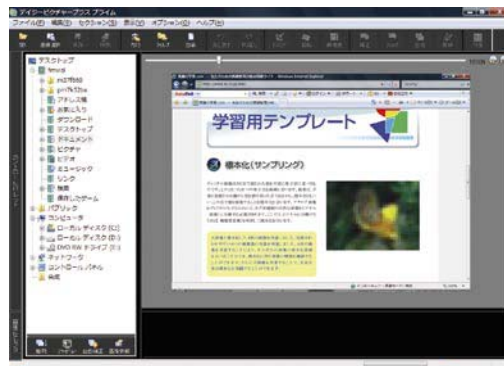
1 [スタート]の[すべてのプログラム]から[デイジーピクチャープラス プライム]を選択します。

#### ▶ データを貼り付けよう

1 ニューバーの[編集]から[貼り付け(V)]をクリックします。



キャンバスに先ほど撮った画面キャプチャが貼り付けられます。



## ▶ 不要な部分を切り取ろう



1 ツールバーの[トリミング]をクリックします。

2 [領域選択]をクリックします。



3 [領域選択] ウィンドウが表示されます。利用する領域選択をクリックして選択します。長方形に切り抜くので[長方形]を選択します。



4 写真の左上から右下に向かってドラッグをすると、灰色の線が表示され選択した領域選択の型が表示されます。切り抜きたい範囲が型の中に収まるようにドラッグをします。



ドラッグを離すと、灰色の線から緑色の点線に変わり型が確定します。領域選択枠内にカーソルを合わせドラッグをすると型の配置が変更できます。

領域選択枠の位置と大きさの調節方法はマニュアルの23ページを参照ください。

5 [切り抜き]をクリックすると、切抜きを実行します。



### 📐 標本化(サンプリング)

デジタル画像はRGBで表された色を平面に格子状に重ねたものです。このひとつひとつの格子点を画素と言います。画素は、平面に投影された像から色を読み取った点であるから、標本ともいいます。この点で値を採取することを標本化と言います。アナログ画像をデジタル化するためには、まず非連続の自然な画像をピクセル(画素)に分解する必要があります。ここでは、ピクセルに分解するためには「解像度変換」を利用して標本化を行います。

元画像と標本化した4枚の画像を用意しました。効果がわかりやすい4つの解像度の写真を用意しました。4枚の画像を用意することにより、それぞれの画像の標本化周期を比べることができ、標本化に伴う画像の精度を確認することができます。さらに元画像を用意することで、生徒自身が標本化を実践することができます。

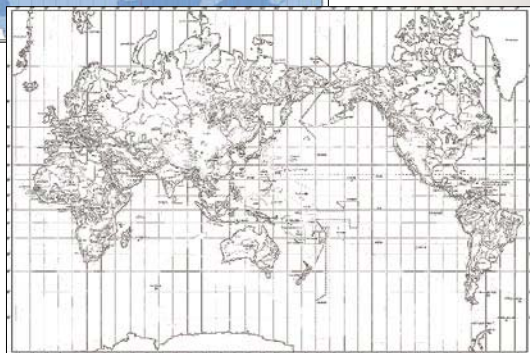
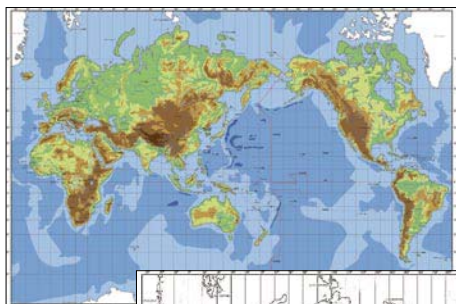
▶ 保存をしよう → 保存方法は27ページを参照ください。

# 白地図を作ろう

地図帳や資料からスキャナで地図を取り込み、白地図を作成することができます。地理の授業はもちろん総合学習、国語など様々な授業で活用することができます。

#### ●事前準備する資料

- 地図帳(地図帳から使用するページを予め決めておきます。)



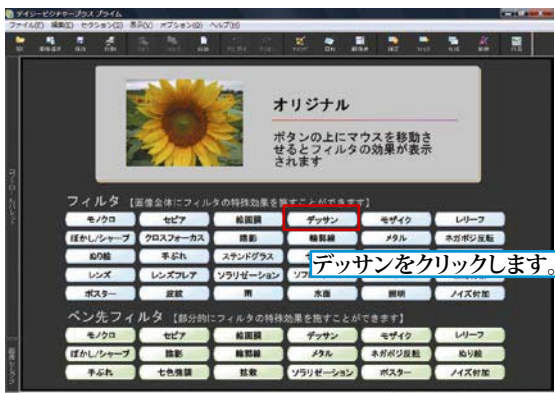
▶ 地図をスキャナで読み取る → 保存方法は101ページを参照ください。

▶ フィルタ（効果）をかけよう

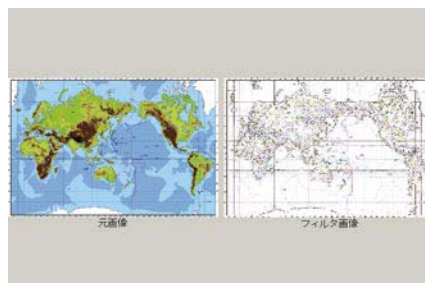


- 1 ツールバーの[フィルタ]を選択します。
- 2 [フィルタセクション]画面が表示されます。

### デッサン



- 3 [補正]と同様、操作した画像の状態を比較できるよう、[元画像]と[フィルタ画像]が並んで表示されます。



- 4 [確定]をクリックすると、結果が反映されます。

- 5 [フィルタ選択]をクリックします。  
[フィルタ選択]ウインドウが表示されるので、[モノクロ]を選択します。

フィルタ選択

### モノクロ

- 6 [確定]をクリックすると、結果が反映されます。



線が薄い場合は・・・

[補正]機能の[明るさ・コントラスト]で元画像のコントラストを調整します。コントラストは写真やイラストの黒い部分を強調することができるので、[デッサン]フィルタをかけたときに線がはっきり表示されます。

補正

▶ 保存をしよう → 保存方法は27ページを参照ください。

# 学級通信・おたより用の写真作成

学級通信やおたより用の写真を作成することができます。学校生活の様子を保護者へ、学校の活動の様子を地域へ伝えることができます。

### ●事前準備する資料

- 学級通信やおたよりなどに掲載する写真

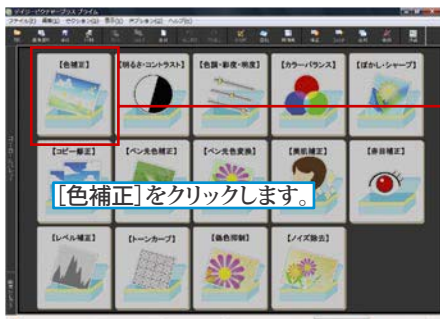


▶ 写真をファイルから取り込もう → 取り込み方法は23ページを参照ください。

▶ 暗い写真を明るくしよう



1 ツールバーの[補正]をクリックします。



2 [セクション選択画面]が表示されます。



3 画像の総合的な色補正を行う色補正セクションへ移動します。

色補正セクションへ移動した直後は、ここで操作した画像の状態を比較できるように、[元画像]と[補正画像]が並んで表示されます。



4 [自動補正]をクリックします。



### 補足

#### 自動補正機能について

[デジビクチャープラス プライム]には、画像の被写体を認識し、画像の色素や明るさなどの傾向から、自動的に被写体が最も美しく見える補正値を算出して、算出した補正値に補正を実行する「IR (Image Recognition) 補正」機能が実装されています。

「自動補正」ボタンをクリックすると、その時点で選択されている画像にこの「IR自動補正」機能を反映させます。

#### ※自動補正の注意点

[自動補正]を選択した際に、「自動補正をする必要のない画像のようです」というメッセージが表示される場合があります。これは選択されている画像が、すでに最適な明るさであることを示しているため、[OK]をクリックします。

## 第4章

### 114 学級通信・おたより用の写真作成

- 5 [確定]をクリックすると、自動補正を実行します。

設定した補正内容が確定すると[元画像]にその内容が反映され、[元画像]と[補正画像]は同じ状態になります。



## ▶ 写真を切り抜こう

- 1 ツールバーの[トリミング]をクリックします。



- 2 [領域選択]をクリックします。

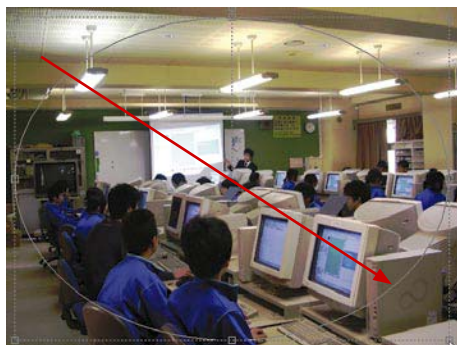


- 3 [領域選択]ウインドウが表示されます。利用する領域選択をクリックして選択します。



楕円形に切り抜くので[楕円]を選択します。

- 4 写真の左上から右下に向かってドラッグをすると、灰色の線が表示され選択した領域選択の型が表示されます。切り抜きたい範囲が型の中に収まるようにドラッグをします。



ドラッグを離すと、灰色の線から緑色の点線に変わり型が確定します。領域選択枠内にカーソルを合わせドラッグをすると型の配置が変更できます。

領域選択枠の位置と大きさの調節方法はマニュアルの23ページを参照ください。

- 5 [境界をぼかす]項目の左手に表示されている[ ]をクリックして、チェックマークをつけて有効にします。



- 6 境界をぼかす際に、エディットコントロールまたはスピコンで、ぼかしを掛ける範囲の幅を設定することができます。

エディットコントロール  
半角数字で数値を設定することにより、効果を調節します。

スピコンコントロール  
[▲]ボタン・[▼]ボタンを操作することにより、効果を調節します。

補足



7 [切り抜き]をクリックすると、切抜きを実行します。

## ▶ フィルタ（効果）をかけよう

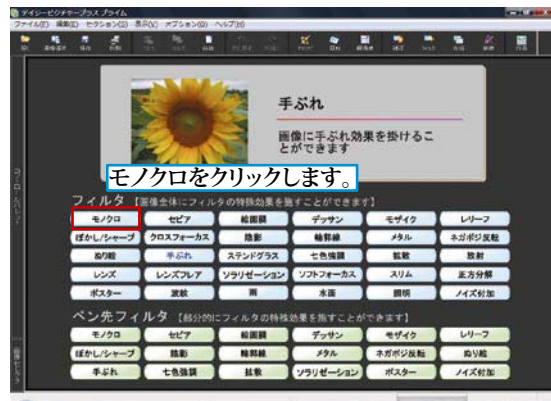
工程の途中で[フィルタ]機能の[モノクロ]を使用しますが、カラーで印刷する場合はそのまま保存作業へ進んでください。



1 ツールバーの[フィルタ]を選択します。

2 [フィルタセクション]画面が表示されます。

モノクロ



### POINT!

カラー写真を白黒コピーまたはモノクロ印刷すると、色の濃淡が確認することができなくなることがあります。フィルタ[モノクロ]効果をつけることで、写真の濃淡をはっきり表現することができ、きれいに印刷することができます。

3 [補正]と同様、操作した画像の状態を比較できるよう、[元画像]と[フィルタ画像]が並んで表示されます。

4 [確定]をクリックすると、結果が反映されます。



▶ 保存をしよう → 保存方法は27ページを参照ください。

# 校内、教室用掲示物の作成



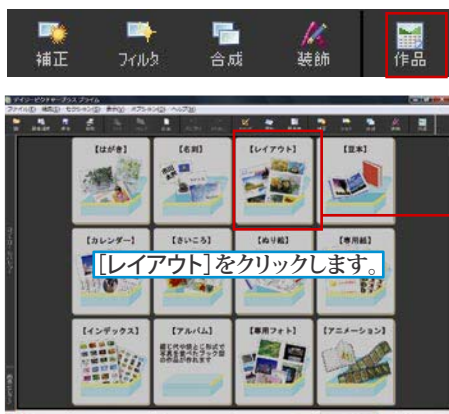
学校行事の様子や特別活動の様子を掲載した写真入り掲示物を作成することができます。文字、写真のレイアウトを自由に変更できるので多彩な掲示物を作成することができます。

## ● 事前準備する資料

- 掲示物に使う写真(6枚)  
(使用する写真を1つのフォルダに保存してください)
- 掲示物に掲載する原稿

▶ 写真をファイルから取り込もう → 取り込み方法は23ページを参照ください。

▶ テンプレートを決めよう



1 ツールバーの【作品】をクリックします。

2 【作品セクション】画面が表示されます。  
【レイアウト】をクリックします。



3 テンプレートを選択します。

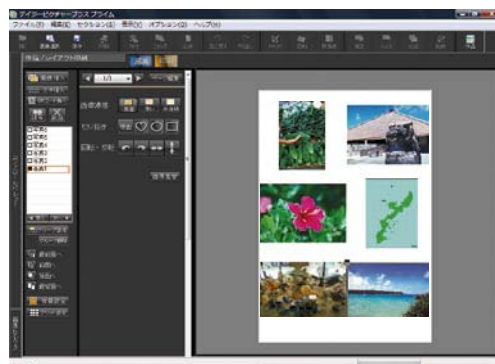
4 【レイアウトの設定】ウインドウが表示されるので、【OK】をクリックします。



▶ 写真を選択しよう

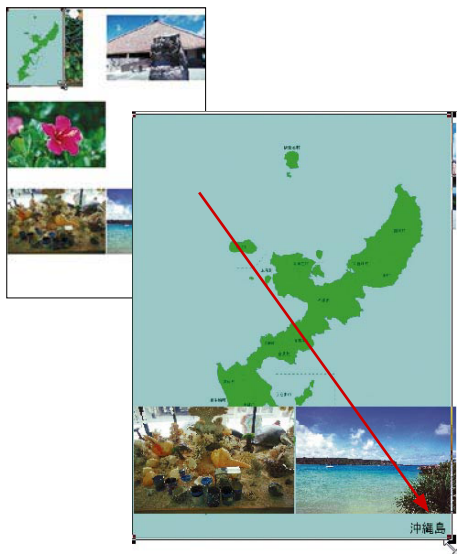
1 【選択】ウインドウが表示されるので、必要枚数の写真を選択します。

2 【OK】を押すと、選択した写真がキャンバスに取り込まれます。



複数の写真を選択する場合は【CTRL】+クリックで選択することができます。

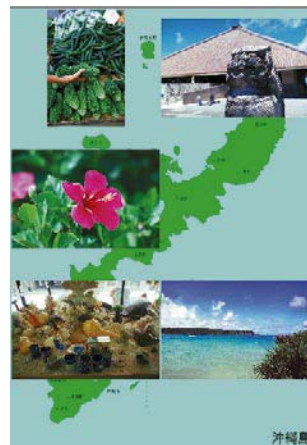
### ▶ 写真の大きさを変えよう



背景にする写真をキャンバス全面に拡大します。

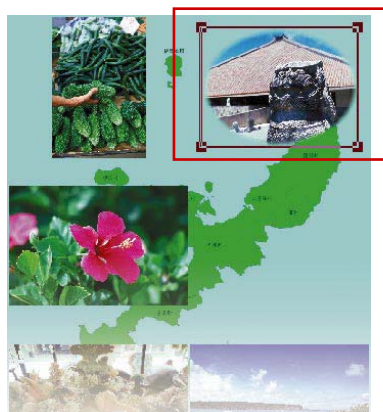
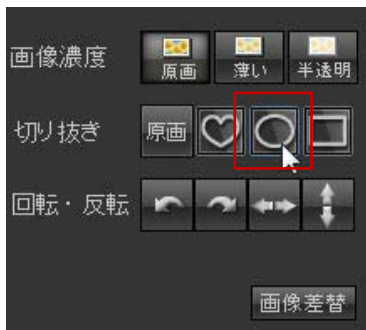
1 写真の四隅に表示されている[■]にカーソルを合わせ、写真の内側に向かってドラッグをすると、写真が縮小されます。逆に、外側に向かってドラッグすると写真が拡大されるので、写真の大きさを調整します。

2 背景写真を拡大したときに、他の写真が隠れてしまう場合は、コントロールパレットの[最背面へ]をクリックします。



### ▶ 写真の形を変えよう

1 形を変える写真をクリックし、コントロールパレットの[切り抜き]から楕円の型をクリックします。  
選択している写真が楕円形に切り抜かれます。



残りの写真も、同様に切抜きを行います。

2-1. 切抜きを行う写真にカーソルを合わせ、クリックし選択します。(枠で囲われていることを確認します)

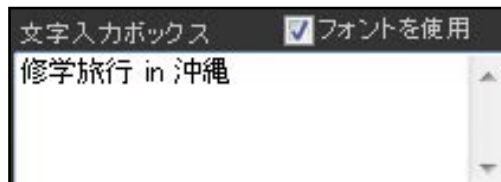
2-2. コントロールパレットの[切り抜き]から型を選択します。

## ▶ 文字を入力しよう

## タイトルをつけます

- 1 コントロールパレットの[文字挿入]をクリックします。

コントロールパレットが文字編集画面に切り替わり、画面右手のキャンバスに「文字列を入力してください」と表示されます。



- 2 画面左上角の[文字入力ボックス]へ入力します。

[文字入力ボックス]の文字をすべて消します。

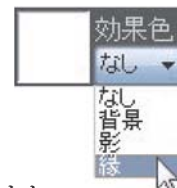
入力する文字を[文字入力ボックス]へ入力します。

必ず文字入力ボックスを一度クリックして、カーソルが点滅していることを確認してから文字の入力を行ってください。

- 3 七色のパレットがコントロールパレットの中段に表示されているので、利用する色の上にカーソルを合わせてクリックをします。



- 4 効果色を設定します。効果色を設定することで、作成した文字に「背景」・「緑」・「影」を付けることができます。



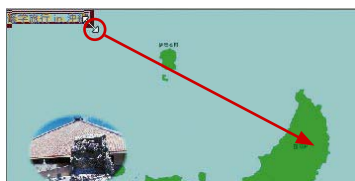
- 5 パレットから使用する色をクリックして選択します。

- 6 すべての設定ができたら、[変更]をクリックします。

作成された文字が、画面右手のキャンバスの画像の左上角に表示されます。

- 7 文字の上にカーソルを合わせてドラッグをすると、文字の位置が移動できます。

また、選択している文字の四隅の「■」をドラッグすると、文字の大きさを調整することができます。



文字の位置と大きさを調整します。

文字の設定内容を変更する場合は、変換したい内容を設定してから、[変更]をクリックします。

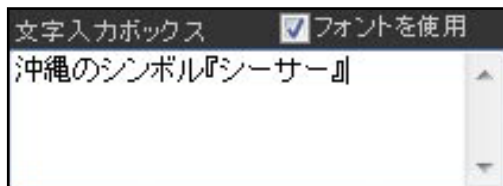
## 第4章

### 120 校内、教室用掲示物の作成

#### 地域の特徴を入力します

1 コントロールパレットの[文字挿入]をクリックします。  
キャンバスに[文字列を入力してください]と表示されます。

2 画面左上角の[文字入力ボックス]へ入力します。  
[文字入力ボックス]の文字をすべて消します。そして、  
入力する文字を[文字入力ボックス]へ入力します。



必ず文字入力ボックスを一度クリックして、カーソルが点滅していることを確認してから文字の入力を行ってください。



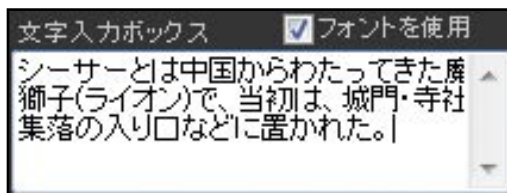
3 すべて設定ができれば、[変更]をクリックします。

4 入力された文字の大きさ・配置を調整します。

#### コメントを入力します

1 コントロールパレットの[文字挿入]をクリックします。  
キャンバスに[文字列を入力してください]と表示されます。

2 画面左上角の[文字入力ボックス]へ本文を入力します。  
[文字入力ボックス]の文字をすべて消します。  
入力する文字を[文字入力ボックス]へ入力します。



必ず文字入力ボックスを一度クリックして、カーソルが点滅していることを確認してから文字の入力を行ってください。

3 すべて設定ができれば、[変更]をクリックします。

4 入力された文字の大きさ・配置を調整します。

文字の入力がすべて終わったら、画像と文字の体裁を再度整えるとさらに見やすく作成できます。

#### ① 文字と画像の移動方法

移動する文字または画像をクリックして選択します。

(選択されると四隅に[■]が表示され黒線で囲われます)

② ドラッグすると移動することができます。



▶ **印刷をしよう** → 印刷方法は38ページを参照ください。

▶ **保存をしよう** → 保存方法は38ページを参照ください。

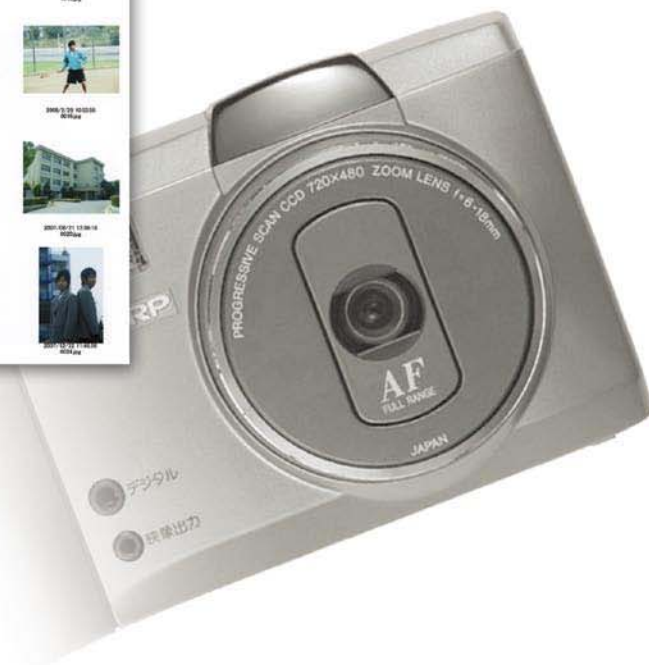
# 修学旅行の写真を インデックス掲示

写真をファイル名や日付などの項目付きのインデックス表示で印刷することができます。修学旅行や郊外学習の写真をインデックス管理することができ、教室内に掲示し生徒に見せることもできます。



## ●事前準備する資料

- インデックス掲示する写真  
ここでは24枚使用します。  
(すべての写真を1つのフォルダに保存してください)



## 第4章

### 122 修学旅行の写真をインデックス掲示

#### ▶ カメラから写真を取り込もう

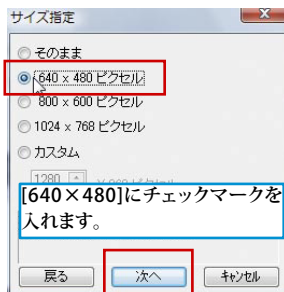
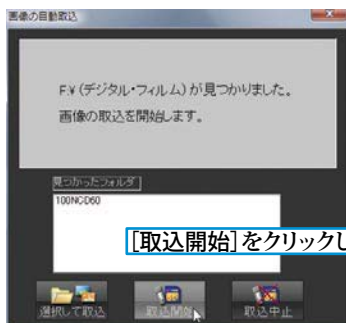
1 デジタルカメラをパソコンに接続して、ツールバーの[カメラ]をクリックします。



2 [画像の自動取込] ウィンドウが表示されます。

3 [サイズ指定] ウィンドウが表示されます。ご利用の用途によって画像のサイズを一括で指定します。

4 [保存フォルダの指定] ウィンドウが表示されます。画像を保存するフォルダを選択し[次へ]をクリックすると、[自動取込中] ウィンドウが表示されます。



数値を入力したら、[次へ]をクリックします。

#### カスタムとは

写真の解像度を任意の数値に設定することができます。数値の入力は長辺のみの入力になります。  
写真の比率は指定したサイズ内に縦横比を維持したまま写真全体が収まるように変換します。

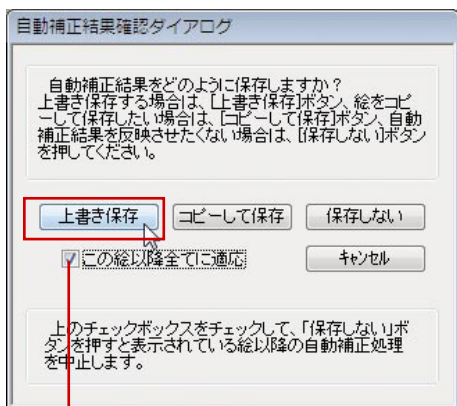
#### ▶ 取り込んだ写真を一括で自動補正しよう



1 ツールバーの[編集]をクリックし、[全て選択 (A)]を選択します。画像セレクタで選択した写真がキャンバスに表示されます。

選択するとすべてのサムネイルがオレンジ色の枠で囲われます。

2 画面左下の[自動補正]をクリックします。



「この絵以降全てに適用」項目の左手に表示されている「」をクリックして、チェックマークを付けてから、a.~c.までの何れかのボタンをクリックすると、複数の画像を選択している場合、現在表示されている画像以降の全ての画像に選択したボタンの操作を連続して実行します。

3 自動補正の処理が開始され、[自動補正結果確認ダイアログ]が表示されます。

#### a. 上書き保存

現在表示されている画像に直接自動補正を実行しています。

#### b. コピーして保存

現在表示されている画像のコピー画像を作成し、コピー画像に自動補正を実行します。

#### c. 保存しない

現在表示されている画像には処理を実行しないようにします。

#### d. キャンセル

自動補正の処理を中止します。

文字の入力がすべて終わったら、画像と文字の体裁を再度整えるとさらに見やすく作成できます。

4 処理が終了すると、画像選択画面に戻ります。

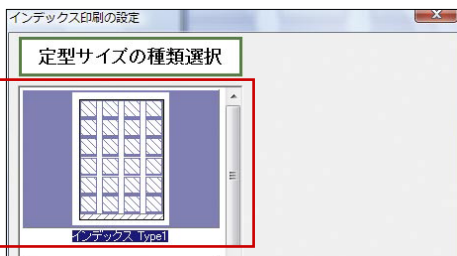
## ▶ テンプレートを選択しよう



1 ツールバーの[作品]をクリックします。



2 [作品セクション]画面が表示されます。



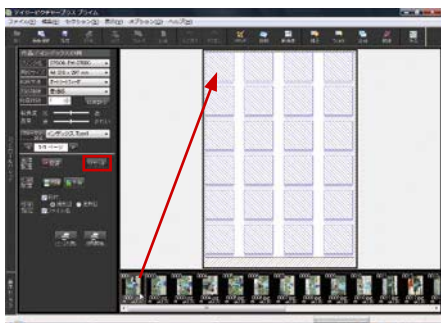
3 [定型サイズの種類選択] ウィンドウが表示されるので、テンプレートを選択します。

4 [OK] をクリックします。

## 第4章

### 124 修学旅行の写真をインデックス掲示

#### ▶ 画像を取り込もう



1 画像セレクタにフォルダの中の写真が表示されています。画像を1枚選択します。選択するとサムネイルがオレンジ色の枠で囲われます。

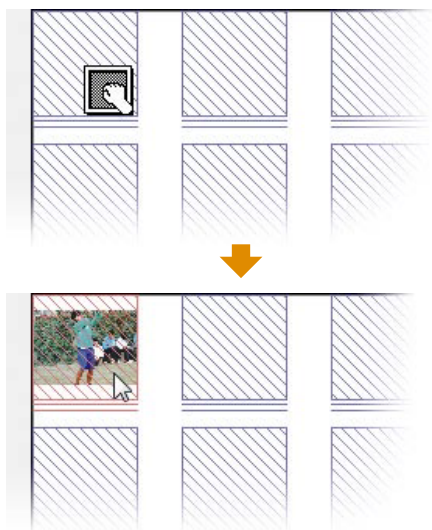
2 ドラッグ&ドロップで、写真を順番に配置します。

#### ドラッグ&ドロップとは・・・

マウスの左ボタンを押したまま、目的の場所まで引きずるように移動し、左ボタンを離します。

補足

並べた写真をすべて削除する場合は[リセット]をクリックします。24枚すべて順番に配置します。



#### ▶ 印刷をしよう

1 [プリンタ名]を設定します。[▼]をクリックすると、お使いのパソコンに接続されているプリンタが表示されます。この中から使用するプリンタを選択します。

2 [用紙サイズ]、[給紙方法]、[用紙種類]を設定します。[▼]をクリックし、用紙のサイズを選択します。

3 [印刷開始]をクリックし、[はい]を選択すると印刷が開始されます。

# ホームページ、ブログ掲載用の写真作成

ホームページやブログに掲載するための写真を作成することができます。

明るさや形、ファイルサイズをホームページやブログに適した写真へ加工します。

[フィルタ]機能を使用することで、生徒の肖像権を保護することもできます。

## ● 事前準備する資料

- 掲載用の写真



## 第4章

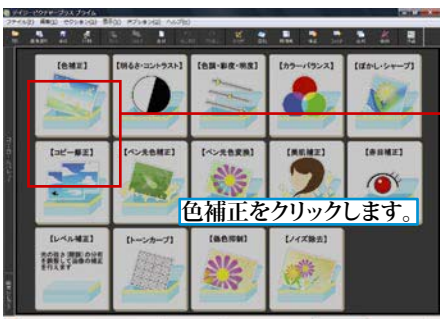
### 126 ホームページ、ブログ掲載用の写真作成

▶ **写真をファイルから取り込もう** → 取り込み方法は23ページを参照ください。

▶ **暗い写真を明るくしよう**



1 ツールバーの[補正]をクリックします。



2 [セクション選択画面]が表示されます。



3 画像の総合的な色補正を行う色補正セクションへ移動します。

色補正セクションへ移動した直後は、ここで操作した画像の状態を比較できるように、[元画像]と[補正画像]が並んで表示されます。

4 [自動補正]をクリックします。



5 [補正画像] (画面右側のプレビュー)に、自動補正を実行した状態が反映されます。



6 [確定]をクリックすると、補正を実行します。



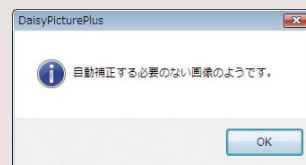
補定

#### 自動補正機能について

[デイズピクチャープラス プライム]には、画像の被写体を認識し、画像の色素や明るさなどの傾向から、自動的に被写体が最も美しく見える補正値を算出して、算出した補正値に補正を実行する「IR (Image Recognition) 補正」機能が実装されています。「自動補正」ボタンをクリックすると、その時点で選択されている画像にこの「IR自動補正」機能を反映させます。

#### ※自動補正の注意点

[自動補正]を選択した際に、下記メッセージが表示される場合があります。これは選択されている画像が、すでに最適な明るさであることを示しているため、[OK]をクリックします。



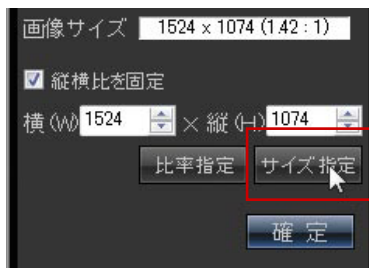
## ▶ 写真のファイル容量を小さくしよう

1 ツールバーの[解像度]をクリックします。

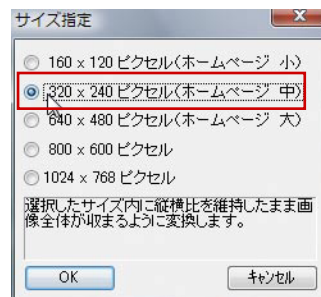


2 画像のサイズを変更する解像度変換セクションへ移動します。

3 [サイズ指定]を選択します。

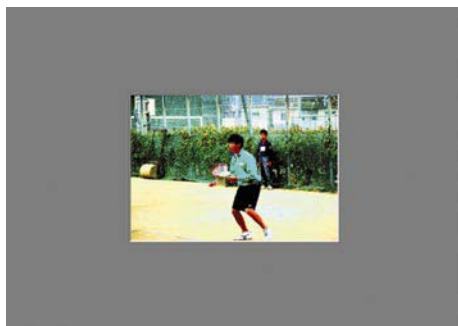


[サイズ指定] ウィンドウが表示されます。



4 ホームページ用の大きさの写真に加工するので、[320×240]に設定します。

[○]にチェックをつけ、[OK]をクリックします。



5 [確定]をクリックすると、写真の大きさが変換され実寸サイズになって表示されます。

## ▶ 顔の部分をぼかしてみよう



1 ツールバーの[フィルタ]をクリックします。



2 [セクション選択画面]が表示されます。

[ペン先フィルタ ぼかし/シャープ]をクリックします。

ぼかし/シャープ

## 第4章

### 128 ホームページ、ブログ掲載用の写真作成

3 効果を設定するための[効果設定]画面が表示されます。

4 [FIT]をクリックし、キャンバスいっぱいに表示します。



5 画面左上のコントロールパレット上部のプレビューを確認しながら、効果の強さを調節します。

[強さ]のツマミを左へスライドします。

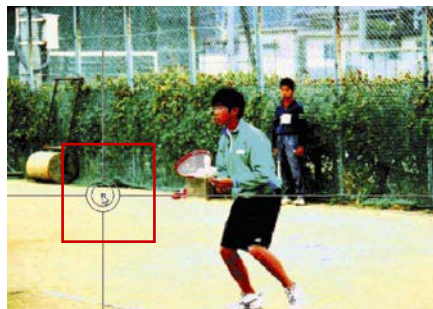


中央のツマミを左方向[弱]へ調節するとぼかし、ツマミを右方向[強]へ調節するとシャープになります。

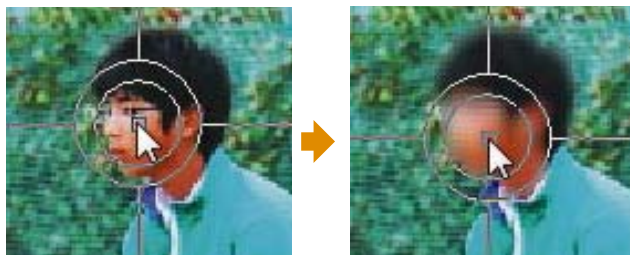
6 [ペン設定]をクリックして[ペン設定]画面に切り替えます。



7 [元画像]にカーソルを合わせると、マウスポインタを囲むように◎が表示されます。



8 ぼかし効果を出す部分にカーソルを合わせドラッグをすると、なぞった部分に効果を出すことができます。



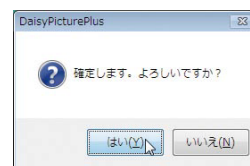
はみ出した場合や、失敗した場合は右ドラッグをすると効果を消すことができます。

9 [確定]をクリックすると、下記のウィンドウが表示されるので[はい]を選択します。

[ぼかし]の効果が弱いときは、[確定]操作後、再度ぼかし効果を描けると、効果が強くなります。

補足

▶ **保存をしよう** → 保存方法は27ページを参照ください。



# ホームページのアイコンを作ろう

学校のホームページに掲載するアニメーションアイコンを作成します。ここでは、ホームページを更新したときに活用される[NEW]のアイコンを作成します。

## ● 事前準備する資料

- アイコンのデザインイメージ



### 新着情報

2009/5/18  PTA 総会校長挨拶

2009/4/13 初めての全校朝礼

🔄 一覧

## 素材について

このタイトルの作例は下記の2種類の方法で取得できます。

- インストールCD-ROM内の[sample]フォルダ  
(操作方法はマニュアルの126ページをご覧ください)
- 市川ソフトウェアラボラトリーのホームページ  
[画像の学習.com]からダウンロード

## 第4章

### 130 ホームページのアイコンを作ろう

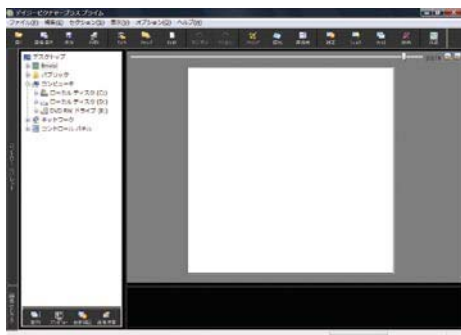
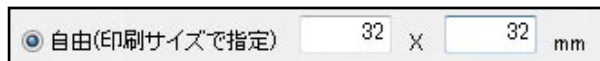
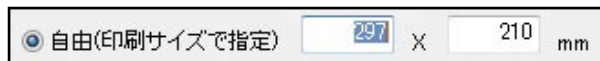
#### ▶ 白紙を用意しよう



1 ツールバーの[白紙]をクリックします。

2 [サイズ設定]ウインドウが表示されます。

- 1 [自由(ピクセル数で指定)]を選択します。
- 2 pixellは[32×32]に設定します。



デジピクチャープラス プライムで作成できる白紙の画像pixel数は[32×32]から[6144×6144]までになります。

3 [OK]をクリックします。

画面に小さいキャンバスが表示されます。

#### ▶ テンプレートを決めよう



1 ツールバーの[作品]をクリックします。

2 [作品セクション]画面が表示されます。



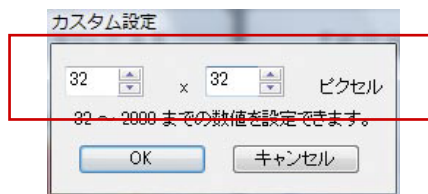
アニメーションをクリックします。



3 [アニメーションの設定] ウィンドウが表示されるので、アニメーションの画面サイズを選択します。



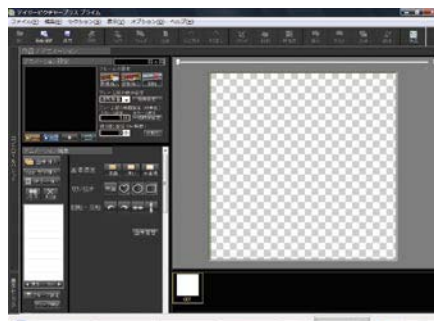
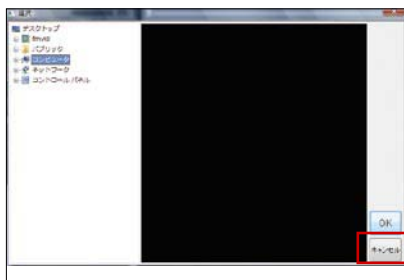
- ① [カスタム]を選択します。
- ② [OK]をクリックします。
- ③ [カスタム設定]ウィンドウが表示されます。
- ④ ピクセル数は[32×32]と入力します。



4 [OK]をクリックします。

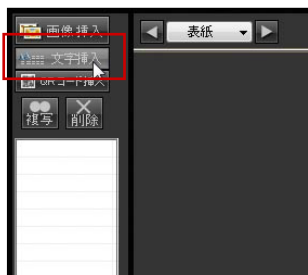
5 [選択]ウィンドウが表示されます。

ここでは写真は使用しないので、[キャンセル]をクリックします。  
格子状の背景の正方形のキャンバスが表示されます。

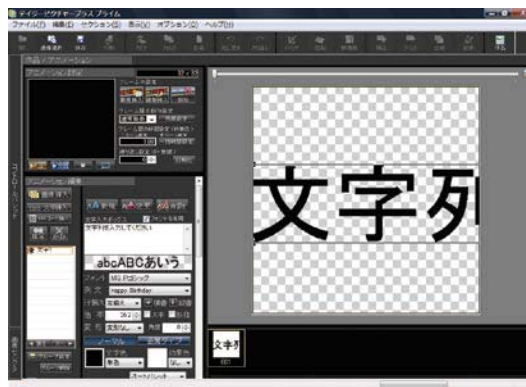


## ▶ 文字を入力しよう

1 コントロールパレットの[文字挿入]をクリックします。



画面右手のキャンバスに[文字列を入力してください]と表示されます。



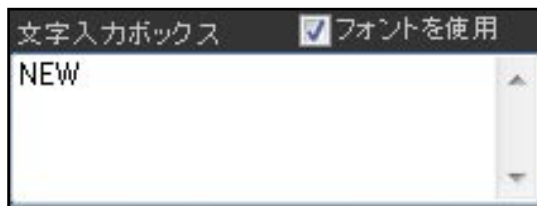
## 第4章

### 132 ホームページのアイコンを作ろう

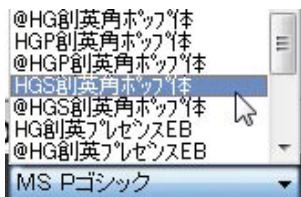
- 2 画面左上角の[文字入力ボックス]に文章を入力します。

[文字入力ボックス]の文字をすべて消します。  
入力する文字を[文字入力ボックス]へ入力します。

必ず文字入力ボックスを一度クリックして、カーソルが点滅していることを確認してから文字の入力を行っています。



- 3 文章を入力したら、「フォント(フォントの種類)」を設定します。



フォントはお使いのパソコンによって種類が異なります。

## ▶ 文字の色をグラデーションにしよう

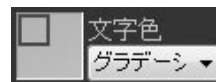
- 1 [コントロールパレット]のスクロールバーを下にスライドするとメニューが移動して色が選択できる[パレット]が表示されます。



- 2 [文字色]から[グラデーション]を選択します。



左手の色のプレビューに小さな[□]が表示されます。



Aの部分を選択されていることを確認します。

- ① [オートパレット]から使用する色を1色選択します。

デジビクチャープラス プライムのグラデーションは、カレントカラーを4つの色を四辺に組み合わせて色を作ります。





カレントカラーの B の部分が選択した黄色に変わります。

- ② カレントカラーの B の部分をクリックします。  
[□]の位置が変わります。

[□]の位置が変わったのを確認したら、[オートパレット]からグラデーションに使用する2色目を選択します。



上記の方法で、4色の色を決めて登録します。

- ③ [コントロールパレット]のスクロールバーを上をスライドするとメニューが移動して[変更]が表示されます。



[変更]をクリックすると、キャンバスの文字が変更されます。



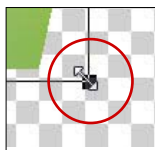
## ▶ キャンバスに文字を配置して大きさを換えよう

- ① 入力した文字にマウスのカーソルを合わせると、カーソルが[↔]に変わります。  
② 文字をキャンバスのやや左上に合わせます。

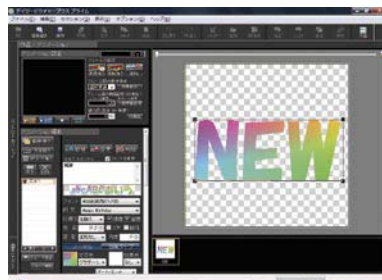


文字をキャンバスの真ん中に拡大します。

- ③ 文字の四隅に表示されている[■]にカーソルを合わせると、カーソルが矢印に変わります。



文字の内側に向かってドラッグをすると、文字が縮小され、逆に外側に向かってドラッグすると文字が拡大されます。



1フレーム目が作成されました。

補足

[画像セレクト]に[001]という黄色い枠で囲われたフレームが作成されています。  
最初の1フレーム目は写真を取り込んだと同時に作成され、キャンバスの文字や写真を動かすと、フレームのサムネイル画像も連動して動きます。

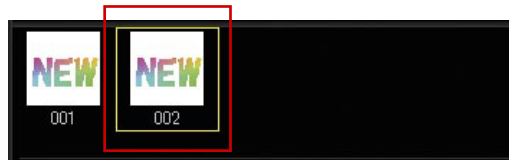
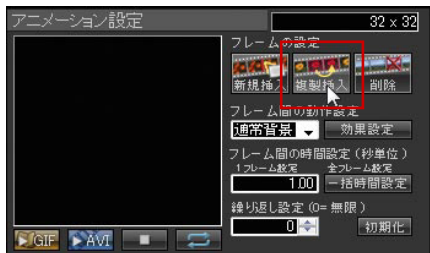
## 第4章

### 134 ホームページのアイコンを作ろう

#### ▶ 2フレーム目を作ろう

1 [複製挿入]をクリックします。

[画像セレクトタ]に2フレーム目が作成されます。



補足

2フレーム目以降は、前にあるフレームを複製(コピー)して作成されます。1フレーム目を修正する場合は、[画像セレクトタ]の1フレーム目をクリックします。クリックすると、フレームのサムネイルが黄色い枠で囲われ、キャンバスに1フレーム目が表示されます。

2 文字のグラデーションの色を変更しよう

132~133ページの方法でグラデーションの色を作ります。



3 [変更]をクリックするとキャンバスに色が反映され2フレーム目に結果が表示されます。

この操作方法でフレームを登録します。



ここでは5フレームを登録しました。

補足

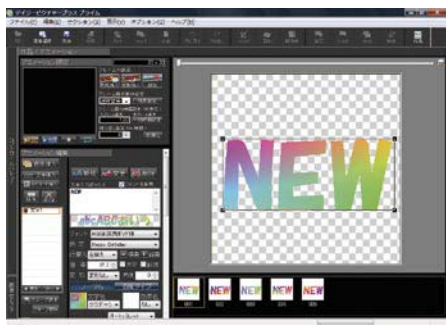
最後の1フレームを登録する場合

最後の1フレームを作成したら、[複製挿入]は押さずにそのままにします。[複製挿入]をクリックすると、次のフレームが作成されてしまいます。

フレームを削除する場合は、削除したいフレームをサムネイルから選択します。サムネイルが黄色い枠で囲われていることを確認したら、[削除]をクリックします。

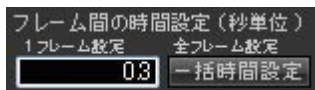
▶ フレームの表示時間を設定しよう 方法が2通りあるので、用途に合った方法で設定してください。

● フレームの表示時間を設定しよう



1 表示時間を変えるフレームを選択します。





- [フレーム間の時間設定(秒単位)]を設定します。  
[1フレーム設定]の初期値は1.00(1秒)となっています。  
数値を入力します。

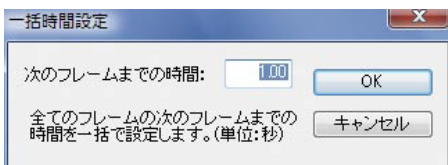
上記の方法で、全てのフレーム間の表示時間を設定します。

## ● フレームの表示時間を一括で設定しよう

一括時間設定

- [全フレーム設定]の[一括時間設定]をクリックします。

- [一括時間設定]ウィンドウが表示されます。



- [次のフレームまでの時間]を設定します。  
初期値は1.00(1秒)となっており、0.01秒まで設定できます。



- 秒数を指定したら、[OK]をクリックします。

上記の方法で、全てのフレーム間の表示時間を設定します。

## ▶ 再生回数を設定して動きを確認しよう



- [繰り返し設定]は初期値は[0]になっています。

[0]=[無限]という設定になっており、ずっと再生し続けます。

回数を指定する場合はエディットコントロールまたはスピンコントロールで回数を指定します。

再生回数は最高999回になっています。

## 第4章

### 136 ホームページのアイコンを作ろう

- 1 再生は[GIF(パラパラ漫画)]と[AVI(映像)]で行うことができます。ストップモーションアニメはパラパラ漫画の動きになりますので、[GIF]を選択します。

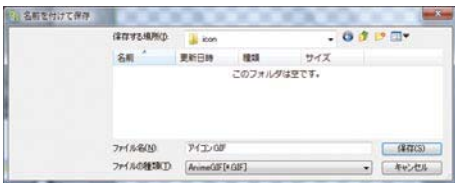


- 2 [GIF]ボタンをクリックすると、左上のプレビュー画面に上記で作成したアニメーションが再生されます。

#### ▶ 作品を保存しよう



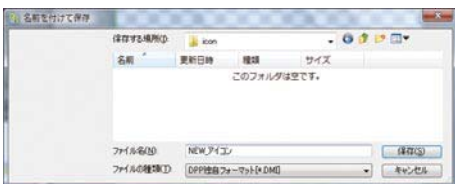
- 1 ツールバーの[保存]をクリックします。
- 2 [名前を付けて保存]ウインドウが表示されます。
- 3 [保存する場所]の[▼]をクリックすると、保存先が選択できるので任意の保存先を設定してください。
- 4 [ファイル名]はこの作品の任意のファイル名をつけてください。
- 5 [ファイルの種類]は場合、[\* .GIF]を選択します。
- 6 [保存]をクリックするとアニメーションの保存が完了します。



#### ● 作業を途中で中断して保存する場合



- 1 ツールバーの[保存]をクリックします。
- 2 [名前を付けて保存]ウインドウが表示されます。
- 3 [保存する場所]の[▼]をクリックすると、保存先が選択できるので任意の保存先を設定してください。
- 4 [ファイル名]はこの作品の任意のファイル名をつけてください。
- 5 [ファイルの種類]は、[\* .DMI]を選択します。
- 6 [保存]をクリックするとアニメーションの保存が完了します。



[DMI]形式で保存を行うと、作業の工程をそのまま保存できます。保存したデータを開いたときに、前回の続きから作業を行うことができます。

- 6 [保存]をクリックするとアニメーションの保存が完了します。

# 校務用名刺の作成



写真やQRコード入りの名刺を作成できます。  
学校の写真や校章、部活動などの写真入り名刺  
を作成することができます。

## ●事前準備する資料

- 名刺に掲載する写真
- 名刺に記載する内容



## 第4章

### 138 校務用名刺の作成

▶ **写真をファイルから取り込もう** → 取り込み方法は23ページを参照ください。

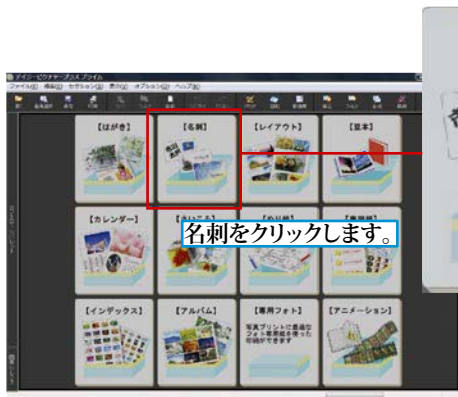
▶ **テンプレートを決めよう**



1 ツールバーの[作品]をクリックします。

2 [作品セクション]画面が表示されます。

3 テンプレートを選択し、[OK]をクリックします。

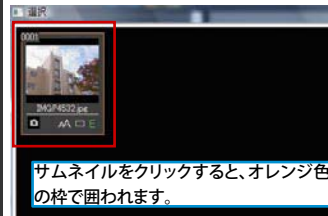


▶ **写真を差し替えよう**



1 [人のイラスト]をクリックします。

コントロールパレットの[画像差替]をクリックすると[選択]ウィンドウが表示されるので、名刺に掲載する写真を選択して[OK]をクリックします。





写真にカーソルを合わせ、ドラッグをすると写真の位置を移動できます。

### 写真の大きさが合わない場合

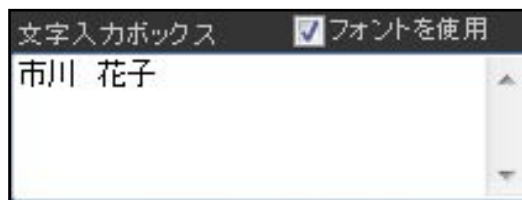
- ① 写真が選択された状態(写真の四隅に[■]が表示されている)を確認します。選択されていなければ、大きさを変える写真をクリックして選択します。
- ② 写真の四隅の[■]にカーソルを合わせます。カーソルが斜めの矢印に変わります。

## ▶ 文字を入力しよう

あらかじめテンプレートで文字が配置してあるので、その文字を「変更」する入力方法でご案内します。

### 名前を変更します

- ① 画面右手の写真から変更する文字(名前)をクリックして選択します。
- ② 画面左上角の[文字入力ボックス]の文字をすべて消します。  
[文字入力ボックス]へ名前を入力します。



- ③ [変更]をクリックします。  
画面右手のキャンパスの[名前]が変更されます。

### 担当教科を入力します

- ① 画面右手から変更する文字(営業部 部長)をクリックして選択します。
- ② 画面左上角の[文字入力ボックス]の文字をすべて消します。  
入力する文字を[文字入力ボックス]へ入力します。



- ③ [変更]をクリックします。

入力した文字がキャンパスの名刺に反映されます。

上記の工程を繰り返し、名刺の必要事項を作成していきます。

## 第4章

### 140 校務用名刺の作成

#### 学校名を入力します～新規で文字を追加します～

- 1 コントロールパレットの[文字挿入]をクリックします。

コントロールパレットが文字編集画面に切り替わり、画面右手のキャンパスに[文字列を入力してください]と表示されます。



- 2 画面左上角の[文字入力ボックス]の文字をすべて消します。  
入力する文字を[文字入力ボックス]へ入力します。
- 3 [変更]をクリックします。



入力した文字がキャンパスの名刺に反映されます。

#### ▶ 文字の大きさと配置を調節します

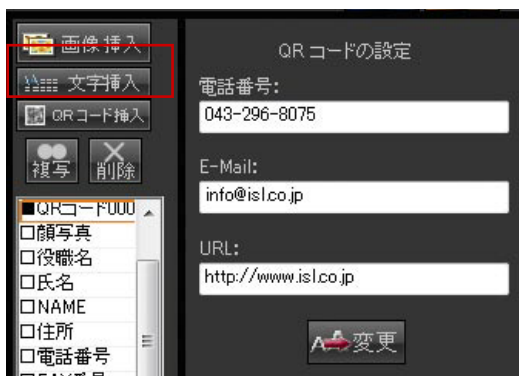


- 1 最後に、文字の位置と大きさを調整します。

文字の選択枠の中にカーソルを合わせて左ドラッグをすると、文字の位置が移動できるので、配置を調整します。

また、文字の範囲枠上の[■]をドラッグすると、文字の大きさを変えることができるので調整します。

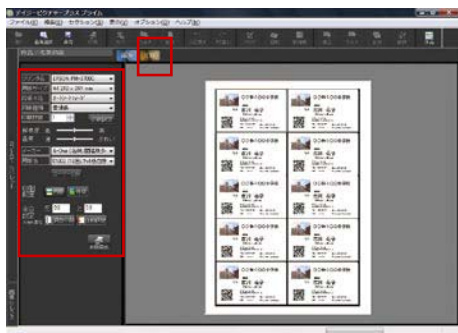
#### ▶ QRコードを作成しよう



- 1 画面右手のキャンパスから[QRコード]を選択します。
- 2 コントロールパレットに[電話番号] [E-Mail] [URL]の入力枠が表示されます。  
使用する項目をそれぞれ入力します。  
  
すべて入力しなくても、作成することはできます。  
入力は、半角英数字で行ってください。
- 3 [変更]をクリックすると、入力した内容が名刺のQRコードに反映されます。

## ▶ 印刷をしよう

1 タブの[印刷]をクリックします。



2 印刷の画面が表示されます。

3 [プリンタ名]を設定します。[▼]をクリックすると、お使いのパソコンに接続されているプリンタが表示されます。この中から使用するプリンタを選択します。

4 [用紙サイズ]を設定します。[▼]をクリックし、用紙のサイズを選択します。

ここでは、設定の変更は必要ありません。

5 [給紙方法]、[用紙種類]は任意の設定を行います。

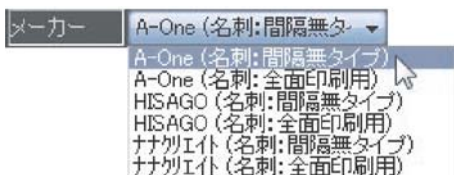
6 用紙の向きは[印刷設定]をクリックし、お使いのプリンタの[プロパティ]から設定をしてください。

ここでは縦で印刷を行うので、そのままにします。

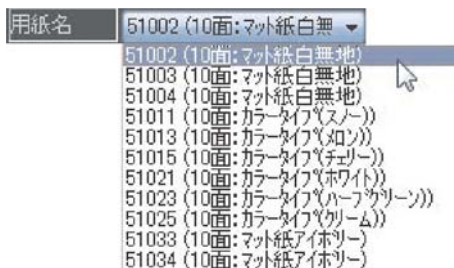
プリンタのプロパティの設定につきましては、ご利用のプリンタの取扱説明書をご覧ください。

7 [メーカー]はこれから使用する名刺用紙のメーカーを設定する部分です。[▼]をクリックすると、メーカー名が表示されます。

この中から対象のメーカーを選択します。



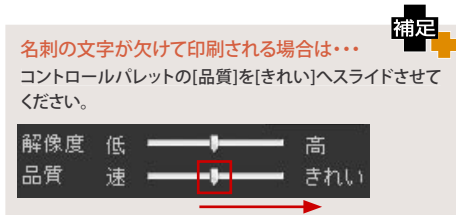
8 [用紙名]を設定します。7で設定したメーカーの対応している用紙の型番が表示されるので、対象の型番の用紙を選択します。



9 印刷の配置は[内接]をクリックし、用紙に作品がすべて収まるようにしてください。

用紙サイズを変更した場合は、キャンパス上の印刷イメージが変更されます。

10 [印刷開始]をクリックすると、印刷が開始されます。



## ▶ 保存をしよう → 保存方法は52ページを参照ください。

## 第4章

142 被写体の背景を透明にして活用しよう ～透過GIFの作成方法～

# 被写体の背景を透明にして 活用しよう

## ～透過GIFの作成方法～

イラストや写真の被写体部分だけを切り抜いて他の資料に貼り付けることができます。

学級通信の挿絵やホームページのイラストとして、さまざまな活用方法があります。

### ● 事前準備する資料

- 掲載用の写真



### <9月の目標>

## きそく正しい生活をしましょう

生活のリズムを早く取り戻して、落ち着いた学校生活を送りたいと思います。

### 学習予定

国語	「みんなで遊ぼう集会」を開こう・学級新聞を作ろう・漢字の学習
社会	音の道具と暮らしの変化
算数	少数・倍数になるかな・面積
理科	「生きものを調べよう(夏の終わり)」とじこめた空気や水をおしてみよう
音楽	音楽め 音のカーニバル
図工	ポップアートカード
体育	水泳・跳び箱運動・体カテスト
道徳	「思慮・反省」「信頼・友情」「規則・尊重」
学活	「係活動を見直そう」「生活のリズムを整えよう」
総合	ツルレイシの栽培を発展させて自分の課題に沿ってまどめていこう。



## お知らせとお願い

### ☆ 9月1日教科書配布について

新しい教科書を、9月1日に配布します。【国語(下)・算数(下)・理科(下)】使用は10月頃からです。使用する際には、連絡帳等でお知らせしますので、記名をして大切に保管しておいてください。ノートは前期の続きを使用します。使い終わったら、各自で同じ目録のものを用意してください。

### ☆ 避難訓練について

9月1日(金)は、避難訓練があります。(雨天の場合:9月5日)  
保護者の皆さまへの引渡しは今回は行いません。

### ☆ 持ち物について

防災頭巾、鍵盤ハーモニカ、道具箱、のり、はさみ、色鉛筆等、家庭に持ち帰った学用品を早めにもたせてください。足りないものは補充して持たせてください。また給食で使うランチマットはいつも清潔なもの

▶ **写真をファイルから取り込もう** → 取り込み方法は23ページを参照ください。

▶ **写真のファイル容量を小さくしよう**



1 ツールバーの[解像度]をクリックします。

2 画像の容量(サイズ)を変更する解像度変換セクションへ移動します。

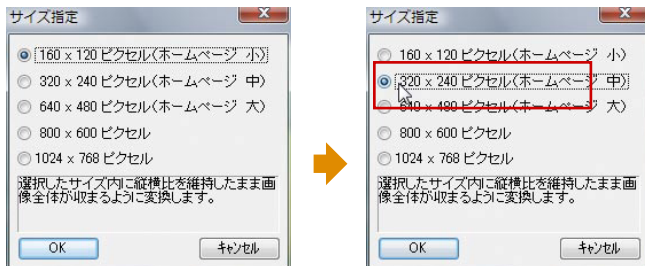
3 [サイズ指定]を選択します。

[サイズ指定]ウインドウが表示されます。



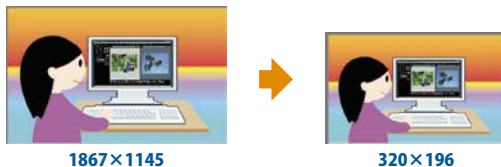
4 ホームページ用の大きさの写真に加工するので、[320×240]に設定します。

[○]にチェックをつけ、[OK]をクリックします。



画像サイズについては149ページの「用途別解像度一覧表」をご覧ください。

5 [確定]をクリックすると、写真の大きさが変換され実寸サイズになって表示されます。



▶ **加工した写真を保存しよう**



解像度変換をした写真を保存をします。

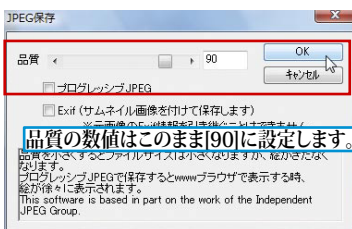
1 ツールバーの[保存]をクリックします。

2 [名前を付けて保存]ウインドウが表示されます。

3 [保存する場所]の[▼]をクリックすると、保存先が選択できるので任意の保存先を設定します。

4 [ファイル名]はこの作品の任意のファイル名をつけます。

5 [ファイルの種類]は[JPEG (\*.jpg)]を選択します。



6 [保存]をクリックします。

7 [JPEG保存]ウインドウが表示されます。

保存形式についての解説は149ページの「保存形式一覧表」をご覧ください。

## 第4章

### 144 被写体の背景を透明にして活用しよう ～透過GIFの作成方法～

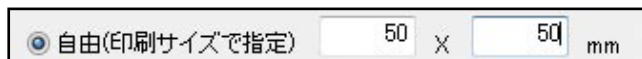
#### ▶ 白紙を用意しよう



1 ツールバーの[白紙]をクリックします。

2 [サイズ設定]ウインドウが表示されます。

イラストのサイズを[mm]単位で指定します。  
(イラストの実寸のサイズをここで指定します)



[自由(印刷サイズで指定)]にチェックを入れ、サイズを  
[50mm×50mm]にします。

デジピクチャープラス プライムで作成できる白紙の画像pixel数は[32×32]から[6144  
×6144]までになります。

3 解像度を設定します。

[自由]にチェックが入っていることを確認します。

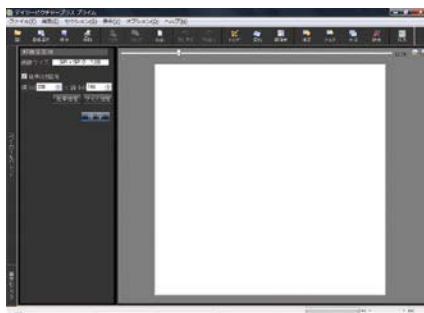


DPIの数値を[300]に設定します。

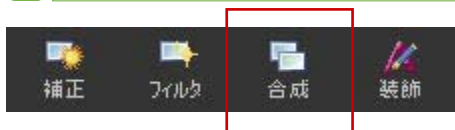
DPIについての詳しい内容は150ページを参照ください。

4 [OK]をクリックします。

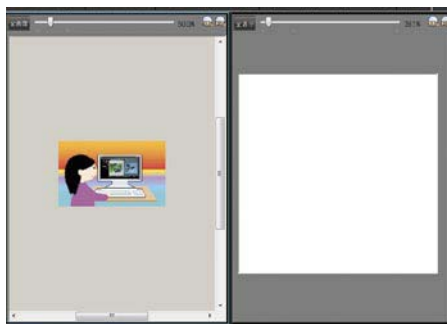
5 画面に正方形の白いキャンバスが表示されます。



#### ▶ 合成する写真を用意しよう



1 ツールバーの[合成]をクリックします。

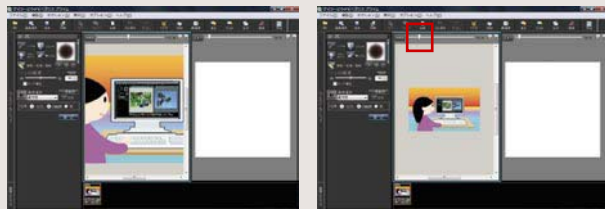


合成セクション画面が開きます。

## ▶ 写真の大きさを整えよう

### 左の写真が大きい場合

左のキャンバスの上に[拡縮スクロールバー]があります。  
このスクロールバーを左へスライドすると写真が小さく表示されます。



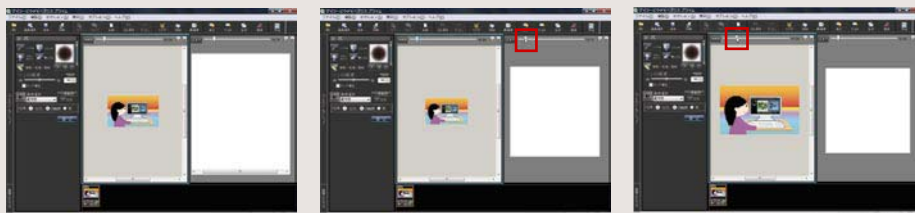
補定

スクロールバーを一番左へスライドさせても、まだ写真が大きい場合は写真の解像度変換を行うと大きさを小さくすることができます。

解像度変換についての解説は57ページをご覧ください。

### 右の写真が大きい場合

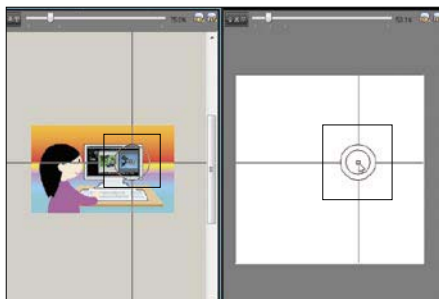
右のキャンバスの上に[拡縮スクロールバー]があります。  
このスクロールバーを左へスライドすると写真が小さく表示されます。  
同時に、左のキャンバスの写真も小さくなるので、左のキャンバスの上の[拡縮スクロールバー]をスライドさせ、写真の大きさを調整します。



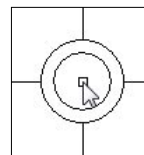
補定

## ▶ 背景に写真を合成しよう

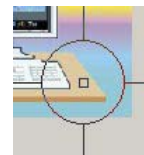
1 マウスのカーソルを右キャンバスの白紙(背景)へ合わせます。



マウスのカーソルを中心に2重の円と縦横の十字線が表示されます。



同時に左の写真(被写体)にも1重の円と縦横の十字線が表示されます。カーソルを動かすとわかりますが、この2つの円は連動して動いています。

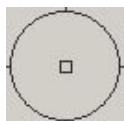


POINT!

合成を行うときはマウスのカーソルは必ず右の写真(背景)に合わせてください。

## 第4章

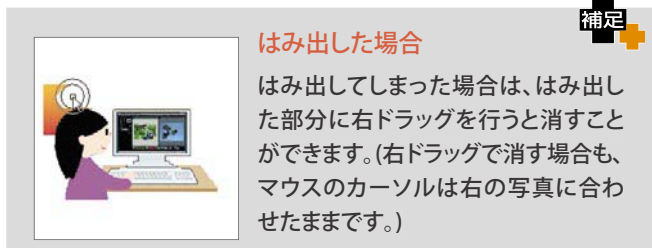
### 146 被写体の背景を透明にして活用しよう ～透過GIFの作成方法～



2 左の写真に表示されている円の中心に小さな□があります。この□をペンの先になります。

□を合成する被写体の内側に沿ってドラッグをします。

右の写真に左の写真でドラッグした部分が合成されます。



#### ▶ 合成した被写体を移動しよう

1 コントロールパレットの[移動/拡縮/回転]をクリックします。

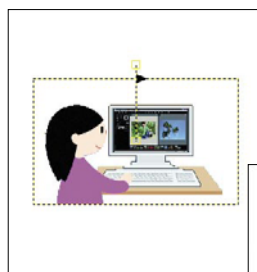


2 マウスのカーソルを黄色い点線内へ合わせます。

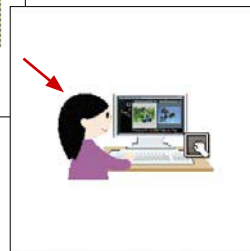
カーソルが矢印から[]のマークへ変わります。

3 ドラッグをすると合成した部分を移動することができます。

同時に左側の写真の位置も移動します。



合成した被写体に黄色い点線が表示されます。



#### ▶ 合成した被写体を拡縮しよう

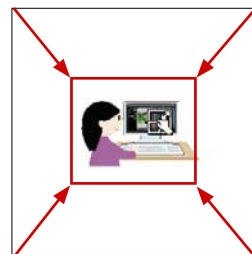
1 マウスのカーソルを黄色い点線内へ合わせます。

カーソルが矢印から[]のマークへ変わります。

2 右下へ向かって右ドラッグを行うと合成した被写体が拡大されます。



拡大




縮小

左上へ向かって右ドラッグを行うと合成した被写体が縮小されます。

## ▶ 合成した被写体の角度を変えよう

- 1 黄色い点線の上部に、黄色い[□]が表示されています。  
黄色い[□]にマウスのカーソルを合わせます。

カーソルが矢印からへ変わります。



- 2 右へドラッグを行うと合成した被写体が右へ回転します。

左へドラッグを行うと合成した被写体が左へ回転します。



### POINT!



ドラッグ中は画像がモザイク状になりますが、ドラッグしている指を放すと、元の画像の状態に戻ります。



- 3 効果が掛け終わったら、必ず最後に[確定]をクリックしてください。

[確定]操作を行った後では、[効果]をかけることはできませんので、ご注意ください。

補足

## 保存をしよう → 保存方法は27ページを参照ください。



### 保存形式について

背景を透過して保存をする場合は、保存形式を[\* .GIF]にしてください。[保存]をクリックすると、[GIF保存]ウインドウが表示されます。[白を透明色にする]を選択し、[OK]をクリックすると背景を透過して保存が完了します。

補足

# その他の活用事例のご紹介

## 体育祭・文化祭のプログラムポスターを作ろう

写真をベースにしたポスターを作成することができます。写真に文字を入力し体育祭のプログラムポスターや文化祭の告知ポスターなどを作成することができます。

- 操作手順
  - ① テンプレートを決めよう ▶
  - ② 写真を挿入しよう ▶
  - ③ 文字を入力しよう ▶
  - ④ 印刷を入力しよう

詳しい操作説明は31ページを参照ください。

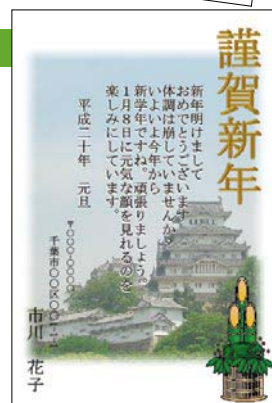


## 年賀状・暑中お見舞い作成

20種類のテンプレートで年賀状を簡単に作成できます。生徒用や先生同士の年賀状として活用することができます。

- 操作手順
  - ① テンプレートを決めよう ▶
  - ② 写真を挿入しよう ▶
  - ③ 文字を入力しよう ▶
  - ④ 印刷を入力しよう

詳しい操作説明は39ページを参照ください。



## 卒業アルバムCDを作成

58ページで作成したミニアルバムのデータや学校生活の写真をスライドショーとしてCDにでき、デジピクチャープラス プライムが無くて再生できるスライドCDを作ることができます。

学校生活や行事などの記録をミニ卒業アルバムと一緒に生徒へプレゼントすることができます。卒業式当日の写真をデジピクチャープラス プライムを通してスライドCDにして、最後のホームルームでプレゼントすることもできます。

- 操作手順
  - ① カメラから写真を取り込む ▶
  - ② 一括自動補正 ▶
  - ③ スライドショー出力

詳しい操作説明は67ページを参照ください。



## 保存形式一覧表

ファイル形式	拡張子	説明
BMP	.bmp	Windowsが標準でサポートしている画像形式です。白黒(2値)の画像からフルカラー(1677万7216色)までの色数を指定でき、基本的には無圧縮で画像を保存します。
JPEG	.jpg .jpeg	JPGまたはJPEG形式は、Joint Photographic Experts Groupという名の形式です。厳密に言えば、JPEGはファイル形式ではなく、圧縮アルゴリズムの種類に属します。JPEGのフォーマットはJFIF(JPEG File Interchange Format [8])で、この形式に準拠したファイルを通常“JPGファイル”といいます。
GIF	.gif	256色までの画像を保存することができ、JPEGが苦手なイラストやアイコンなどの保存に向いています。動画を保存できるアニメーションGIFや、透明色を指定して背景イメージと重ね合わせることができるトランスパレントGIF、全体をダウンロードしなくてもイメージの確認ができるインターレースGIFなどの拡張仕様があります。
PNG	.png	JPEGやGIFに代わってWWW上で広く使われることを目指して開発されました。これはファイル圧縮フォーマットのZipなどでも採用されている方式で、LZ77とハフマン符号化の2段階の圧縮を行なう方式です。
TIFF	.tif	TIFFは非圧縮が基本で、1枚の画像データを解像度や色数、符号化方式の異なるいろいろな形式で一つのファイルにまとめて格納でき比較的应用ソフトに依存しない画像フォーマットとなっています。
AVI	.AVI	Windowsの標準的なビデオファイルを扱うための標準的形式のことです。様々な形式によってエンコードされているので、再生するためには個々の形式にあったコーデックが必要となります。
DCI	.dci	デジビクチャープラス プライム独自形式で、作品の文字、フレームが変更することができます。
PSI	.psi	デジビクチャープラス プライム作品[はがき]用独自形式で、作成中の[はがき]を再編集することができます。
NCI	.nci	デジビクチャープラス プライム作品[名刺]用独自形式で、作成中の[名刺]を再編集することができます。
LYI	.lyi	デジビクチャープラス プライム作品[レイアウト]用独自形式で、作成中の[レイアウト]を再編集することができます。
BNI	.bni	デジビクチャープラス プライム作品[豆本]用独自形式で、作成中の[豆本]を再編集することができます。
CLI	.cli	デジビクチャープラス プライム作品[カレンダー]用独自形式で、作成中の[カレンダー]を再編集することができます。
DMI	.dmi	デジビクチャープラス プライム作品[アニメーション]用独自形式で、作成中の[アニメーション]を再編集することができます。

## 用途別解像度一覧表

ピクセル数	総画素数	授業最適画素数		ホームページ	メール送信	学級通信	写真用紙
160×120	2万画素	○	画質が粗い	小			
320×240	8万画素	○	画質がやや粗い	中			
640×480	30万画素	◎	最適	大	小	小	
800×600	48万画素	◎	最適		中	中	
1024×768	80万画素	◎	最適		大	大	
1280×960	123万画素	○	動作がやや遅い				L版
1600×1200	200万画素	○	動作がやや遅い				2L版
2560×1920	500万画素	×	動作が遅い				A4

### デジタル画像の仕組み

デジタル画像は、ピクセル(Pixel,ドットdotともいう)と呼ばれる細かい四角形が集まって構成させています。ピクセルの1つ1つに色の情報が記録されており、全体で1枚の画像となります。



### 画素とは

デジカメを購入するときなどに1000万画素、1200万画素などと言う言葉を聞くかと思います。画素とは画像を構成するピクセルの数を示しています。1000万画素とは1枚の画像に1000万個のピクセルを敷き詰めた画像を表示できるということになります。画素数が高いほど画像は鮮明ですがファイル容量が大きくなります。

画素は画像の[横のピクセル]×[縦のピクセル]で計算することができます。

例.  $3872 \times 2592 = \text{約}1000\text{万画素}$

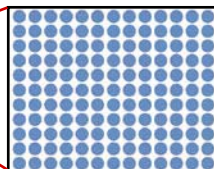
縦 2592ピクセル



横 3872ピクセル

### DPIとは

DPIとはdot per inch の略で、1インチ(約2.54cm)あたりのドット(点)の数を表し、コンピュータ上で用いる画像データの精度を表す単位として用いられています。またディスプレイの表示やプリンタの印刷の詳細さを示す解像度としても用いられています。この数字が大きいほど1インチ中のドット(点)の密度が高いことを示しており、画像をより詳細に表現することができます。



1インチ(2.54cm)

#### プリンタ

1インチあたり何個のドットで画像や文字を印刷することができるかを示します。例えば、4800dpiなら、1インチのあいだに最大4800個の点が並ぶということで、数値が大きいほど画像や文字を綺麗に印刷することができます。

#### スキャナ

画像を1インチあたり何個のドットで読み込むことができるかを示し、数値が大きいほど精細にデータを読みとることができます。

解像度変換とは

解像度変換とはデジタル画像のサイズを拡大／縮小することを言います。拡大とはピクセルを増やして画像の縦横のサイズを大きくすることで、逆に縮小とはピクセルを減らして画像のサイズを小さくすることです。

縮小は、画像の色情報を減らしファイル容量を小さくすることができるので、ホームページ用の画像を作成するときや、メール添付用の画像を作成するときに便利です。

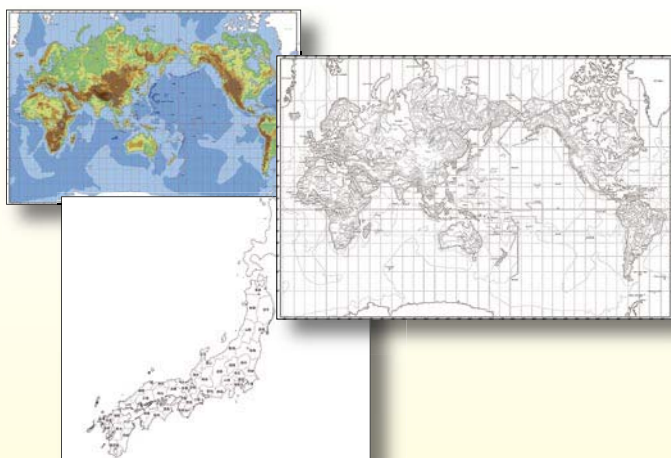
- ※ 解像度変換は、基本的には画像サイズを小さくすることを目的としてご活用ください。解像度を大きくすると画質は粗く、ファイル容量は大きくなってしまいます。



その他 学校活用例



お菓子のパッケージ  
[合成+描画+文字]



白地図を作ろう  
[スキャナ+フィルタ(デッサン+モノクロ)]



自己紹介カード/英語のネームカード  
[名刺]



アニメーションストーリー  
[文字+フィルタ(絵画調)+アニメーション]

補正の種類



色補正～自動補正



明るさ(左)・コントラスト(右)



色調・彩度・明度～色調(オレンジ)



色調・彩度・明度～彩度(+)



色調・彩度・明度～明度(-)



カラーバランス



レベル補正



トーンカーブ



ぼかし・シャープ～ぼかし



ぼかし・シャープ～シャープ



ノイズ除去



美肌補正



赤目補正



補正前

補正後

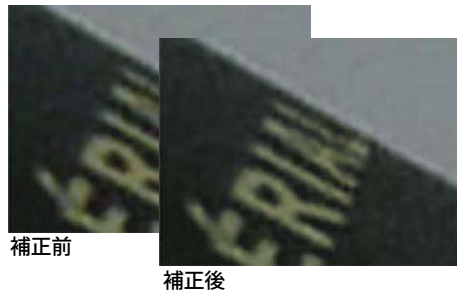
コピー修正



補正前

補正後

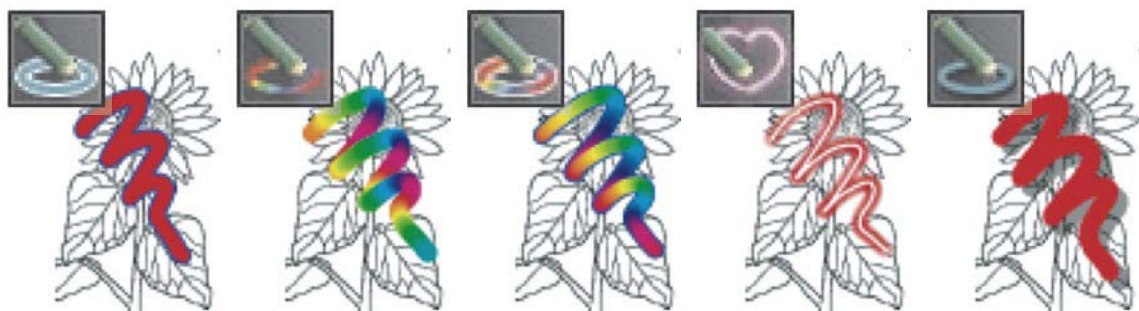
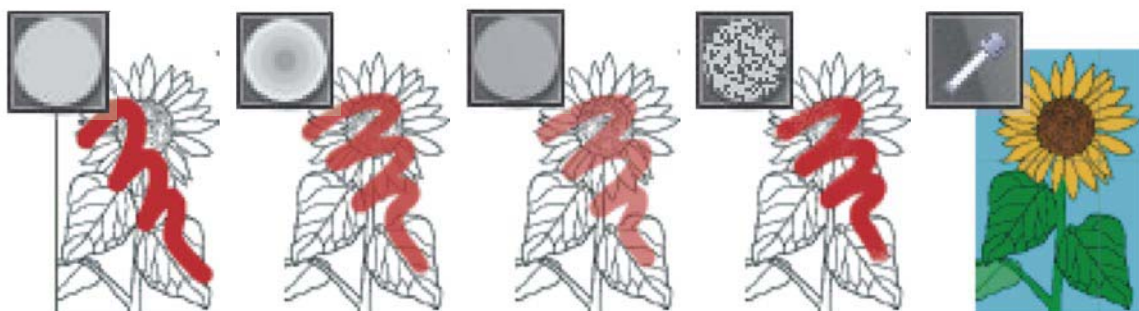
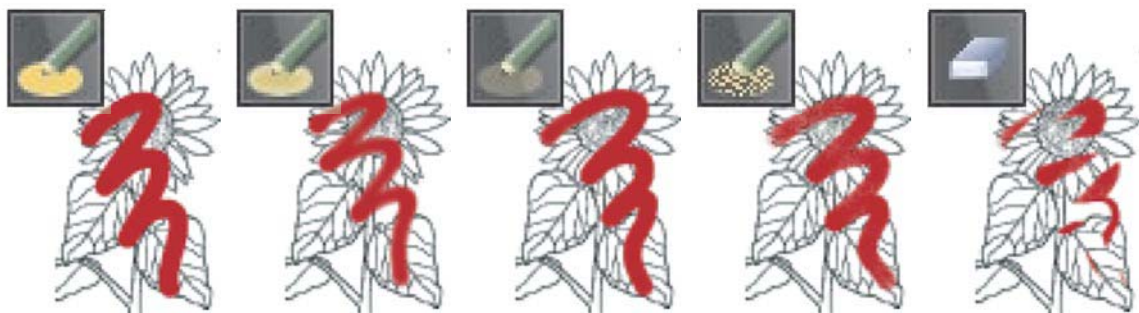
偽色抑制



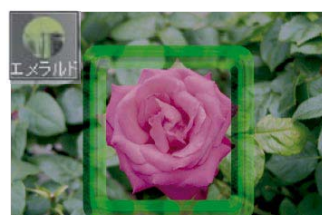
補正前

補正後

ペンの種類



金属ペンの種類



フィルタの種類

モノクロ



レリーフ



セピア



ぼかし(左) シャープ(右)



絵画調



クロスフォーカス



デッサン



陰影



モザイク



輪郭線



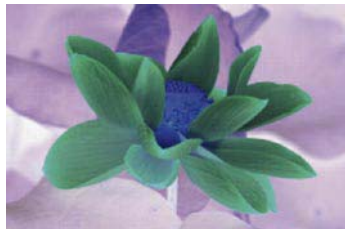
メタル



七色強調



ネガ



拡散



ぬり絵



放射



手ぶれ



レンズ



ステンドグラス



レンズフレア



ソラリゼーション



波紋



ソフトフォーカス



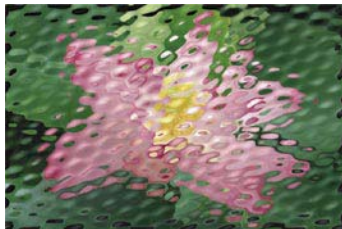
雨



スリム



水面



正分解



照明



ポスター



ノイズ付加



さいころの作り方

ここでは、印刷後のさいころの作成方法をご案内します。

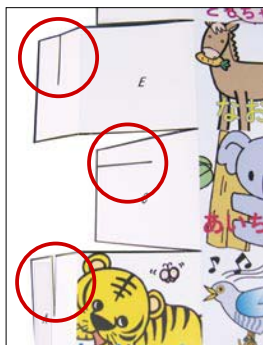
- ① 紙を切る前に、a-c、b-d、e-g、h-fの縦4本と、それぞれの面の間の線を折り曲げて、しっかりと折り目を付けます。



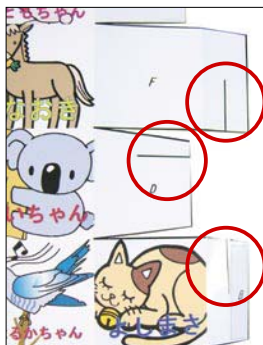
- ② さいころをテンプレートから切り抜きます。



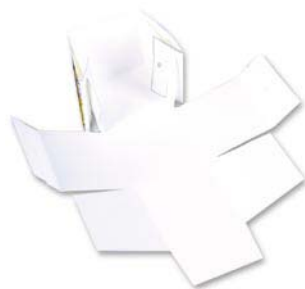
- ③ A、C、E面の太線に沿って切り込みを入れます。



- ④ 同様にB、D、F面の太線に沿って切り込みを入れます。



- ⑤ AとC、BとDの切込みを差し込んで合わせます。



- ⑥ EとFの切れ目を差し込んで合わせます。



- ⑦ AとCで出来た袋へHを、BとDで出来た袋へGを、更にIの部分に箱に蓋をするように同時に差し込みます。



- ⑧ 出来上がりです。



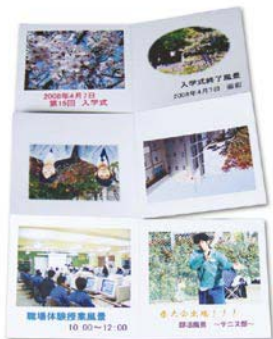
## 豆本の作り方

ここでは、印刷後の豆本の作成方法をご案内します。

- ① 紙を切る前に、それぞれの線を折り曲げて、しっかりと折り目をつけます。



- ② 用紙を切り抜き、さらに線の指示線にしたがって切り込みを入れ



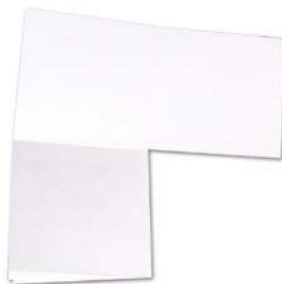
- ③ 表紙ののりしろ部分と、各ページを折ります。



- ④ 表紙の耳の部分のをり付けて、表紙を完成させます。



- ⑤ ページとページの裏側を全てのり付けします。



- ⑥ 表紙の裏側に、最初のページと最後のページの裏側を貼り合わせます。



- ⑦ 完成です。

